取扱説明書

コンパクトコンポーネントMDシステム

型名 MX-S77WMD

省エネ設計

省エネ回路により電源「切」時（待機時）消費電力1.4W

—お買い上げありがとうございます—

• お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～7ページ）は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT0542-001D

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

基本操作　ページ

CDを聞く　ページ

ラジオを聞く　ページ

MDを聞く　ページ

他の機器を操作する　ページ

録音する　ページ

タイトルをつける　ページ

MD を編集する　ページ

オートパワーオフ　ページ

タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

・この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

・この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると､「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

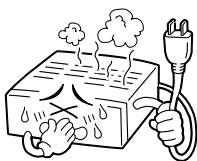
万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

・煙が出ている、へんなにおいがするとき

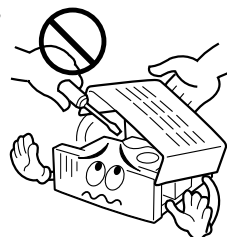
電源プラグを抜く

・内部に水や異物が入ってしまったとき
・落としたり、破損したとき
・電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)

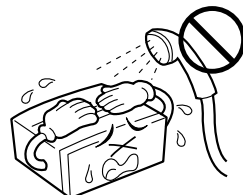
電源プラグを抜く

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

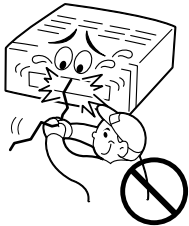
火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

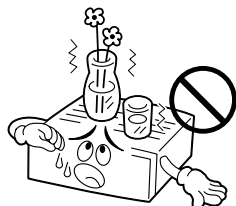
分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

本機の上に水の入ったものを置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入ったものを置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

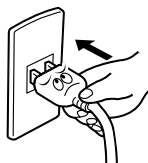
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

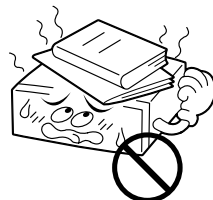
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 専用のラック以外の本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10㎝以上離す

置き場所に注意する。

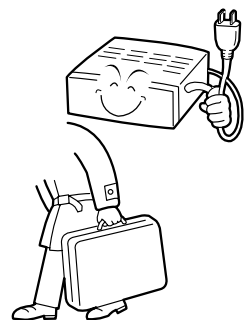
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

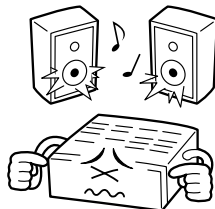
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を受けることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

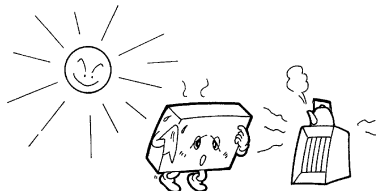
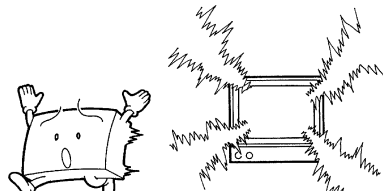
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長時間使わないときは、電池を取り出しておく

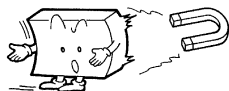
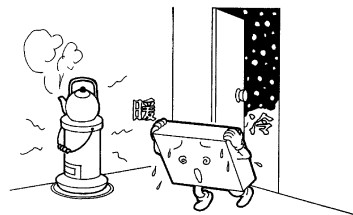
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ご使用になる前に

本機やCD、MDの置き場所について

- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。

・湿気やほこりの多い所

・直射日光が当たる所や暖房器のそば

・アンプやテレビのすぐそば
・不安定な所

・極端に寒い所

・磁気を発生する所
・振動の激しい所
・OA 機器やけい光灯のすぐそば

・寒い所から急に暖かい部屋へ
移動したのちしばらくの間

ヘッドホンについて

- ヘッドホンをご使用になるときは耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

■ステレオを聞くときのエチケット
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

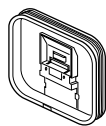
露がついたら

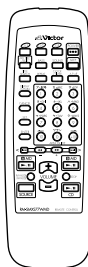
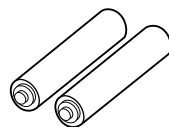
次のような場合、本機のレンズに露（水滴）が付いて**CD**や**MD**が正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

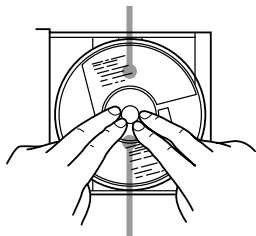
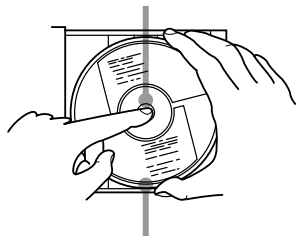
電源を入れたまま、約1～2時間待ってからお使いください。

付属品

お使いになる前に付属品をお確かめください。

AM ループアンテナ
（1 個）

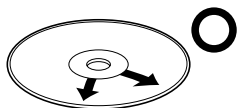
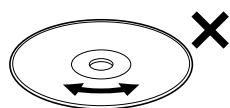
FM 簡易型アンテナ
（1 本）

リモコン（RM-SMXS77WMD）
（1 個）

単 3 形乾電池（2 本）
（リモコン動作確認用）

CDの取り扱いかた

・ケースからの出し入れ

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

- 文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っているCDをお使いください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

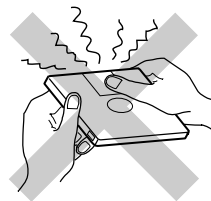
CD のお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

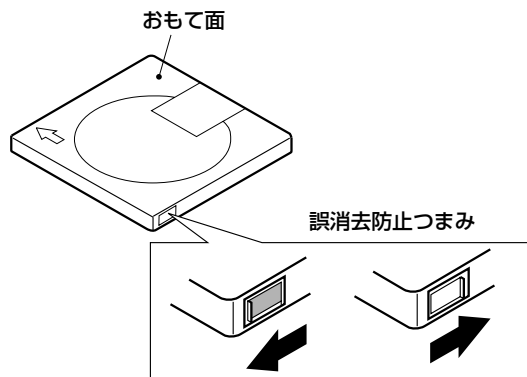
MDの取り扱いかた

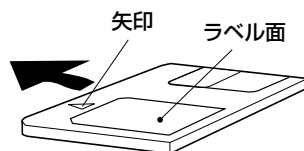
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

カートリッジにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

<お知らせ>

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。
  間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

各部の名称 —□内の数字のページに説明があります。—

本　体

A MD操作ボタン
- ▷/II(演奏／一時停止) 32
- ■ (停止) 33
- ▲ (MD取り出し) 31

B MD操作ボタン
- ▷/II(演奏／一時停止) 32
- ■ (停止) 33
- ▲ (MD取り出し) 31

B MD挿入口 31

A MD挿入口 31

SOURCE 28 40

DIRECT REC 44 52 56 60

表示窓(ディスプレイ)

VOLUME 18

POWERとSTANDBYランプ 15

▲ CD1～▲ CD3 (CDトレイの開／閉) 21

SEARCH |◀◀、▶▶| 23 33

DISC 22

録音操作ボタン
- REC TIME 42
- REC SPEED 44
- REC MODE 46 48 50 54 58 62 64
- REC START 47 49 51 54 58 63 64
- DIGITAL REC LEVELとランプ 18 41

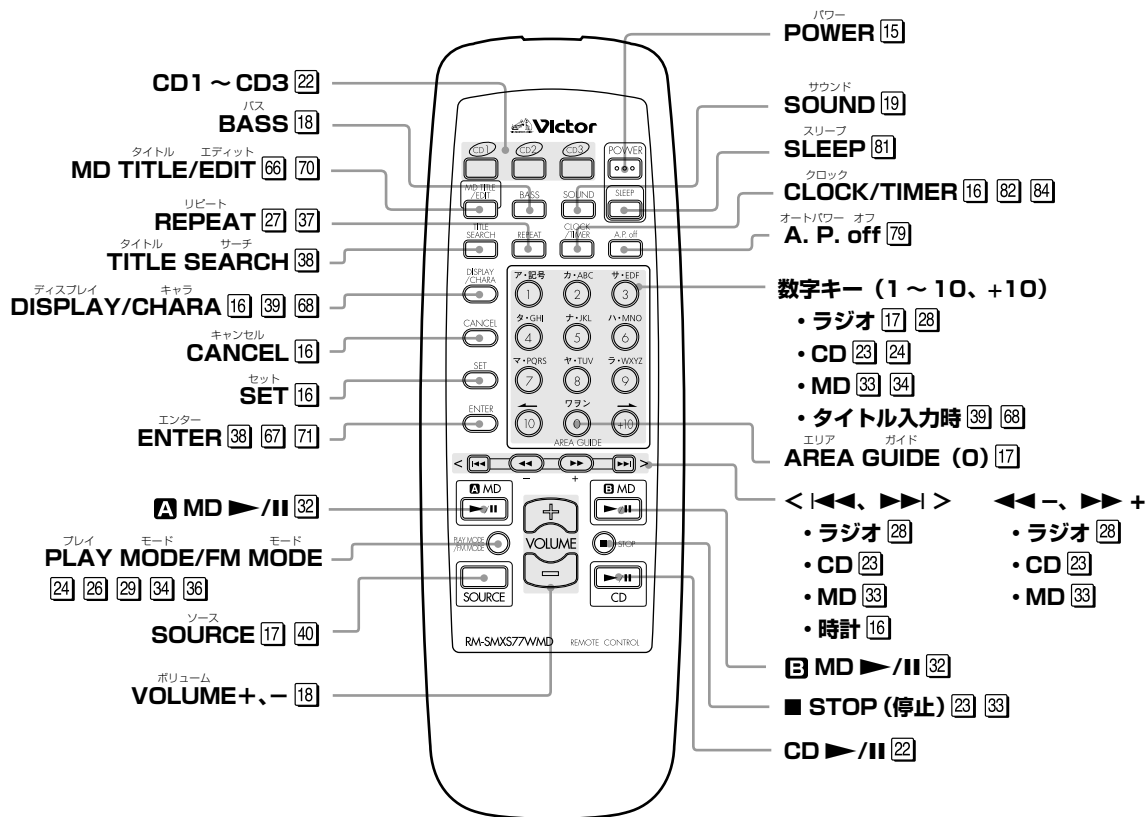
CD操作ボタン
- ▷/II(演奏／一時停止) 22
- ■ (停止) 23

PHONES 端子
ミニプラグ付きのヘッドホンを接続します。スピーカーの音が出なくなります。

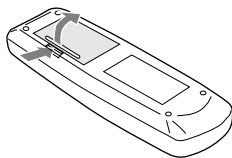
CDトレイ 21

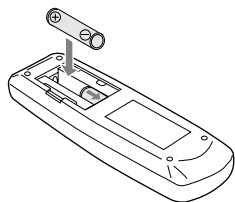
表示窓(ディスプレイ)

リモコン(RM-SMXS77WMD)

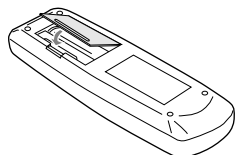
- POWER 15
- CD1 ～ CD3 22
- BASS 18
- SOUND 19
- MD TITLE/EDIT 66 70
- SLEEP 81
- REPEAT 27 37
- CLOCK/TIMER 16 82 84
- TITLE SEARCH 38
- A. P. off 79
- DISPLAY/CHARA 16 39 68
- 数字キー（1 ～ 10、+10）
  - ラジオ 17 28
  - CD 23 24
  - MD 33 34
  - タイトル入力時 39 68
- CANCEL 16
- SET 16
- ENTER 38 67 71
- AREA GUIDE（0）17
- < |◀◀、▶▶| >
  - ラジオ 28
  - CD 23
  - MD 33
  - 時計 16
- ◀◀ −、▶▶ +
  - ラジオ 28
  - CD 23
  - MD 33
- A MD ►/II 32
- PLAY MODE/FM MODE 24 26 29 34 36
- SOURCE 17 40
- VOLUME+、− 18
- B MD ►/II 32
- ■ STOP（停止）23 33
- CD ►/II 22

リモコンに乾電池を入れる

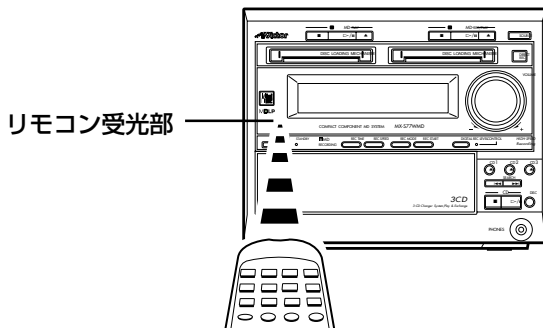
付属の乾電池を入れます。

1 裏ブタをはずす

2 乾電池を入れる

単3形乾電池2本を入れます。
リモコン内部の表示に合わせて、極性（+、−）を正しく入れます。

- 付属の電池は動作確認用です。早目に新しい乾電池と交換してください。

3 裏ブタをしめる

矢印の方向に戻します。

リモコンの操作

リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作します。斜めから使用したり、リモコン受光部との間に障害物等があると信号が届かない場合があります。

- 操作範囲が狭くなってきたり、本体に近づけないと操作できなくなってきたときは、乾電池を交換してください。交換の際は、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- 長い間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 指定以外の電池（充電式電池など）は使用しないでください。

接　続　—接続が終わるまで電源は入れないでください。—

アンテナの接続

付属のアンテナ（屋内アンテナ）の接続

ラジオを聞くためにアンテナを接続します。

FM 簡易型アンテナ
放送局を受信して最も受信状態の良い位置に「ピーン」と伸ばし、テープなどで固定します。

AM ループアンテナ

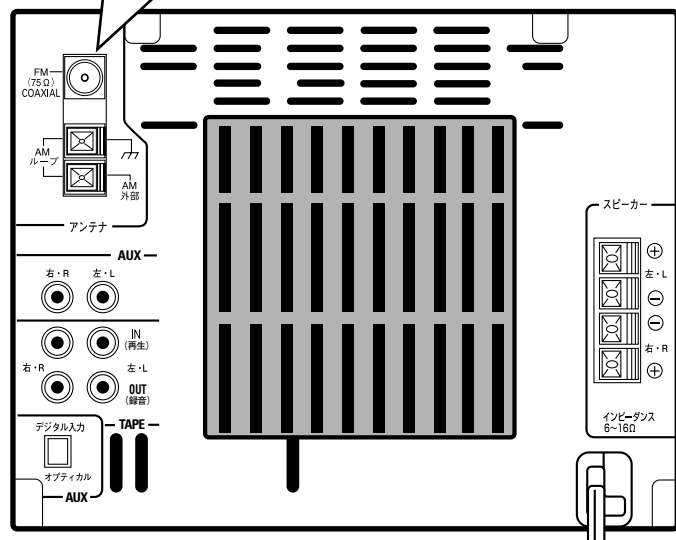
- 本体からできるだけ離し、左右に回してもっともよく受信できるところに置きます。

束ねてある線は、よく伸ばします

溝に差し込む

AM ループアンテナについて

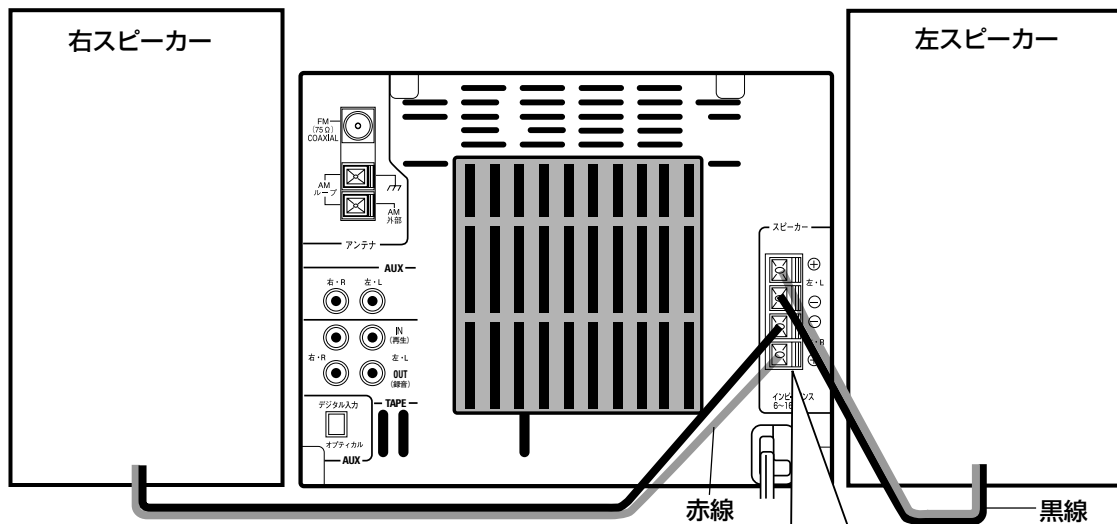
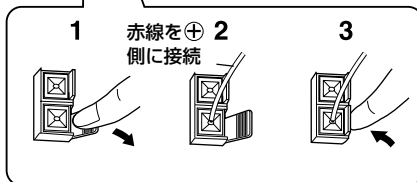
アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

<お知らせ>
- AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。

- **付属のアンテナでうまく受信できないとき**
- **マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき**

屋外アンテナを接続します。

FM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと整合器を準備しておいてください。

- AM ループアンテナも一緒に接続しておきます。

スピーカーの接続

- スピーカー背面から出ているスピーカーコードを、本機のスピーカー端子に接続します。
- 正面向かって右スピーカーを右·R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーを左·L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます（左右の区別はありません）。
- スピーカーコードの黒線を「⊖」側に、赤線を「⊕」側に接続してください。

適合インピーダンス：6Ω～16Ω

ご注意

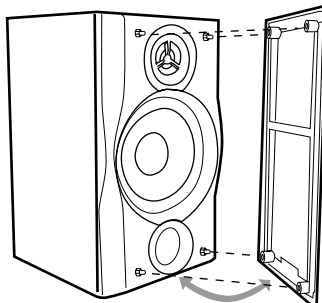
- スピーカーコードの赤線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビの近くに設置すると、色ムラを生じることがあります。テレビとは十分離して設置してください。

設置上のご注意

本機は、省スペースでハイパワーを実現するため冷却用ファンが搭載されています。大音量動作や連続動作などで内部の温度が上がったときには、冷却のため内部のファンが動作します。十分な冷却効果を得るために、本体両側にスピーカーを設置したり、物を置いたりするときは、1cm以上間隔をあけてください。

（使用状態によっては、本体の温度が上昇することがありますが故障ではありません）

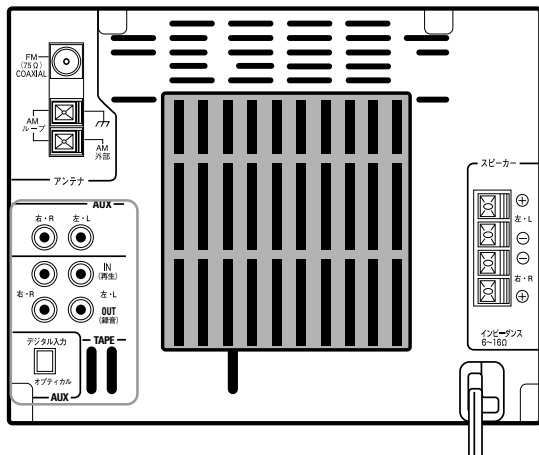
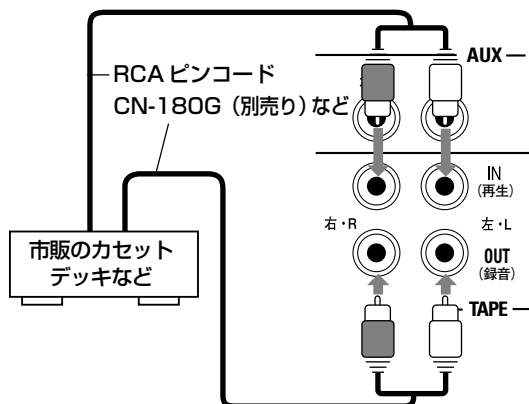
サランネットの外しかた

本機スピーカーのサランネットは、外すことができます。

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

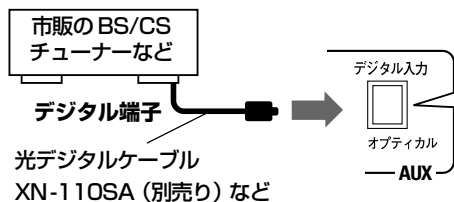
準備

他の機器の接続（背面部での接続）

アナログ機器を接続する

カセットデッキは、TAPE端子に接続します。

• 別売りのレコードプレーヤー（AL-E350＋AC-S100J）を接続するときは、AUX 端子を使います。

デジタル機器を接続する

デジタル機器を接続するときは、AUXデジタル入力端子に接続します。

電源コードの接続

すべての接続が終わったら電源コードのプラグを家庭用コンセント（AC 100V、50Hz/60Hz）に差し込みます。

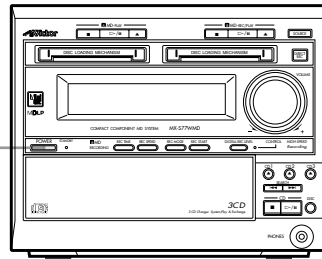
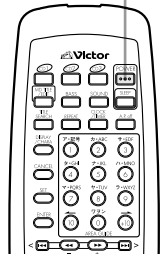
電源「入」／「切」について

電源を「入」にする

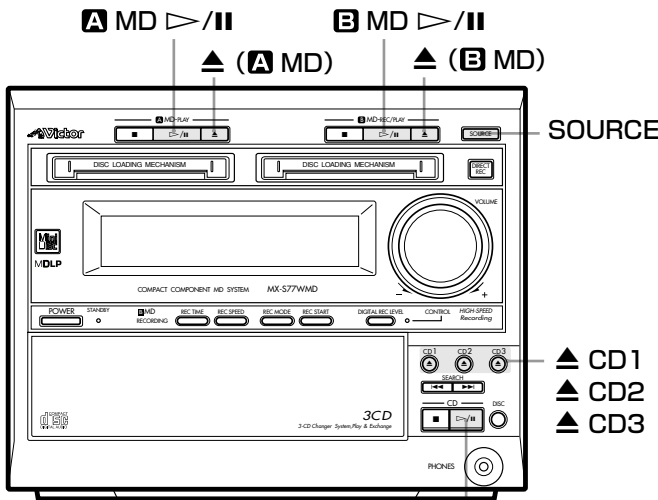
POWERボタンを押します。STANDBYランプが消灯し、「HELLO（ハロー）」が表示されます。

電源を「切」にする

POWERボタンを押します。STANDBYランプが点灯に変わり、「SEE YOU（シー ユー）」が表示されてから、時計表示になります。

- 時計表示を消灯に設定（➡ 16ページ参照）しているときは、「DISPLAY OFF」が表示されてから消灯します。

準備

イチ押しボタンを使う

次のボタンを押しても電源を「入」にできます。

SOURCE（本体・リモコン）
ソース（音源）がFM、AM、TAPE、AUXまたはAUX DIGITALのいずれかになります。（前回聞いていたソース）
FMまたはAMのときは、前回聞いていた放送局を受信します。

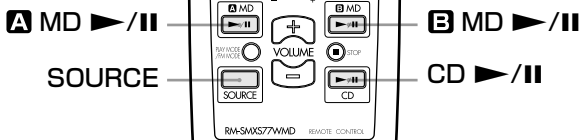
A MD ▷/II（本体）
A MD ►/II（リモコン）
ソース（音源）が A MDになり、MDが入っているときは演奏が始まります。

B MD ▷/II（本体）
B MD ►/II（リモコン）
ソース（音源）が B MDになり、MDが入っているときは演奏が始まります。

CD ▷/II（本体）
CD ►/II（リモコン）
ソース（音源）がCDになり、CDが入っているときは演奏が始まります。

CD1/CD2/CD3（リモコン）
ソース（音源）がCDになり、押したディスク番号のCDトレイにCDが入っているときは演奏が始まります。

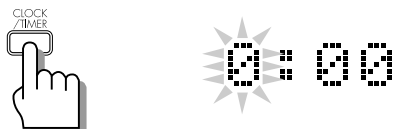
⏏CD1/⏏CD2/⏏CD3（本体）
押したCD番号のCDトレイが出てきます。

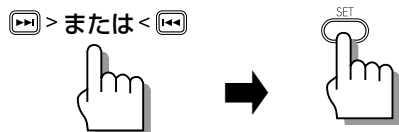
⏏（A MD）/⏏（B MD）（本体）
MDが入っているときは、MDが取り出せます。

時計を合わせる

本機には24時間表示の時計機能がついています。本機の操作をする前に、**リモコンを使って**時計を現在時刻に正しく合わせてください。タイマー機能が利用できるようになります。
時計は電源が「入」／「切」のどちらでも合わせることができます。

例：15時20分（午後3時20分）に合わせるとき

1 CLOCK/TIMERを押す

「時」表示（お買い上げ時は0）が点滅します。

2 時刻を設定する

① **▶▶I ＞または＜ I◀◀を押して「時」を合わせてから SET を押す**

② **▶▶I ＞または＜ I◀◀を押して「分」を合わせてから SET を押す**

15:20

電源が「切」のときは現在時刻の表示になり、電源が「入」のときは時計を設定する前のソース（音源）の表示に戻ります。

- ▶▶I ＞または＜ I◀◀押し続けると、連続して変化します。
- 「分」を設定しているとき、CANCELを押すと「時」表示の点滅に戻せます。

時計を正確に合わせるには

「分」を合わせてから、テレビ、ラジオの時報や、117の時報に合わせてSETを押すと正確に合わせることができます。
設定した時刻の0秒から時計が動き始めます。

時刻を設定すると

- 時刻を設定すると、RECタイマー、DAILYタイマーおよびSLEEPタイマーが利用できるようになります。時刻が設定されていないときは、RECタイマー、DAILYタイマーおよびSLEEPタイマーの設定はできません。
- 設定した時刻を修正するときは、CLOCK/TIMERを5回押して時計を表示させてから**手順2**の操作で修正してください。

時計表示を消したいときは

就寝時など、時計表示が明るいときは、時計表示を消灯することができます。

1. 電源を「切」にする
電源「入」のときは、POWERを押します。

2. DISPLAY/CHARAを押す
表示窓に「DISPLAY OFF」が表示され、時計表示が消えます。

- 電源「切」のとき時計を表示させるには、上記**手順1**と**2**の操作をもう一度行います。
表示窓に「DISPLAY ON」が表示されたあと、時計が表示されます。

ご注意

- 本機は、必ず時計合わせを完了してから、他の操作を行ってください。
- 停電や電源コードを抜いて電源が切れたときは、「0：00」の点滅表示に戻ります。もう一度時計を正しい時刻に合わせてください。

お知らせ

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマーを使用するときは、事前に時刻を合わせ直してください。
- 時計表示を消灯（DISPLAY OFF）していると、電源「切」のとき時刻合わせやタイマーの設定はできません。電源「入」のときまたは、時計表示を点灯（DISPLAY ON）にしてから操作してください。

放送局を記憶させる（エリアガイド機能）

エリアガイド機能
本機は、市外局番を入力するだけで、お住まいの地域で受信できる放送局を自動的に記憶します。
この場合、AM 放送局は本機に内蔵されている放送局を呼び出して記憶します。（➡ 88 〜 89 ページ参照）
FM 放送局は市外局番 03 または 06 を入力したときは、本機に内蔵されている放送局（03 は 12 局、06 は 7 局）を呼び出して記憶します。これ以外は、お住まいの地域で受信できる放送局を 76MHz〜90MHz の間で自動選局し、記憶します。**リモコンを使って操作します。**

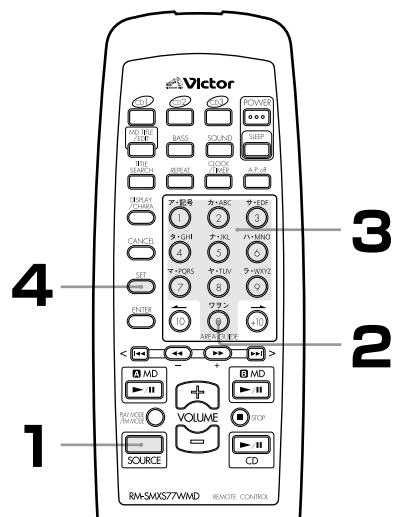
1 SOURCE を押して FM または AM を選ぶ

SOURCEを押すごとに次のように切り換わります。

FM ➡ AM ➡ TAPE
⬆　　　　⬇
AUX DIGITAL ⬅ AUX

- FMまたはAMのどちらでもかまいません。

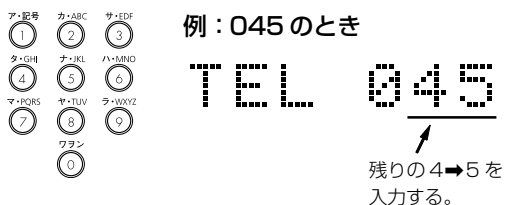
2 AREA GUIDE（0）を押す

- 市外局番の 0 が入力されます。

3 1〜9、0キーを使って残りの市外局番を入力する

局番は４ケタまで入力できます。局番が５ケタ以上の地域でも４ケタまで入力すれば、エリアガイドによる放送局の記憶ができます。

例：045 のとき

TEL 045

残りの 4➡5 を入力する。

例：0421 のとき

0421 OK? →SET

4 SET を押す

AM ➡ FMの順に自動で記憶していきます。記憶が終わると、FM 放送のプリセット番号 1 の放送局を受信します。

お知らせ

- 電波事情や地域によっては、エリアガイドで記憶させるよりもご自分で選局するほうが良好に受信できる地域もあります。このようなときは、ご自分で放送局を記憶させてください。（➡ 30 ページ参照）
- 記憶された放送局は、電源プラグを抜いたり停電があると、取り消されることがあります。このようなときは、エリアガイドの操作をやり直してください。

音量を変える

音量を調節する

音量は0～50まで調節できます。
DIGITAL REC LEVELのランプが消灯しているときに、次の操作をします。

- ランプが点滅しているときは、DIGITAL REC LEVELを押して消灯させます。

本体　：VOLUMEを回します。
＋方向に回すと大きくなり、－方向に回すと小さくなります。

リモコン：VOLUME ＋、－を押します。

例：音量を12にしたときの表示

VOLUME 12

ご注意

- 電源を入れたとき、いきなり大きな音が出るのを避けるため、電源を「切」にする前に音量を絞っておいてください。電源が「切」のときは、音量を調節することができません。

お知らせ

- DIGITAL REC LEVELのランプが点滅しているときは、本機またはリモコンのVOLUMEがDIGITAL REC LEVELの調節モードになっています。音量の調節はできません。

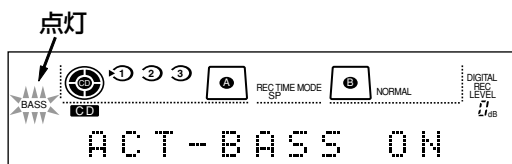
重低音を強調する

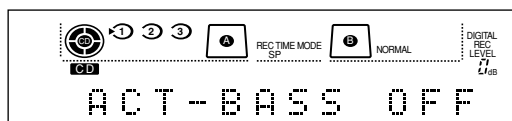
リモコンを使って操作します。

BASSを押す

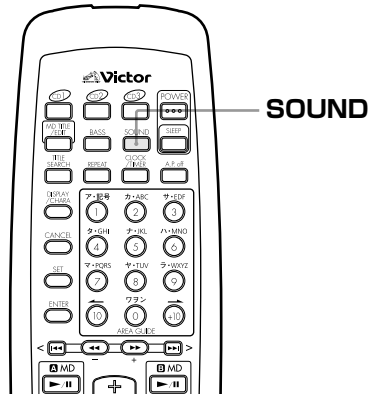
ボタンを押すごとに「オン」または「オフ」に切り換わります。

「オン」にしたときの表示

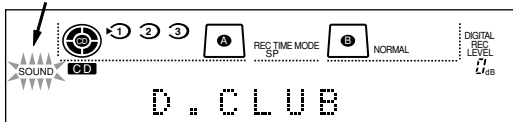
点灯

- BASS表示が点灯し、「ACT-BASS ON」が数秒間表示されます。重低音が強調されます。

「オフ」にしたときの表示

- BASS表示が消灯し、「ACT-BASS OFF」が数秒間表示されます。重低音が強調されなくなります。

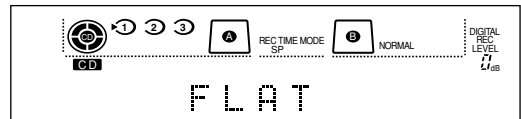
サウンドモードを変える

お好みのサウンドモードを選ぶことができます。**リモコンを使って操作します。**
サウンドモードには、演奏会場の臨場感ある雰囲気を生み出すサラウンド効果のあるモードと、低音から高音までの周波数域を増減して音質だけを調節したサラウンド効果のないモードがあります。

SOUND を押してサウンドモードを選ぶ

1 回押すと現在選ばれているサウンドモードが表示されます。
さらにボタンを押すごとに次のように変わります。

例：D. CLUB を選んだとき

- SOUND 表示が点灯し、D. CLUB（サウンドモード名）が数秒間表示されます。

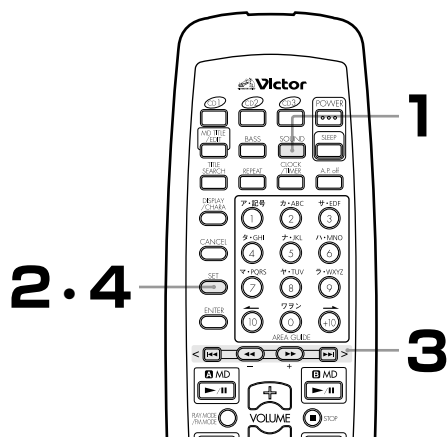
サウンドモードを解除する

サウンドモードを解除するときは、SOUNDを押して、「FLAT」を選びます。

- SOUND 表示が消灯し、「FLAT」が数秒間表示されます。

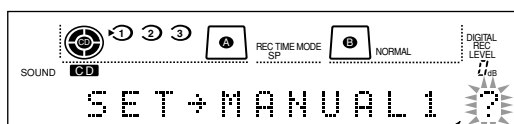
お知らせ

- 「SET→MANUAL1 ?」および「SET→MANUAL 2 ?」にはお好みのパターンを登録することができます。登録のしかたは 20ページの「サウンドモードを作る」をご覧ください。
- サウンドモード効果の音は、スピーカーやヘッドホンに効きます。録音される音には効きません。

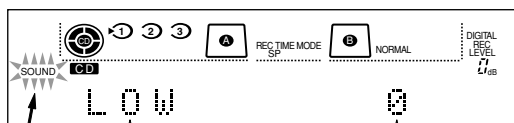
サウンドモードを作る

サウンドモードの「SET→MANUAL1 ?」と「SET→MANUAL2 ?」に好みのパターンを登録することができます。**リモコンを使って操作します。**

1 SOUNDを押して「SET→MANUAL1 ?」または「SET→MANUAL2 ?」を選ぶ

例：「SET→MANUAL1 ?」を選んだとき

点滅

- 約5秒間表示されます。表示されている間に次の操作をします。

2 SETを押す

点滅　レンジ　レベル

- 約8秒間表示されます。表示されている間に次の操作をします。

3 パターンを作る（レンジを選びレベルを調節する）

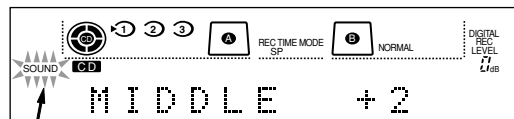
レンジを選ぶ：▶▶I >または< I◀◀ を使う

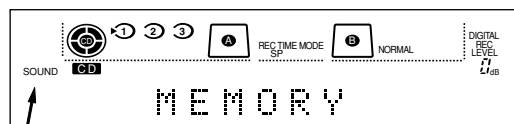
- LOW（低音）、MIDDLE（中音）、HIGH（高音）から選べます。

レベルを調節する：▶▶ ＋または－ ◀◀ を使う

- －３～０～＋３まで７段階調節できます。

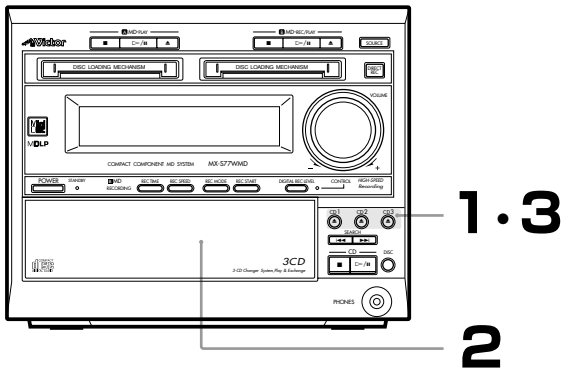
例：MIDDLE（中音）を＋２に調節したとき

点滅

4 SETを押す

MEMORYが数秒間表示されます。

点灯

- SETを押さないときは、約８秒間でサウンドモードが終了し決定されます。

CDを入れる

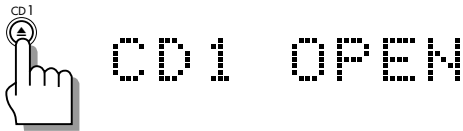
本機は、3枚のCDを収納できるチェンジャータイプのCDプレーヤーです。

CDについているマークを確認して

文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

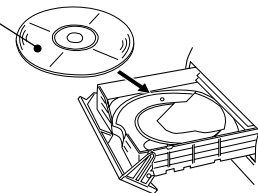
1 CDを入れるCD番号の ▲ を押す

指定したCDトレイが出てきます。
ソース（音源）がCDのときは、表示窓に「OPEN」が表示されます。

例：CD 1のとき

CD1 OPEN

2 文字のある面を上にしてCDを置く

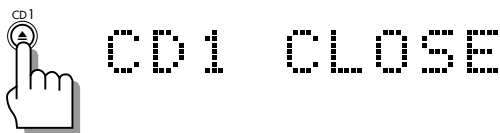
- 8センチCDは、CDトレイ内の凹部に置きます。

文字のある面を上にする

- CDトレイ内のサブトレイは、下から順にCD1、CD2、CD3になります。

3 手順1と同じ ▲ を押す

表示窓に「CLOSE」が表示されます。

例：CD 1のとき

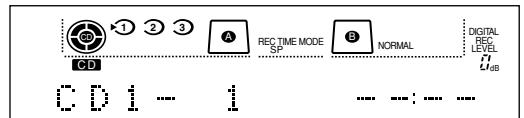
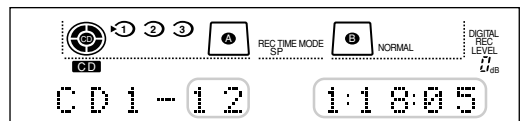
CD1 CLOSE

- 手順**1**から手順**3**の操作を**CD2**、**CD3**すると、CDを3枚まで入れることができます。

CDを続けて入れる

CDを続けて入れるときは、CDトレイを戻すときに次に入れるCD番号の ▲ を押します。一度CDトレイが戻ってから、▲ を押したCD番号のトレイが出てきます。一枚ずつ入れてください。

表示窓の表示

ソース（音源）がCDのときCDを入れてしめると、次のように表示が変わります。

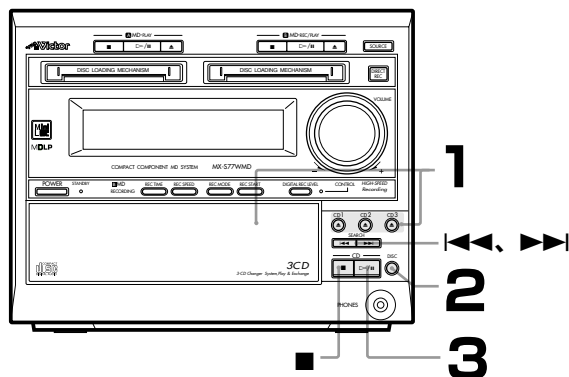
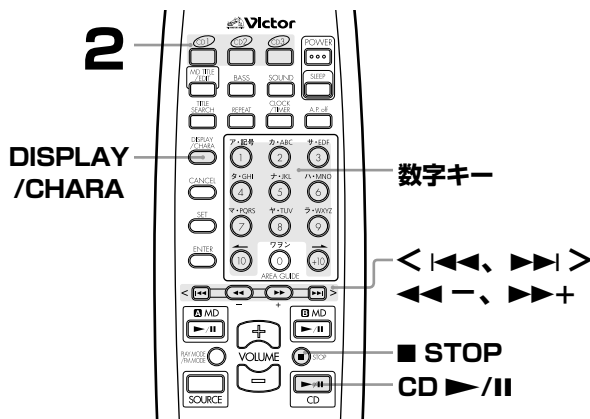
CD読み込み中： 例：CD1のとき

曲数とトータル時間表示：

曲数　トータル時間

ご注意

- ハートや花などの形をしたシェイプCD（特殊形状のCD）は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

CD の連続演奏（基本操作）

３枚の CD を連続演奏することができます。

本体を使った操作

1 CD1 ～ 3 に CD を入れる

「CD を入れる」（➡ 21 ページ参照）

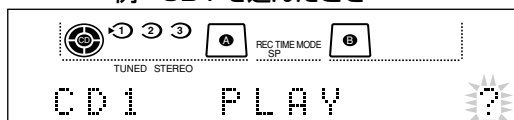
2 DISC を押して演奏する CD を選ぶ

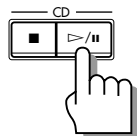
ボタンを押すごとに次のように変わります。

CD1 ➡ CD2 ➡ CD3

• ソース（音源）が CD 以外のときに DISC を押すと、次のように表示されます。

例：CD1 を選んだとき

点滅

表示されている間に手順 **3** の操作をします。

3 CD ▻/II を押す

演奏が始まります。

• CD の演奏順は 23 ページの「CD の演奏順番」をご覧ください。

お知らせ

• 手順 **2** の DISC を押さずに CD ▻/II を押すと CD 表示の「▶」が表示されている CD から演奏が始まります。
• 演奏中に DISC を押すと、選ばれた CD が自動的に演奏されます。

リモコンを使った操作

1 CD1 ～ 3 に CD を入れる

「CD を入れる」（➡ 21 ページ参照）

2 演奏する CD の CD1 ～ CD3 のいずれかを押す

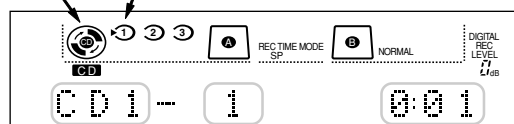
演奏が始まります。

お知らせ

• CD1 ～ CD3 の代わりにに CD ▶/II を押すと CD 表示に「▶]が点灯している CD から演奏が始まります。

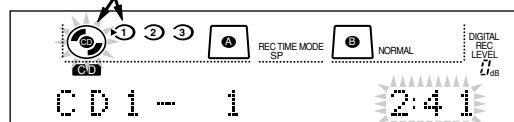
CD 演奏中の表示窓

演奏中：

回転表示　点滅

CD 番号　曲番号　演奏時間

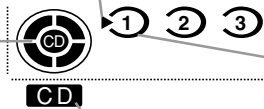
停止中： 曲数とトータル時間が表示されます。（➡ 21 ページ参照）

一時停止中：

点滅

点滅

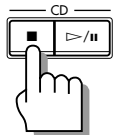
表示窓の CD 表示

選ばれている(または演奏中)CD の番号のところに表示されます。

CD トレイを出すと点灯し、CD が入っていないことが確認されると消灯します。演奏中または一時停止中は点滅します。

ソース(音源)がCDのときに点灯します。

CD トレイの中に CD が入っていないことを本機が確認すると消灯します。演奏中は回転をイメージした表示をし、倍速で録音中は、速い回転の表示をします。

CD を停止する

途中で CD の演奏を停止するときは、■ を押します。

本体

リモコン

CD の演奏順番

CDがすべて入っているときの演奏順番は次のようになります。

CD1 から演奏を始めると、CD 1→CD 2→CD 3の順に演奏し、CD 3の演奏が終わると自動停止します。

CD2 から演奏を始めると、CD 2→CD 3→CD 1の順に演奏し、CD 1の演奏が終わると自動停止します。

CD3 から演奏を始めると、CD 3→CD 1→CD 2の順に演奏し、CD 2の演奏が終わると自動停止します。

CDが2枚入っているときは、CDの入っていないトレイを飛ばして演奏し、終わると自動停止します。

CD を取り出す

取り出したいCDが入っているトレイの▲を押します。

演奏を一時停止するとき

演奏中に CD ▷/II または CD ▶/II（リモコン）を押します。
もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

演奏中に他の CD に交換する

演奏していない CD 番号の ▲ を押して、CD を交換します。演奏中に CD を交換すると、CD 演奏順の最後に交換した CD の演奏が終わると自動停止します。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字キーを使います。

1 ～ 10 曲目を指定するとき：
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

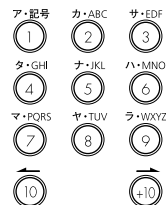
11 曲以上を指定するとき：
＋10 キーを先に押してから、
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

例：15 曲目
(+10) ➡ (5) と押す

例：20 曲目
(+10) ➡ (10) と押す

例：25 曲目
(+10) ➡ (+10) ➡ (5) と押す

曲の頭出し（スキップ）

本体：

▶▶I（次の曲の頭出し）またはI◀◀（演奏中の曲の頭出し）を押します。押すごとに 1 曲ずつ変化します。

- 停止中に押すと曲ごとの演奏時間が表示されます。1 曲の演奏時間を調べるときに便利です。

リモコン：

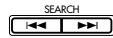
▶▶I >または<I◀◀を押します。押すごとに 1 曲ずつ変化します。押し続けると連続して変化します。

お知らせ

- 曲の演奏時間表示ができるのは、32 曲目までです。33曲目以降の演奏時間表示は、「－－：－－」になります。

早送り／早戻し（サーチ）

本体：

SEARCH

演奏中に ▶▶I または I◀◀ を押し続けます。

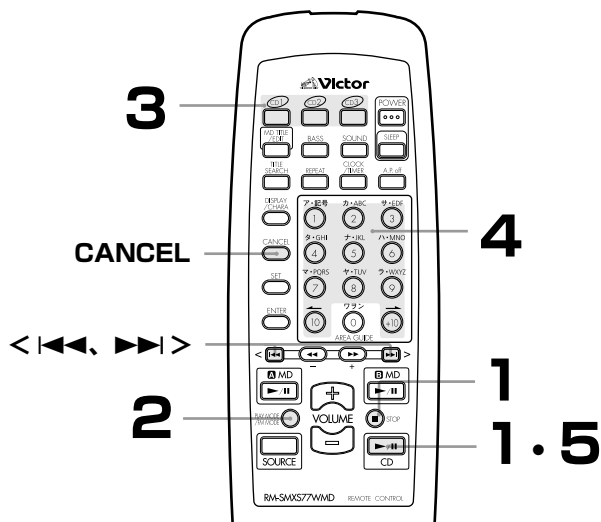
リモコン：

演奏中に ▶▶ ＋（早送り）または ◀◀ －（早戻し）を押し続けます。

時計を表示させる

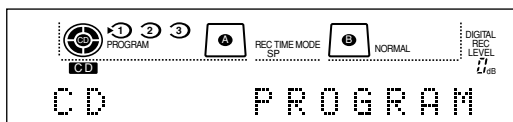
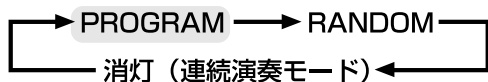
ソース（音源）がCDのときにリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓に時計を表示させることができます。
もう一度押すと、前の表示に戻ります。

CDのプログラム演奏

３枚のCDからお好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。**リモコンを使って操作します。**
ソース（音源）をCDにして停止中に操作します。

1 CDを入れ、CDを停止状態にする

「CDを入れる」（➡ 21ページ参照）
- ソース（音源）がCDになっていないときは、CD ►/II を押してから■STOPを押します。

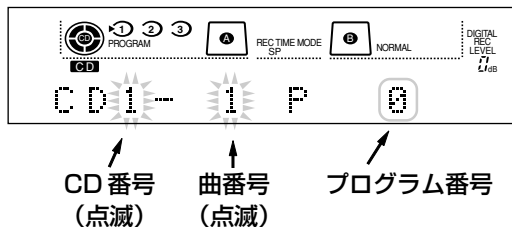
2 PLAY MODE/FM MODEを押して「CD PROGRAM」を選ぶ

PLAY MODE/FM MODEを押すごとに表示窓のプレイモード表示が次のように切り換わります。

- すでにプログラムがされているときは、CD番号、曲番号、プログラム番号が表示されます。
- PLAY MODE/FM MODEは、CDが停止中に操作することができます。
  PLAY MODE/FM MODEを操作するときは、必ずCDを停止状態にしてください。

3 CDを指定する

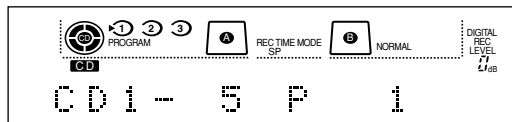
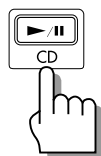
CD 1～CD 3のいずれかを押します。

例：CD1を指定したとき

CD番号（点滅）　曲番号（点滅）　プログラム番号

4 数字キーを押して曲を指定する

1～10、＋10キーを押して、曲番号を直接入力します。（➡ 23ページ「ダイレクト演奏」参照）

- 手順**3**と手順**4**をくり返してプログラムしていきます。
  同じCDの曲を続けてプログラムするときは、曲番号だけを指定します。
  最大32曲までプログラムできます。33曲目を指定すると「MEMORY FULL！」が数秒間点滅表示されます。

例：5曲目を指定したとき

5 CD ►/II を押す

プログラム演奏が始まります。
- プログラムした全曲の演奏が終わると、自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■STOP を押します。

演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。
CD が停止中に ►►I >（次の曲）または < I◄◄（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
（➡ 27 ページ「リピート演奏」参照）

プログラムを間違えたときは（削除）

CDが停止中にCANCELを押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラムの取り消し（本体のみ）

プログラムした CD 番号の ▲ を押します。
▲ を押した CD のプログラムは取り消されます。

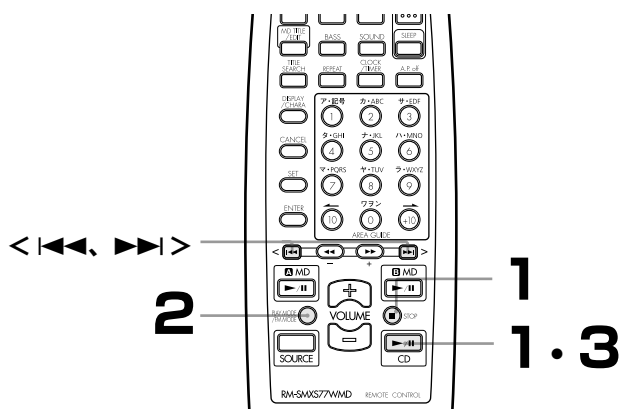
プログラム演奏のモードを解除する

CDが停止中にPLAY MODE/FM MODEを押して、表示窓の「PROGRAM」表示を消灯させます。
ただし、プログラムの内容は残ります。

お知らせ

- 電源を「切」にすると、記憶されているプログラムの内容はすべて削除されます。

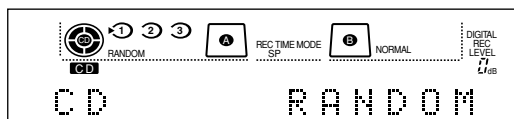
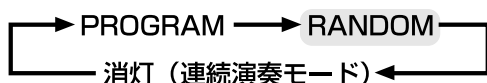
CDのランダム演奏

3枚のCDの曲をランダム（無作為）に演奏することができます。**リモコンを使って操作します。**
ソース（音源）をCDにして停止中に操作します。

1 CDを入れ、CDを停止状態にする

「CDを入れる」（➡ 21ページ参照）

- ソース（音源）がCDになっていないときは、CD ►/II を押してから■STOPを押します。

2 PLAY MODE/FM MODEを押して「CD RANDOM」を選ぶ

PLAY MODE/FM MODEを押すごとに表示窓のプレイモード表示が次のように切り換わります。

- PLAY MODE/FM MODEは、CDが停止中に操作することができます。
  PLAY MODE/FM MODEを操作するときは、必ずCDを停止状態にしてください。

3 CD ►/II を押す

ランダム演奏が始まります。

- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。
- ランダム演奏中にCDトレイを出すと演奏が停止します。

ランダム演奏を途中で止める

■STOPを押します。

演奏が停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中に⏭ >を押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。
< ⏮を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
（➡ 27ページ「リピート演奏」参照）

ランダム演奏のモードを解除する

CDが停止中にPLAY MODE/FM MODEを押して、表示窓のRANDOM表示を消灯させます。

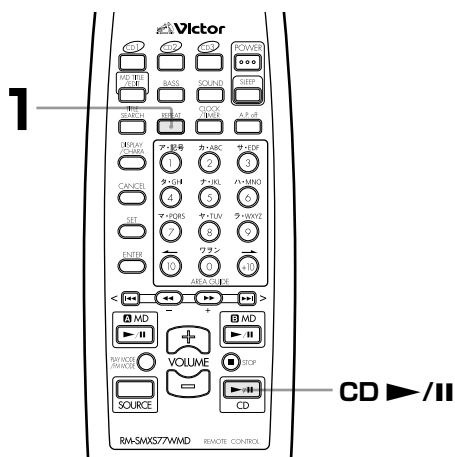
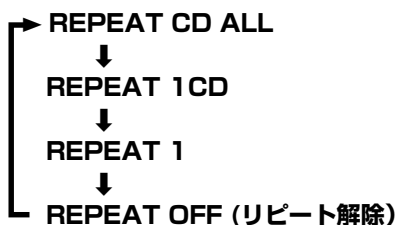
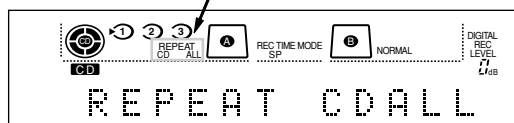
お知らせ

- ランダム演奏中は、CD1～CD3または数字キーによる操作はできません。

CDのリピート演奏

CDが演奏中や停止中でも設定や解除のできる3種類のリピート演奏があります。**リモコンを使って操作します。**

1 REPEATを押してリピートモードを選ぶ

REPEATを押すごとに次のように切り換わります。

REPEAT CD ALL
⬇
REPEAT 1CD
⬇
REPEAT 1
⬇
REPEAT OFF（リピート解除）

リピート表示

REPEAT CD ALL：CDトレイに入っているCDの全曲をくり返し演奏します。すべての演奏モードで選べます。

REPEAT 1CD：1枚のCDをくり返し演奏します。連続演奏のときだけ選べます。

REPEAT 1：1曲だけくり返し演奏します。すべての演奏モードで選べます。

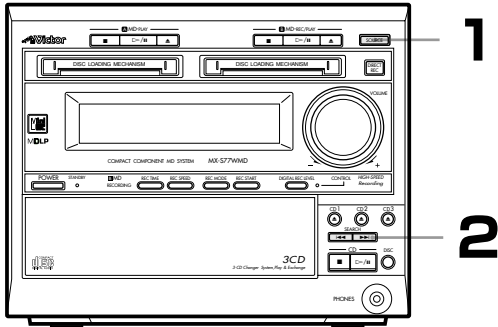
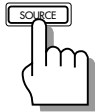
• CDが停止中のときは、CD ►/II を押して演奏を始めます。

リピート演奏のモードを解除する

REPEATを押して表示窓のリピート表示を消灯させます。「REPEAT OFF」が表示されたあと、ソース（音源）の表示に戻ります。

• 電源を「切」にしたときやベストヒット録音（➡ 48ページ）や1CDのシンクロ録音（➡ 50ページ）にしたときも解除されます。

ラジオを聞く

本体を使った操作

1 SOURCE を押して FM または AM を選ぶ

SOURCEを押すごとに次のように切り換わります。

FM ➡ AM ➡ TAPE
⬆ ⬇
AUX DIGITAL ⬅ AUX

2 ►►I または I◄◄ を押して周波数を選ぶ

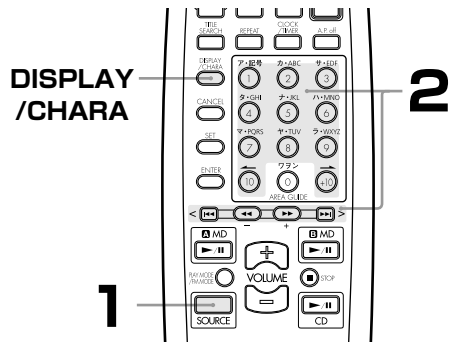
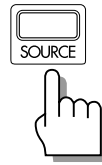
2 種類の選局方法があります。

マニュアルチューニング：
►►Iを「ポン」と押すと周波数が上がり、I◄◄を「ポン」と押すと周波数が下がります。

FM 放送： 0.05 MHz ずつ
76.00MHz～108.00MHz
の範囲で選局できます。

AM 放送： 9kHz ずつ
531kHz～1,629kHz
の範囲で選局できます。

オートチューニング：
►►Iまたは I◄◄を押し続け、周波数が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

リモコンを使った操作

1 SOURCE を押して FM または AM を選ぶ

SOURCEを押すごとに次のように切り換わります。

FM ➡ AM ➡ TAPE
⬆ ⬇
AUX DIGITAL ⬅ AUX

2 選局をする

a. 数字キーを使って聞きたい放送局のプリセット番号を選ぶ（プリセット選局といいます）

ア・記号 1　カ・ABC 2　サ・EDF 3
タ・GHI 4　ナ・JKL 5　ハ・MNO 6
マ・PQRS 7　ヤ・TUV 8　ラ・WXYZ 9
10　+10

あらかじめ放送局を記憶させておきます。「放送局を記憶させる（エリアガイド）」（➡ 17 ページ参照）

プリセット番号の入力方法

1 ～ 10 を選局するとき：
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

11 ～ 20 を選局するとき：
＋ 10 キーを押してから、
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

21 ～ 30 を選局するとき：
＋ 10 キーを 2 回押してから、
1 ～ 10 キーのいずれかを押す。

- ►►I >または< I◄◄を押しても放送局のプリセット番号を選ぶことができます。

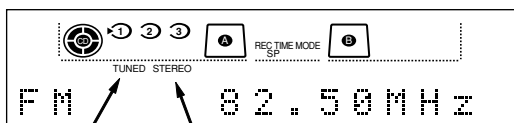
b. ►► ＋または ◄◄ －を押して周波数を選ぶ

2 種類の選局方法があります。

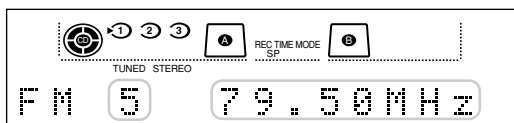
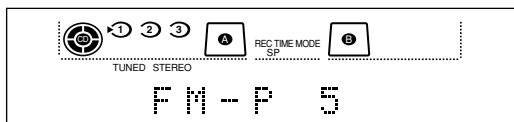
マニュアルチューニング：
►► ＋を押すと周波数が上がり、◄◄ －を押すと周波数が下がります。

オートチューニング：
►► ＋または ◄◄ －を押し続け、周波数が変わりだしたら指を離します。放送局を受信すると自動で周波数が止まります。

放送を受信すると

放送を受信すると「TUNED」表示が点灯し、FMステレオ放送を受信すると「STEREO」表示も点灯します。

表示窓について

プリセット選局したとき：

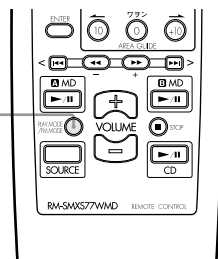
例：FM放送でプリセット番号5の放送局を選んだとき

時計を表示させる

ソース（音源）がFMまたはAMのときにリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓に時計を表示させることができます。
もう一度押すと、前の表示に戻ります。

FM 放送の受信モード

FM放送がうまく受信できないときに、受信モードを変更することができます。

FM ステレオ放送を受信中に、
リモコンの PLAY MODE/FM MODE を押す

押すごとに「MONO」または「AUTO」に切り換わります。

MONO： FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときに選びます。ステレオ放送のときもモノラル音声になります。「STEREO」表示が表示窓から消え、「MONO」が数秒間表示されます。

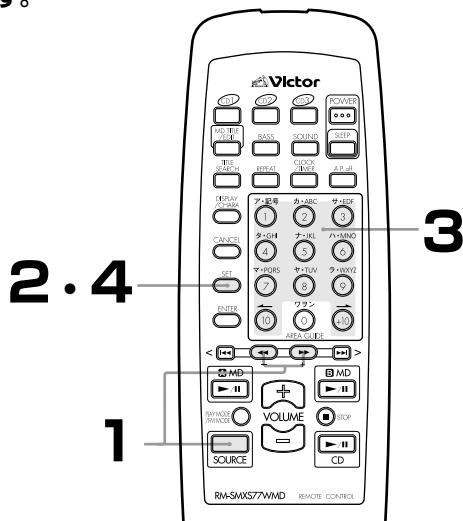
AUTO： FM ステレオ放送のときはステレオ音声、モノラル放送のときはモノラル音声に自動で切り換わるオート受信になります。選局中の「サー」という雑音を消す機能（ミューティング）* も働きます。「AUTO」が数秒間表示されます。

* 電波の弱い放送局の音も消します。

お知らせ

- 通常は「AUTO」でお使いください。
  付属のアンテナでうまく受信できないときは、FM屋外アンテナを接続してください。（➡ 12 ページ参照）
- 本機は、AM ステレオ放送には対応していません。（AM 放送は、モノラル音声になります）

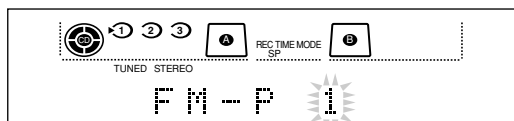
放送局を選んで記憶させる

エリアガイドで放送局を記憶させたあとに、別の放送局を選んで記憶させることができます。
AM 放送局は 15 局、FM 放送局は 30 局まで記憶させることができます。
リモコンを使って操作します。

1 記憶する放送局を受信する

「ラジオを聞く：リモコンを使った操作」（➡ 28 ページ）の手順 **1** と手順 **2** の b の操作をして記憶したい放送局を受信します。

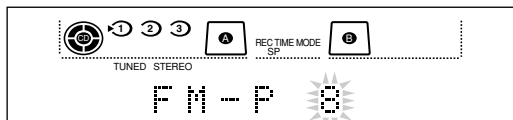
2 SET を押す

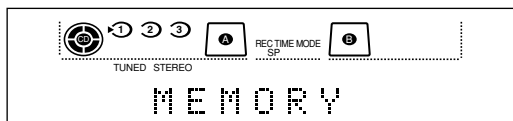
放送局のプリセット番号が 5 秒間点滅します。

- プリセット番号が点滅している間に手順 **3** と **4** の操作をしてください。

点滅

3 1～10、＋10キーを押して記憶させたいプリセット番号を指定する

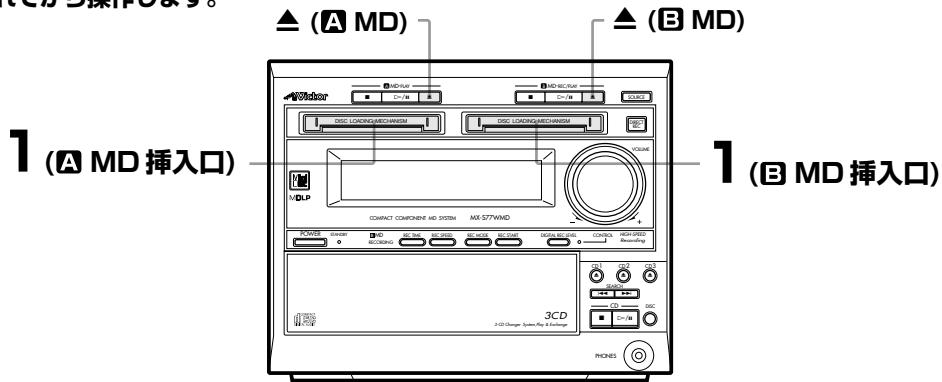
- すでに記憶されているプリセット番号を指定すると、新たに選んだ放送局が記憶されます。
- ▶▶| ＞または＜ |◀◀ を押しても、プリセット番号を選ぶことができます。

例：プリセット番号を 8 にしたとき

4 SET を押す

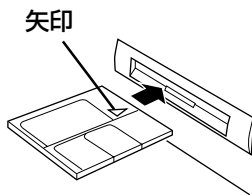
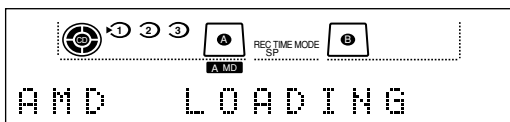
「MEMORY」が表示されます。
「MEMORY」が消灯すると記憶されます。

ご注意

- 放送局を選んで記憶させたあとにエリアガイドの操作をすると、追加／変更した内容がすべて消去され、エリアガイドによって記憶させた放送局に変更されます。
- FM 放送の受信モードは、記憶できません。

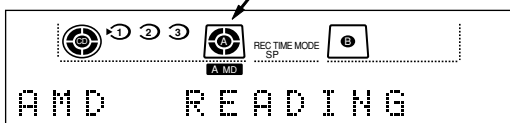
MDを入れる

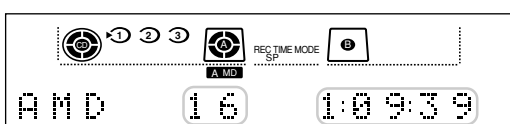
電源を入れてから操作します。

1 MDを入れる

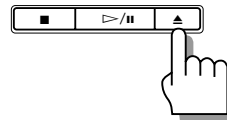
演奏するMDデッキ（A MD／B MD）のMD挿入口にMDを入れます。
MDに表示されている矢印の方向に、矢印のある面を上にして差し込みます。
途中まで入れると自動的に引きこまれます。
ソース（音源）が A MDデッキまたは B MDデッキのときは、次のように表示されます。

矢印

例： A MDデッキのとき

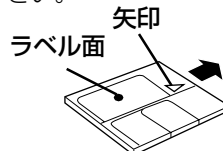
MD挿入：

読み込み中： A MD表示点灯

ディスクタイトル表示（ディスクタイトルが付いているとき）：

曲数と総演奏時間表示：

MDを取り出す

MDを取り出す側の▲を押します。
ソース（音源）が A MDデッキまたは B MDデッキのときは、「EJECT」が表示されます。

- MD挿入口から出てきたMDは、必ず本体から抜き取っておきます。

MDの正しい取り扱いかた

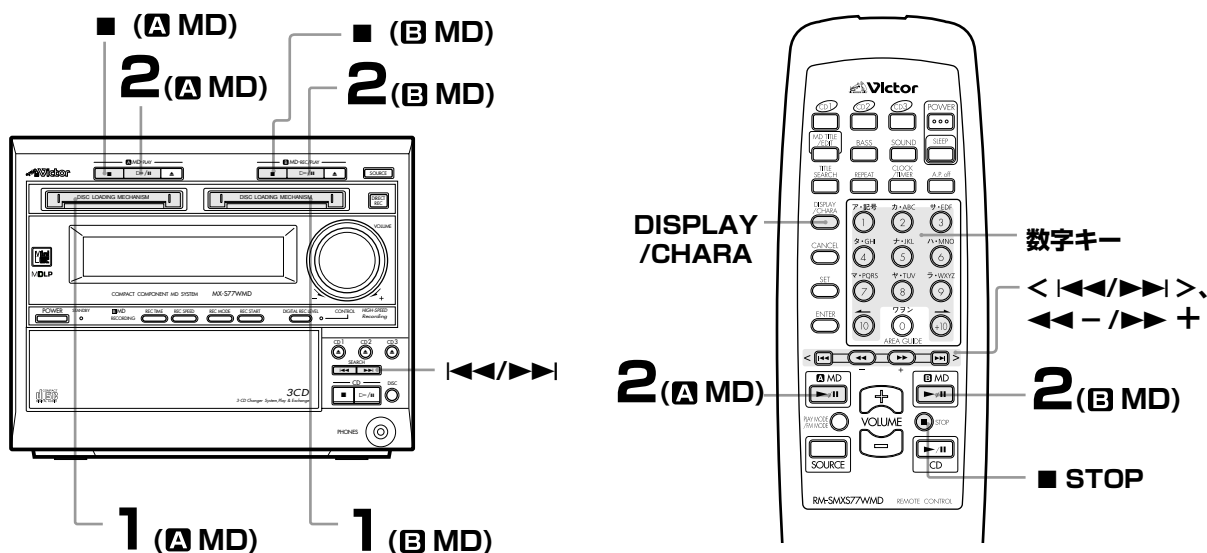
- MDは ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。

間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると故障の原因となります。

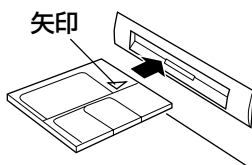
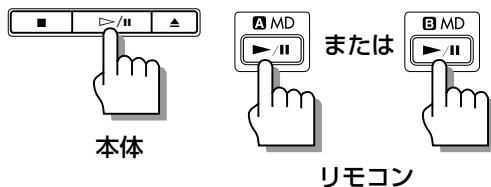
ご注意

- すでにMDが入っているときは、表示窓の A MD表示または B MD表示が点灯しており新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。
- 電源「切」のときは、MDを挿入できません。

MDを聞く

MDを聞くための基本操作です。

1 MDを入れる

演奏するMDデッキ(A MD／B MD)のMD挿入口にMDを入れます。
「MDを入れる」
(➡ 31 ページ参照)

2 MD ▷/II を押す

演奏するMDデッキの ▷/II を押します。
演奏が始まります。

• MDの演奏が終了すると自動停止します。

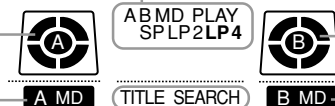
表示窓のMD表示

A MD表示
A MD挿入口にMDを入れると点灯します。
演奏中と一時停止中は、動作に合わせた表示をします。

MD再生モード表示
(下の説明参照)

AB MD PLAY
SP LP2 LP4

B MD表示
B MD挿入口にMDを入れると点灯します。
演奏中と一時停止中は、動作に合わせた表示をします。

A MD　TITLE SEARCH　B MD

ソース(音源)がA MDデッキのときに点灯します。

タイトルサーチのときに点灯します。

ソース(音源)がB MDデッキのときに点灯します。

MDの再生モードについて

MDは録音したときの録音モードにしたがって演奏されます。演奏が始まると、表示窓に演奏曲の再生モードが表示されます。

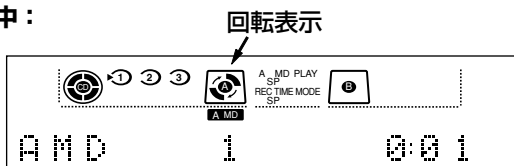
- **SP** ：本機でステレオ録音した曲または **MD LP** に対応していないMDレコーダーで録音した曲のとき
- **LP2**：2倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき
- **LP4**：4倍長時間録音（ステレオ）した曲のとき

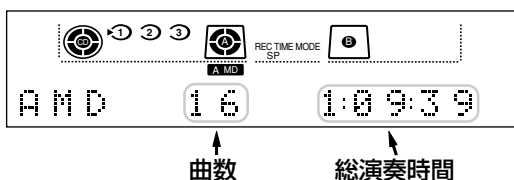
MD LPについて

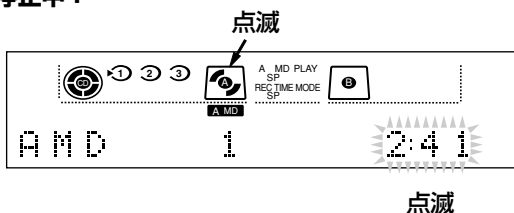
- **MDLP** はMD規格に適合し、新しい音声圧縮方式のATRAC3を採用したステレオ2倍（または4倍）長時間録音･再生モードの機能を持ったMDレコーダー/プレーヤー、またはATRAC3による音声録音されているMDメディア（レコーダブル･メディアを除く）に表示されております。

MD演奏中の表示窓

例： A MDデッキのとき

演奏中：

曲タイトルがついているときはタイトルが表示されてから、上記の表示になります。

停止中：

ディスクタイトルがついているときはタイトルが表示されてから、上記の表示になります。

一時停止中：

表示窓の表示を変える

リモコンのDISPLAY/CHARAを押します。押すごとに次のように変わります。

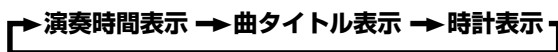
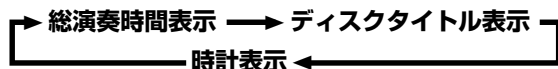
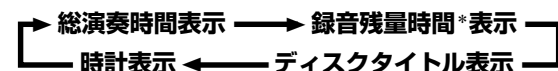
演奏中または一時停止中（A MDまたはB MD）：

→演奏時間表示 →曲タイトル表示 →時計表示

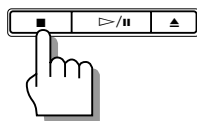
停止中（A MD）：

→総演奏時間表示 → ディスクタイトル表示 → 時計表示

停止中（B MD）：

→総演奏時間表示 → 録音残量時間*表示 → ディスクタイトル表示 → 時計表示

＊ 録音残量時間は「REM.（時間）」で表示され、録音モードがSP（標準）のときの時間で表示されます。

MDを停止する

途中でMDの演奏を停止するときは、■を押します。

演奏を一時停止するとき

演奏中のMDデッキのMD ▷/IIまたはMD ►/II（リモコン）を押します。
もう一度押すと、一時停止したところから演奏が始まります。

曲をダイレクトに演奏する（ダイレクト演奏）

リモコンの数字キーを使います。

1～10曲目を指定するとき：
1～10キーのいずれかを押す。

11曲以上を指定するとき：
＋10キーを先に押してから、1～10キーのいずれかを押す。

例：15曲目
+10 ➡ 5 と押す

例：20曲目
+10 ➡ 10 と押す

例：25曲目
+10 ➡ +10 ➡ 5 と押す

曲の頭出し（スキップ）

本体：

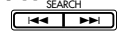
►►I（次の曲の頭出し）またはI◄◄（演奏中の曲の頭出し）を押します。押すごとに1曲ずつ変化します。
- 停止中に押すと曲ごとの演奏時間が表示されます。1曲の演奏時間を調べるときに便利です。

リモコン：

►►I＞または＜I◄◄を押します。押すごとに1曲ずつ変化します。押し続けると連続して変化します。

早送り／早戻し（サーチ）

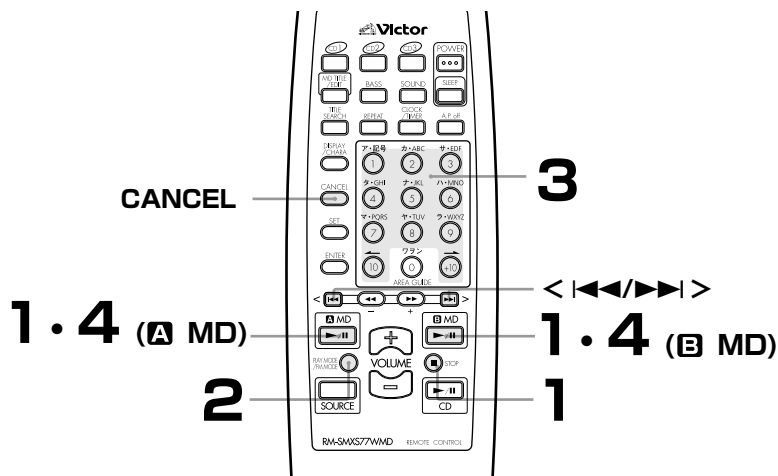
本体：

演奏中に►►IまたはI◄◄を押し続けます。

リモコン：

演奏中に►► ＋（早送り）または◄◄ －（早戻し）を押し続けます。

MDを聞く

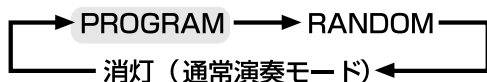
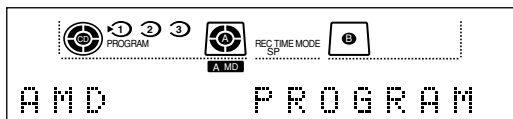
MD のプログラム演奏

お好きな曲をお好きな順番で聞くことができます。**リモコンを使って操作します。**
ソース（音源）をプログラム演奏をする MD にして、停止中に操作します。

1 MD を入れ、MD を停止状態にする

「MD を入れる」(➡ 31 ページ参照)

- ソース（音源）が MD になっていないときは、プログラム演奏する MD デッキの MD ►/II を押してから ■STOP を押します。

2 PLAY MODE/FM MODE を押して「MD PROGRAM」を選ぶ

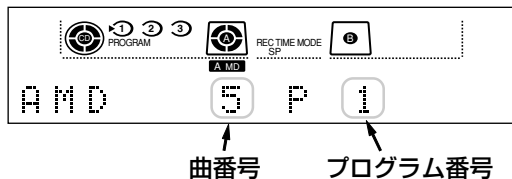
PLAY MODE/FM MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示が次のように切り換わります。

例： A MD デッキのとき

- B MDデッキのときは、「B MD PROGRAM」が表示されます。
- すでにプログラムがされているときは、曲番号とプログラム番号が表示されます。
- PLAY MODE/FM MODEは、MDが停止中に操作することができます。
  PLAY MODE/FM MODE を操作するときは、必ず MD を停止状態にしてください。

3 数字キーを押して曲を指定する

1～10、＋10キーを押して、曲番号を直接入力します。(➡ 33 ページ「ダイレクト演奏」参照)

- 手順 **3** をくり返してプログラムしていきます。
  最大32曲までプログラムできます。33 曲目を指定すると「MEMORY FULL！」が表示されます。

例：5 曲目を指定したとき

4 MD ►/II を押す

プログラム演奏が始まります。

- プログラムした全曲の演奏が終わると自動停止します。

プログラム演奏を途中で止める

■STOPを押します。

演奏が停止し、最後のプログラム内容が表示されます。

曲順の確認

リモコンを使って曲順を確認することができます。
MDが停止中に ▶▶I >（次の曲）または < I◀◀（前の曲）を押します。

プログラムした曲をくり返し聞く

プログラム演奏とリピート演奏を組み合わせると、プログラムした曲をくり返し聞くことができます。
（➡ 37ページ「リピート演奏」参照）

プログラムを間違えたときは（削除）

MDが停止中にCANCELを押すとプログラムした最後の曲から削除していきます。そのあとプログラムをし直します。

プログラムの取り消し（本体のみ）

プログラムしたMDデッキの ▲ を押します。
プログラムが取り消されます。

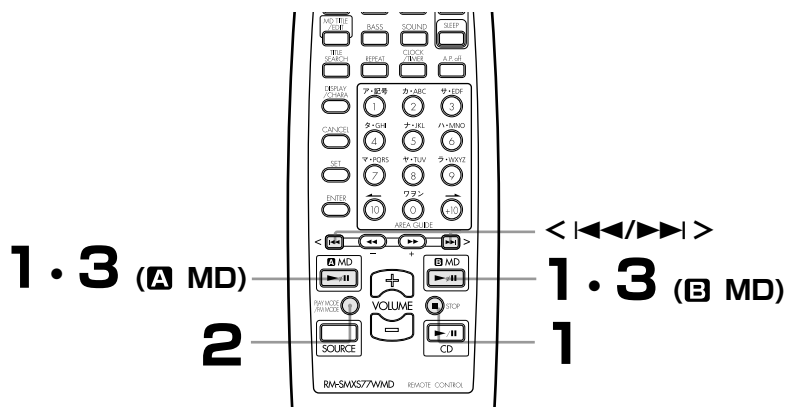
プログラム演奏のモードを解除する

MDが停止中にPLAY MODE/FM MODEを押して、表示窓の「PROGRAM」表示を消灯させます。
ただし、プログラムの内容は残ります。

お知らせ

- 電源を「切」にすると、記憶されているプログラムの内容はすべて削除されます。
- MDのタイトルサーチ（➡ 38ページ参照）の操作をするとプログラム演奏が解除されて、通常演奏になります。

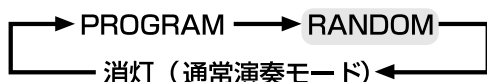
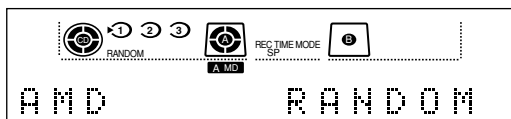
MD のランダム演奏

ランダム（無作為）な曲順で演奏することができます。**リモコンを使って操作します。**
ソース（音源）をランダム演奏する MD にして停止中に操作します。

1 MD を入れ、MD を停止状態にする

「MD を入れる」（➡ 31ページ参照）

- ソース（音源）が MD になっていないときは、ランダム演奏する MD デッキの MD ►/II を押してから ■STOP を押します。

2 PLAY MODE/FM MODE を押して「MD RANDOM」を選ぶ

PLAY MODE/FM MODE を押すごとに表示窓のプレイモード表示が次のように切り換わります。

例：A MD デッキのとき

- B MD デッキのときは、「B MD RANDOM」が表示されます。
- PLAY MODE/FM MODEは、MDが停止中に操作することができます。
PLAY MODE/FM MODE を操作するときは、必ず MD を停止状態にしてください。

3 MD ►/II を押す

ランダム演奏が始まります。

- 全曲のランダム演奏が終了すると自動停止します。
- 一度演奏した曲は重ならないように選曲されます。

ランダム演奏を途中で止める

■STOP を押します。

演奏が停止します。

ランダム演奏中の頭出し

演奏中に▶▶| >を押すと次に演奏する曲の選曲を始めます。
< |◀◀ を押すと演奏中の曲の頭出しをします。

くり返しランダム演奏をする

ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏をくり返します。ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。
（➡ 37ページ「リピート演奏」参照）

ランダム演奏のモードを解除する

MD が停止中に PLAY MODE/FM MODE を押して、表示窓の「RANDOM」表示を消灯させせます。

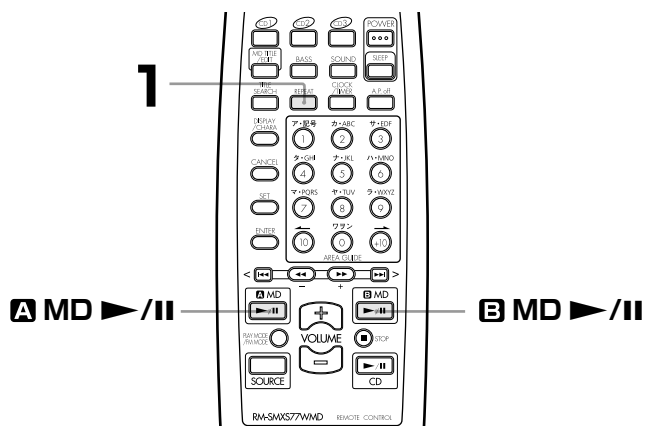
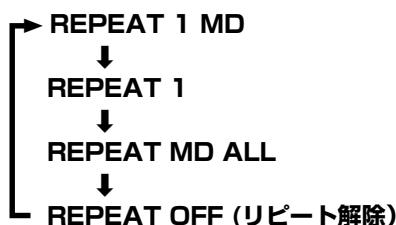
お知らせ

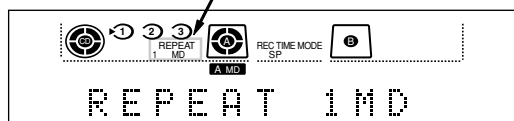
- ランダム演奏中は、数字キーによる操作はできません。
- MD のタイトルサーチ（➡ 38ページ参照）の操作をするとランダム演奏が解除されて、通常演奏になります。

MDのリピート演奏

MDが演奏中や停止中でも設定や解除のできる3種類のリピート演奏があります。**リモコンを使って操作します。**
🅰 MDと🅱 MDデッキを連続してくり返し演奏することもできます。

1 REPEATを押してリピートモードを選ぶ

REPEATを押すごとに次のように切り換わります。

REPEAT 1 MD
↓
REPEAT 1
↓
REPEAT MD ALL
↓
REPEAT OFF (リピート解除)

例：🅰 MDデッキのとき

リピート表示

REPEAT 1 MD：演奏するMDデッキの全曲をくり返し演奏します。すべての演奏モードで選べます。

REPEAT 1：1曲だけくり返し演奏します。すべての演奏モードで選べます。

REPEAT MD ALL：🅰 MDと🅱 MDデッキの両方のMDを連続してくり返し演奏します。🅰 MDと🅱 MDデッキが両方とも通常演奏のときだけ選べます。

- MDが停止中のときは、リピート演奏するMDデッキの（🅰 MDまたは🅱 MD）のMD ►/II を押して演奏を始めます。

リピート演奏のモードを解除する

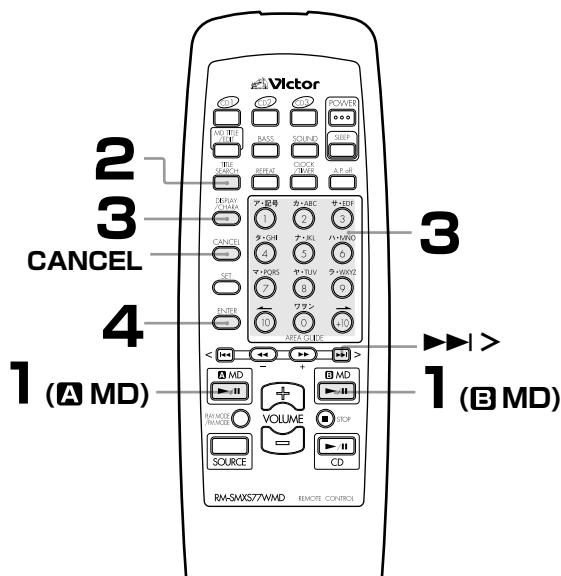
REPEATを押して表示窓のリピート表示を消灯させせます。「REPEAT OFF」が表示されたあと、ソース（音源）の表示に戻ります。

- 電源を「切」にしたときやベストヒット録音（➡ 48ページ）や1CDのシンクロ録音（➡ 50ページ）またはMDのタイトルサーチ（➡ 38ページ）をしたときも解除されます。

お知らせ

- REPEAT MD ALLは、🅰 MDと🅱 MDデッキの両方にMDが入っているときに、連続してくり返し演奏します。🅰 MDまたは🅱 MDデッキのどちらかだけMDが入っているときは、そのMDの演奏が終わると自動停止します。

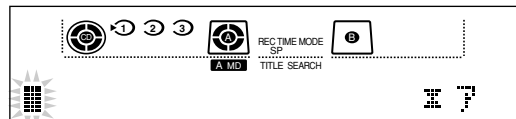
MD のタイトルサーチ

曲タイトルから曲を探して演奏します。**リモコンを使って操作します。**
タイトルサーチは、MD が演奏中または停止中のどちらでも操作できます。

1 タイトルサーチする MD を入れる

「MD を入れる」(➡ 31 ページ参照)
- ソース(音源)を MD を入れた MD デッキ(A MD または B MD)にします。

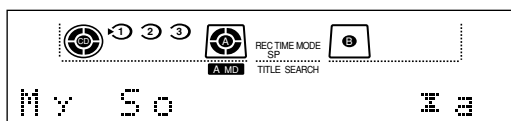
2 TITLE SEARCH を押す

表示窓に TITLE SERACH 表示が点灯し、文字入力表示が表示されます。
- 演奏中は、MD が停止します。
- プログラム演奏やランダム演奏またはリピート演奏のときは解除され、通常演奏の停止状態になります。

例: A MD デッキのとき

点滅

3 探す曲のタイトルを入力する

- タイトルサーチでは、**曲タイトルの最初の1～5文字を入力**します。5文字以上の入力はできません。
- 文字入力のしかたは、39 ページをご覧ください。

例:タイトル「My Song」の曲を探すとき

「M➞y➞ スペース(空白)➞S➞o」とスペースを含めて5文字まで入力できます。
- 「M」だけ入力しても曲を探せますが、曲タイトルの最初が「M」で始まる曲をすべて探します。
- スペースの後ろに文字があるときは、スペースも含めた文字として探します。
  スペースの後に文字が無いときは、スペースを含めずに探します。
- 英大文字と英小文字は区別されます。「My」を「MY」で入力すると、曲タイトル「My Song」は探せません。

4 ENTER を押す

表示窓に「SEARCH…」がスクロール表示され、曲を探します。

入力した文字で始まるタイトルの曲があると:
曲タイトルが表示され、その曲の演奏を始めます。演奏が終了すると再び曲を探し始め、MD 最後の曲まで探します。入力した文字で始まる別の曲があるときはその曲を演奏し、MD の最後まで探しても無いときは「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。
- 曲を演奏中に ▶▶I >を押すと、「SEARCH…」が再び表示され、別の曲を探し始めます。

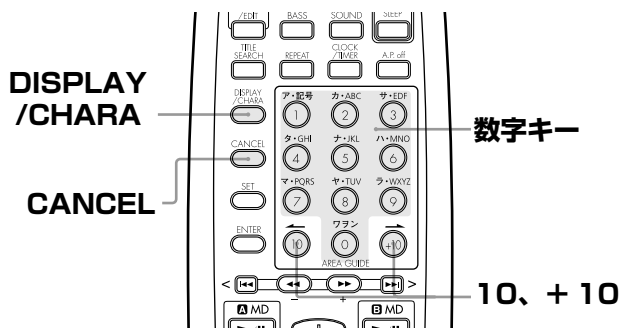
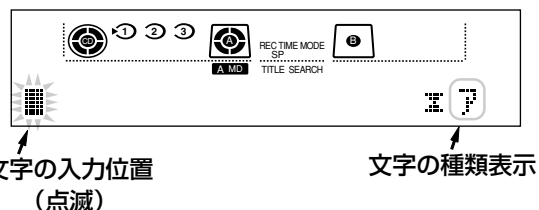
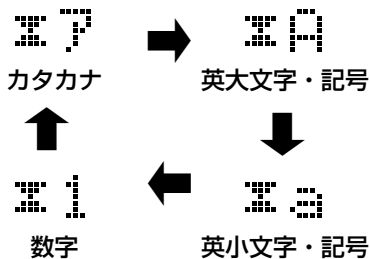
入力した文字で始まるタイトルの曲が無いとき:
「SEARCH END」が表示され、タイトルサーチが終了し解除されます。

タイトルサーチを途中で解除する

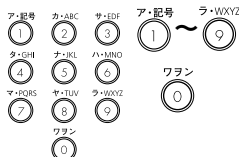
TITLE SEARCH を押します。

タイトルサーチが解除され、前の表示に戻ります。
演奏中は、演奏中の曲から通常演奏になります。
- ■STOP ボタンを押してもタイトルサーチは解除されます。

お知らせ
- タイトルサーチは、曲タイトルのついている曲だけ探すことができます。
本機では、曲タイトルのついていない曲のタイトル表示は「NO TITLE」と表示されますが、タイトルサーチで「NO TI」と入力しても「NO TITLE」と表示される曲は探せません。

文字入力のしかた

文字入力の表示窓

文字の種類を選ぶとき：
DISPLAY/CHARA＊を押す

押すごとに入力する文字の種類が変わります。

＊ CHARA はCHARACTER（キャラクター）（文字や記号）の略です。

文字を選ぶとき：
数字キーを押す

カタカナ入力

(1)〜(9)：ア行からラ行までが割り当ててあります。
(0)：ワ行と「゛、ー、゜」が割り当ててあります。

例：メを入力するときは (7) を４回押す。

英大文字・英小文字入力

数字キーの上に印刷してある記号と英文字が入力できます。

記号は (1) にあります。

例：K を入力するときは (5) を２回押す。
- 文字を間違えたときは、CANCEL を押します。
- 入力できる文字の詳しい内容は、68 ページの「リモコンの文字配列表」をご覧ください。

文字の入力位置を移動するとき：

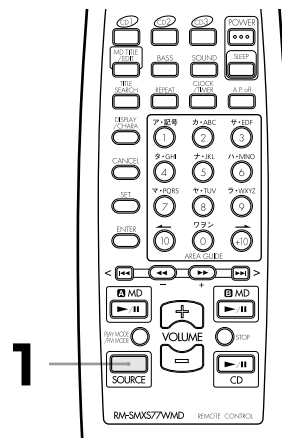
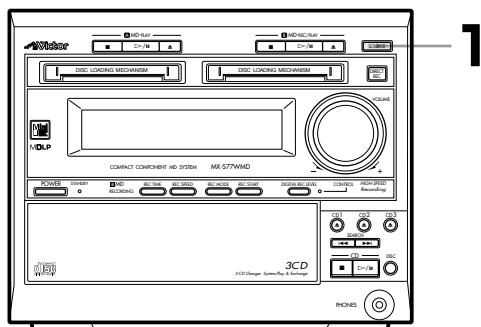
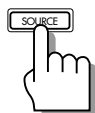
(10) または (+10) を押します。

スペース（空白）を入れるときは、 (+10) を押します。

これらの操作をくり返して文字を入力します。

MDを聞く

接続した他の機器の音を聞く

TAPE 端子、AUX 端子または AUX デジタル入力端子に接続した他の機器の音を聞くことができます。
本機は、サンプリングレートコンバーターを内蔵していますので、CS/BS チューナーや DAT などのデジタル機器に対応しています。

1 SOURCE を押して TAPE、AUX または AUX DIGITAL を選ぶ

SOURCEを押すごとに次のように切り換わります。

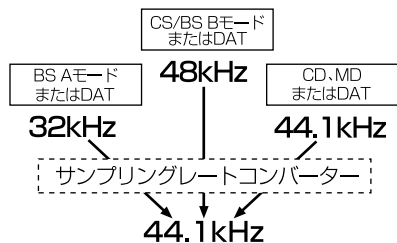
FM ➡ AM ➡ TAPE
⬆ ⬇
AUX DIGITAL ⬅ AUX

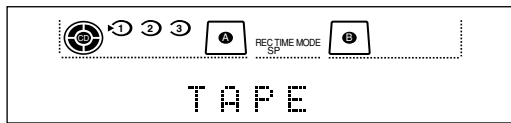
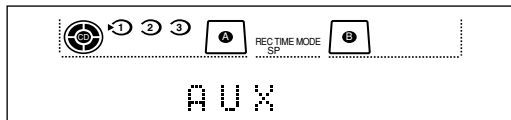
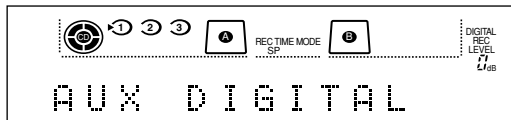
2 接続した機器を演奏状態にする

本機のアンプ機能を使って音量の調節などをします。

- 正しく接続されていることを確認してください。

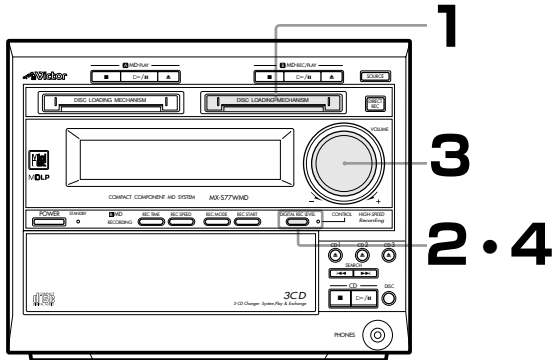
デジタル機器の録音について

本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく録音できます。

表示窓について

TAPE のとき：

AUX のとき：

AUX DITIGAL のとき：

時計を表示させる

ソース（音源）がTAPE、AUXまたはAUX DIGITALのときにリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓に時計を表示させることができます。
もう一度押すと、前の表示に戻ります。

デジタル入力の録音レベルを調節する

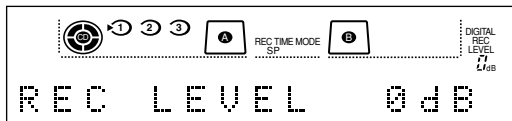
AUXデジタル入力端子に接続した他の機器やCDからMDに録音するときには、デジタル入力の録音レベルを調節することができます。AUX DIGITAL と CD はそれぞれ別に調節できます。
デジタル入力の録音レベルを調節して録音したあとは、録音レベルを 0dB（初期値）に戻すか、次回の録音前に再度デジタル入力の録音レベルを調節してください。
AUX デジタル入力端子からの音を聞いているときまたは CD を演奏中に、本体を使って操作します。

使い方のヒント

次のような場合に、デジタル入力の録音レベルを調節すると便利です。
- AUX デジタル入力端子に接続した他の機器の出力レベルが低いとき
- 数種類の CD を同じ MD に録音する場合、CD の違いによる録音レベルのバラツキを整えるとき

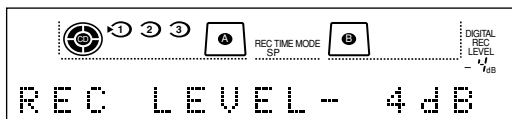
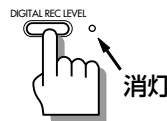
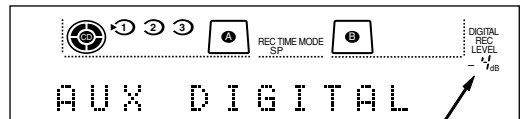
1 録音用のMDを Ⓑ MDデッキに入れる

- 録音用MDが入っていないと、正しく調節できないことがあります。

2 DIGITAL REC LEVEL を押す

ボタン右側のランプが点滅します。CDは、定速録音のときに限り調節できます。

3 VOLUME を回して入力レベルを調節する

OVER 表示が消灯するように調節します。
VOLUMEは、左に回すと入力レベルが下がり、右に回すと上がります。
- 入力レベルは、2dB 単位で －12dB ～＋ 12dB の範囲で調節できます。

例：入力レベルを－ 4dB に調節したとき

4 入力レベルの調節が終わったら、DIGITAL REC LEVEL を押す

ボタン右側のランプが消灯し、表示窓が前の表示に戻ります。
- VOLUME で音量の調節ができるようになります。

入力レベルはここに表示されています。

お知らせ

- DIGITAL REC LEVEL ボタンのランプが点滅しているときは、VOLUME で音量の調節はできません。
- デジタル入力の録音レベルを調節しているときは、スピーカーやヘッドホンで聞こえる音量も変化しますが、これは入力レベルを聞いているためです。DIGITAL REC LEVELを押して、デジタル入力の録音レベルの調節を終了すると通常の音量で聞こえます。
- デジタル入力の録音レベルの設定が大きすぎると、OVERが表示されます。このようなときは、デジタル入力の録音レベルを下げてください。

例：ソース（音源）が AUX DIGITAL のとき

OVER 表示点灯

AUX DIGITAL

- デジタル入力の録音レベルを調節すると、TAPE 端子または AUX 端子に接続したアナログ機器からの録音レベルも変化します。

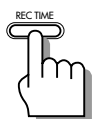
他の機器の操作

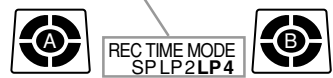
録音をする前に

録音には、Ⓑ MD デッキを使います。
本機の Ⓑ MDデッキでは、CD、Ⓐ MDデッキ、ラジオまたは接続した他の機器の音を録音するとき、それぞれのソース（音源）ごとに次のような録音ができます。

ステレオ長時間録音

従来モノラル音声でしかできなかったMDの２倍長録音が、本機ではステレオ音声のままで２倍長または４倍長の長時間録音ができます。
録音するソース（音源）や録音方式に関係なく設定でき、各ソース（音源）の録音と組み合わせて使用できます。また、１枚のMDに違う録音モード（SP：標準／LP2：２倍長／LP4：４倍長）の曲を混ぜて録音することもできます。

録音モード（SP ／LP2 ／LP4）は、本体の REC TIME ボタンを押して設定します。

ボタンを押すごとに表示窓の録音モード表示に「SP」、「LP2」または「LP4」のいずれかが点灯します。

録音モード表示

SP ： 標準の長さで録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間と同じです。
LP2： ２倍長時間録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間の２倍になります。
LP4： ４倍長時間録音されます。録音できる時間は、MDのパッケージに表示されている時間の４倍になります。
ラジオ放送の長時間録音などに使用するときに便利です。

ステレオ長時間録音をしたときのご注意

本機でステレオ長時間録音をしたときは、次のことにご注意ください。
- **本機でステレオ２倍長時間録音または４倍長時間録音された曲は、MDLPに対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では演奏できません。**
  曲タイトルの先頭に「LP：」が表示され、無音で演奏されます。 MDLPに対応した機器で演奏すると、「LP：」は表示されません。
- MDの編集をするとき、録音モード（SP／LP2／LP4）の異なる曲をつなげる（JOIN）ことはできません。

お知らせ

- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間（SP➡LP2➡LP4）になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、録音モードの SP をお勧めします。

録音をする前に

- MD には最大 254 曲まで録音することができます。
- CD の音やデジタル入力端子に接続したデジタル機器（CS/BS チューナーや DAT など）の音は、デジタル信号のまま録音されますが、テープやラジオ放送の音はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。
  また、本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しているため、デジタル機器のサンプリング周波数（32kHz、44.1kHz、48kHz）に関係なく、聞いたり録音することができます。ただし、DVDなどのドルビーデジタルや DTS デジタル信号には対応していません。
- MD の場合、再生専用 MD の音を録音するときに限り、デジタル信号で録音することができます。自分で録音したMD の音を録音するときは、アナログ信号の録音になります。
  再生専用 MD： 市販のミュージック MD ソフトのことです。
- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して録音されます。
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡ 78 ページ参照) で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます。(➡ 66 ページ参照)
- 録音レベルは自動調節されます。ただし、AUX DIGITAL やCDの音の録音レベル（デジタル入力レベル）は、調節することができます。
  (➡ 41 ページ参照)
- 録音中は、音量・音質を変えても録音される音には影響ありません。
- **録音中または編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**

トラックマークについて

MDには、聞きたい曲を番号で選ぶために、曲ごとの頭の部分に頭出しのための曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間の部分が「曲」としてみなされます。

- CDと🅰 MDデッキの音を録音するときは、曲の変わり目に自動的にトラックマークがつきます。
  CD以外のデジタルソースのときも、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。
  FM放送やテープなどのアナログソースの録音中も、無音部分が3秒以上続くと自動的にトラックマークがつきます。
- 手動でトラックマークをつけるときは、録音中につけたいところでリモコンのSETを押してつけます。
  CDや🅰 MDデッキの音を録音しているときは、トラックマークを手動でつけることはできません。

倍速録音について(HCMS)

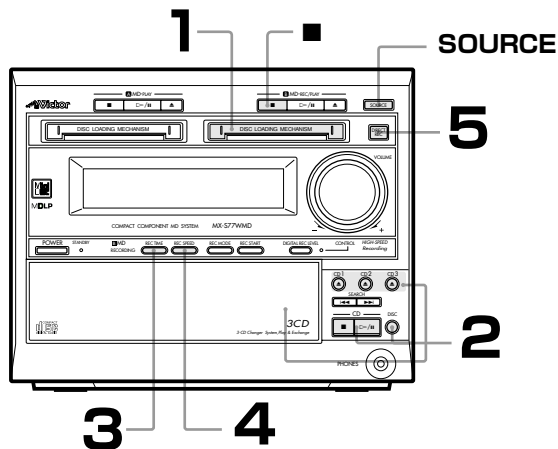
倍速（ハイスピード）録音では、著作権保護のため倍速録音に関する規定があります。(➡ 87ページ参照)
この規定により本機では、一度倍速録音したCDの曲は録音開始から74分が経過しないと、再録音できません。
74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、表示窓に再録音が可能になるまでの残り時間が表示されます。

例：再録音が可能になるまでの時間が65分のとき

WAIT 65Min

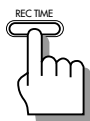
CDをプログラムして倍速で録音するときは、プログラムの中に同じ曲が入っていると、倍速録音の規定により、録音が途中で停止します。同じ曲をプログラムして録音するときは、定速で録音してください。

CD をワンタッチ録音する

DIRECT REC ボタンを使って３枚の CD を連続して録音します。
１曲だけの録音や曲順を指定して録音（プログラム録音）、３枚の CD からランダムに録音ができます。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 CD の準備をする

- CDを入れ、DISCを押して録音を開始するCDを選び、CD ▷/II を押してから、■を押します。
  ソース（音源）をCDにし、停止状態にします。

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC SPEEDを押して録音のスピードを設定する

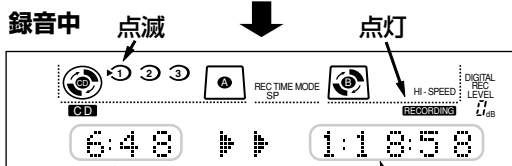
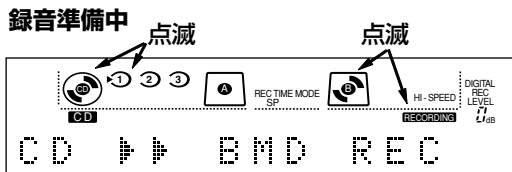
ボタンを押すごとに表示窓の録音スピード表示が「NORMAL（定速録音）」または「HI-SPEED（倍速録音）」に切り換わります。

録音スピード表示
ソース（音源）がCDのときに表示されます。

- 録音スピードをHI-SPEED（倍速録音）にすると、録音中の CD の音は聞くことはできません。
- 裏録機能を使って A MDデッキの音を聞くことができます。（➡ 45 ページ参照）
- 定速録音のときに限り、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

5 DIRECT REC を押す

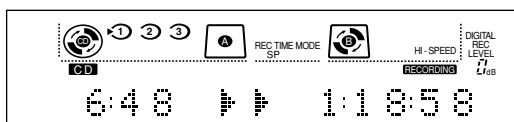
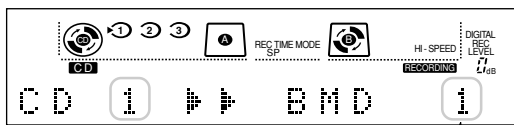
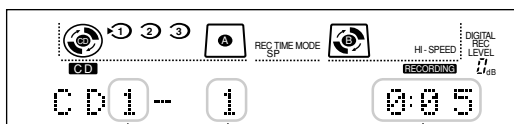
CDの演奏とMDの録音が同時に始まるシンクロ録音になります。
CDプレーヤーに入っている3枚までの CD を連続して録音します。
- 最後のCDの録音が終了するか B MDデッキの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。

例：録音モードが SP（標準）で録音スピードが HI-SPEED（倍速録音）の録音をするとき

録音を途中で止める

CD または B MD デッキの ■ を押します。
CD と B MD デッキが同時に停止します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
DISPLAY/CHARA を押すごとに、次のように変わります。

演奏中の曲の残り時間と B MD の録音残量時間

演奏中の曲番号と録音中の曲番号表示

CD 表示

時計表示

A MD デッキの音を聞く（裏録機能）

CDを録音中に裏録機能を使って、A MDデッキの演奏を聞くことができます。

1. CDを録音中に本体またはリモコンのSOURCEを押す

ソース（音源）が A MDデッキになり、表示窓にAMD の表示が表示されます。

2. A MD デッキの MD ▷/II を押す

A MD デッキの演奏が始まります。
- 本体やリモコンを使って、A MD デッキの操作ができます。

- 録音中のCDの音を聞くときは、もう一度SOURCEを押します。 A MD デッキは自動で停止します。

演奏中の曲だけを録音する（1 曲録音）

1. 録音用 MD を B MD デッキに入れる
- 録音モードを変えるときは、REC TIMEを押します。
- 録音スピードを変えるときは、REC SPEEDを押します。

2. CD を演奏中に DIRECT REC を押す

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

- 1 曲録音が終わると、CD と B MDデッキは自動停止します。

CD をプログラムして録音する

1. 録音用 MD を B MD デッキに入れる

2. CD ▷/II を押してから ■ を押す

3. 録音したい CD の曲をプログラムする

（➡ 24 ページ参照）
- プログラムが終わってもCD ▷/IIは押さないでください。

4. 44 ページの手順３～５の操作をする

プログラムした順に録音されます。
プログラムの最後の曲の演奏が終わると、録音が自動停止します。

CD をランダムな曲順で録音する

1. 録音用 MD を B MD デッキに入れる

2. CD ▷/II を押してから ■ を押す

3. CD のランダム演奏のモードにする

（➡ 26 ページ参照）
- CD ▷/II は押さないでください。

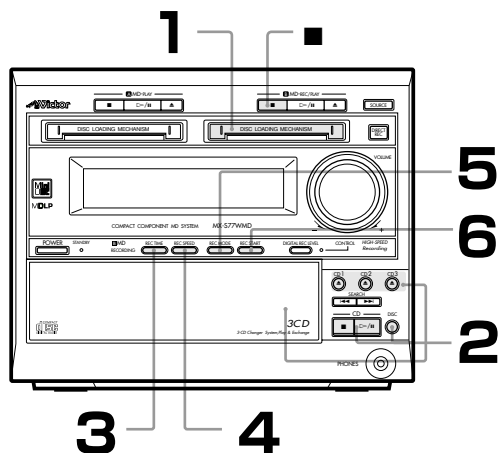
4. 44 ページの手順３～５の操作をする

ランダムな曲順で録音されます。
ランダム演奏の最後の曲が終わると、録音が自動停止します。

ご注意

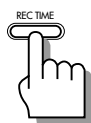
- 手順**4**で倍速録音を選んでいる場合、倍速録音開始から74 分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。（➡ 87 ページ参照）
プログラム録音などで同じ曲がプログラムされている場合、その曲の２回目の録音時に再録音が可能になるまでの残り時間が表示され、録音が途中で終了します。

REC MODE を使って CD を連続録音する

REC MODE ボタンを使って、3 枚の CD を連続して録音します。
1 曲だけの録音や曲順を指定して録音（プログラム録音)、3 枚の CD からランダムに録音ができます。

1 録音用MDを Ⓑ MDデッキに入れる

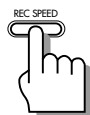
2 CD の準備をする

- CDを入れ、DISCを押して録音を開始するCDを選び、CD ▷/II を押してから、■を押します。
  ソース（音源）をCDにし、停止状態にします。

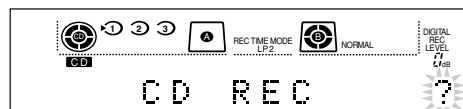
3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC SPEEDを押して録音のスピードを設定する

ボタンを押すごとに表示窓の録音スピード表示が「NORMAL（定速録音)」または「HI-SPEED（倍速録音)」に切り換わります。
（➡ 44 ページ手順 **4** 参照）

- 録音スピードを HI-SPEED（倍速録音）にすると、録音中の CD の音は聞くことはできません
- 裏録機能を使って Ⓐ MDデッキの音を聞くことができます。（➡ 45 ページ参照）
- 定速録音のときに限り、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

5 REC MODE を押して「CD REC？」を選ぶ

点滅

6 REC START を押す

CDの演奏とMDの録音が同時に始まるシンクロ録音になります。
CDプレーヤーに入っている3枚までのCDを連続して録音します。

- 最後のCDの録音が終了するかB MDデッキの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。

例：録音モードがLP2（ステレオ2倍長時間録音）、録音スピードがNORMAL（定速録音）のとき

録音を途中で止める

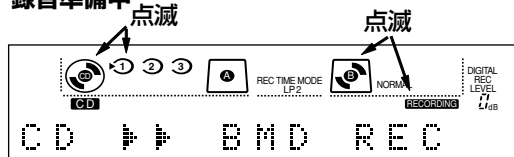
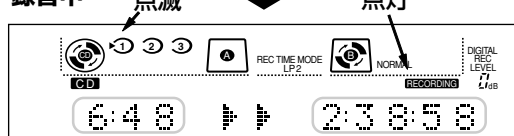
CDまたはB MDデッキの■を押します。
CDとB MDデッキが同時に停止します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
（➡ 45 ページ参照）

REC MODE を解除する

表示窓がCDの表示に変わるまでREC MODEを押します。

ご注意

- 手順**4**で倍速録音を選んでいる場合、倍速録音開始から74分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。（➡ 87 ページ参照）
  プログラム録音などで同じ曲がプログラムされている場合、その曲の2回目の録音時に再録音が可能になるまでの残り時間が表示され、録音が途中で終わります。

演奏中の曲だけを録音する（1曲録音）

1. 録音用MDをB MDデッキに入れる

- 録音モードを変えるときは、REC TIMEを押します。
- 録音スピードを変えるときは、REC SPEEDを押します。

2. CDを演奏中にREC MODEを押す

「1Tr. REC？」が表示されます。
ディスクエンドフェード録音*をするときは、REC MODEをもう一度押して、「DISC END FADE REC」を選びます。

3. REC STARTを押す

演奏中（または一時停止中）の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

- 1曲録音が終わると、CDとB MDデッキは自動停止します。

*「ディスクエンドフェード録音について（➡ 51 ページ）」をご覧ください。

CDをプログラムして録音する

1. 録音用MDをB MDデッキに入れる
2. CD ▷/II を押してから■を押す
3. 録音したいCDの曲をプログラムする

（➡ 24 ページ参照）

- プログラムが終わってもCD ▷/IIは押さないでください。

4. 46 ページの手順3～6の操作をする

プログラムした順に録音されます。
プログラムの最後の曲の演奏が終わると、録音が自動停止します。

CDをランダムな曲順で録音する

1. 録音用MDをB MDデッキに入れる

2. CD ▷/II を押してから■を押す

3. CDのランダム演奏のモードにする

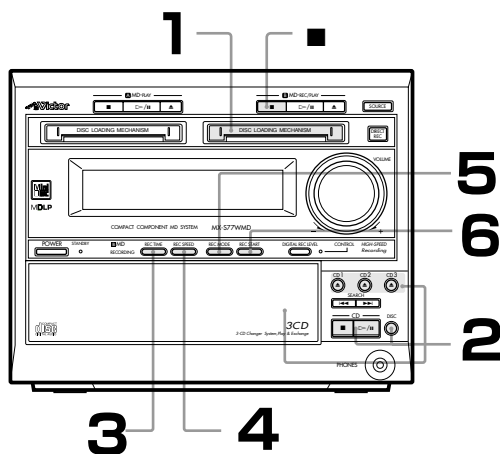
（➡ 26 ページ参照）

- CD ▷/IIは押さないでください。

4. 46 ページの手順3～6の操作をする

ランダムな曲順で録音されます。
ランダム演奏の最後の曲が終わると、録音が自動停止します。

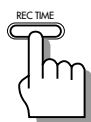
CD のベストヒット録音

REC MODEボタンを使って、CDの１曲目だけを続けて録音することができます。ヒット曲集などを作るときに便利です。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 CD の準備をする

CD を入れ、CD ▷/II を押してから、■ を押します。

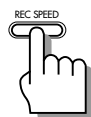
ソース（音源）を CD にし、停止状態にします。

- **CD1 から録音が開始しますが、CD1 にCDが入っていないときは、CD2またはCD3から録音が開始します。**

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

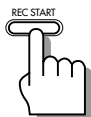
- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC SPEEDを押して録音のスピードを設定する

ボタンを押すごとに表示窓の録音スピード表示が「NORMAL（定速録音）」または「HI-SPEED（倍速録音）」に切り換わります。（➡ 44 ページ手順 **4** 参照）

- 録音スピードを HI-SPEED（倍速録音）にすると、録音中の CD の音は聞くことはできません
- 裏録機能を使って A MDデッキの音を聞くことができます。（➡ 45 ページ参照）
- 定速録音のときに限り、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

5 REC MODE を押して「BEST HIT REC？」を選ぶ

点滅

6 REC START を押す

CD1 から録音が開始します。
- CDトレイに入っているすべてのCD の 1 曲目の録音が終了すると、録音が自動停止します。
- 手順 **4** で NORMAL（定速録音）を選んで録音しているときは、録音していないCDの⏏を押して、CD を入れ換えることができます。
  CDの演奏順の最後に入れ換えたCDの録音が終了すると自動停止します。

例：録音モードがＳＰ（標準）、録音スピードがNORMAL（定速録音）のとき

演奏中の曲の残り時間

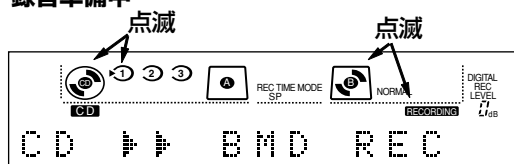
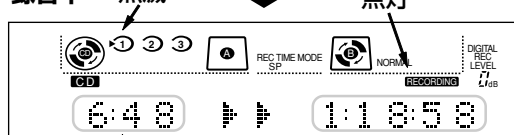
B MD デッキの録音残量時間（録音モードによって、録音残量時間は変わります）

録音を途中で止める

CD または **B** MD デッキの ■ を押します。
CD と **B** MD デッキが同時に停止します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARA を押すと、表示窓の表示を変えることができます。
(➡ 45 ページ参照)

REC MODE を解除する

表示窓が CD の表示に変わるまで REC MODE を押します。

４枚以上連続して録音する（定速録音のとき）

１枚の録音が終了したら
1. 終了した CD を入れ換える
2. 順次終了した CD を入れ換える
⋮
CDの演奏順の最後に入れ換えたCDの録音が終わると、自動停止します。

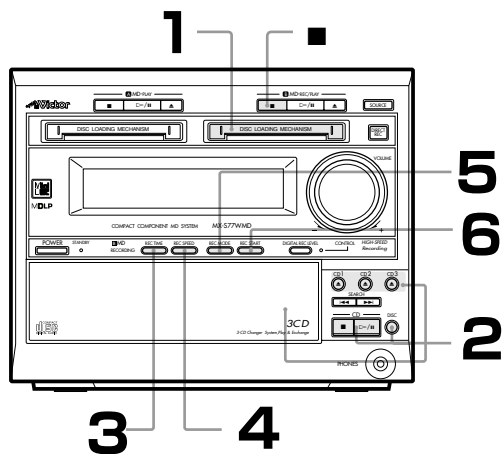
ご注意

- 手順**4**で倍速録音を選んでいる場合、倍速録音開始から74 分を経過しないと、同じ曲を続けて録音することはできません。これは著作権保護のためです。(➡ 87 ページ参照)
- 手順**4**で倍速録音を選んでいるときは、CD を交換することはできません。

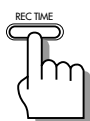
お知らせ

- ベストヒット録音をすると、CD と MD のリピートモードが解除されます。

1CD のシンクロ録音

REC MODE ボタンを使って、1 枚の CD をそのまま MD にシンクロ録音することができます。
MD の録音残量時間に合わせてフェードアウト（徐々に音量を下げる）させる録音もできます。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

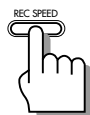
2 CD の準備をする

- CD を入れ、DISC を押して録音する CD を選び、CD ▷/II を押してから、■を押します。ソース（音源）をCDにし、停止状態にします。

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

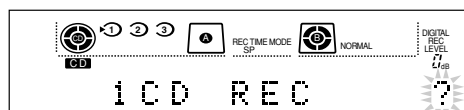
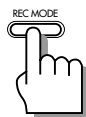
ボタンを押すごとに次のように変わります。

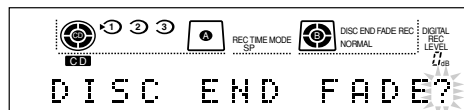
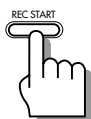
SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC SPEEDを押して録音のスピードを設定する

ボタンを押すごとに表示窓の録音スピード表示が「NORMAL（定速録音）」または「HI-SPEED（倍速録音）」に切り換わります。（➡ 44 ページ手順 **4** 参照）

- 録音スピードをHI-SPEED（倍速録音）にすると、録音中のCDの音は聞くことはできません
- 裏録機能を使って A MDデッキの音を聞くことができます。（➡ 45 ページ参照）
- 定速録音のときに限り、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

5 REC MODE を押して「1CD REC？」を選ぶ

- **録音スピードがNORMAL（定速録音）のときにディスクエンドフェード録音（➡ 51 ページ参照）をするときは、** REC MODE をもう一度押して、「DISC END FADE 1CD REC？」（スクロール表示）を選びます。DISC END FADE REC 表示が点灯します。

「1CD REC？」の
「DISC END FADE REC？」を選んだとき

6 REC START を押す

CDの演奏とMDの演奏が同時に始まるシンクロ録音が開始します。
選んだCD1枚を録音します。

- 録音が終わるかMDの B MDデッキの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。

例：録音モードがSP（標準）、録音スピードがNORMAL（定速録音）、ディスクエンドフェード録音をするとき

録音を途中で止める

CDまたは B MDデッキの ■ を押します。
CDと B MDデッキが同時に停止します。

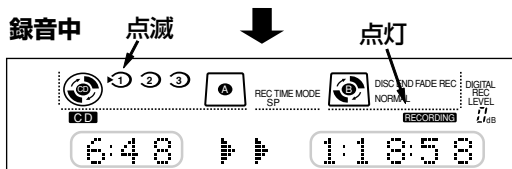
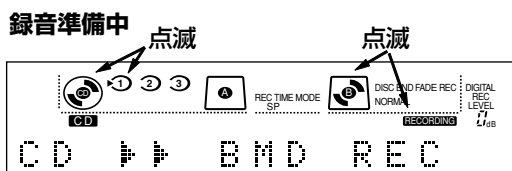
録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
（➡ 45 ページ参照）

REC MODE を解除する

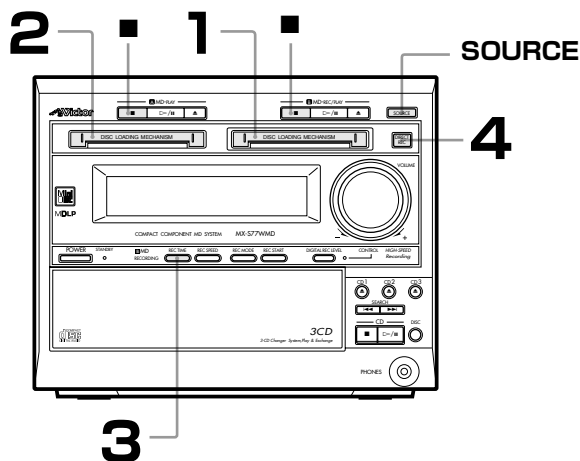
表示窓がCDの表示に変わるまでREC MODEを押します。

お知らせ

- 1CDシンクロ録音をすると、CDとMDのリピートモードが解除されます。

ディスクエンドフェード録音について

MDの録音残量時間の最後の8秒をフェードアウト（徐々に音量を下げる）した録音をします。
MDの録音可能時間いっぱいまで録音したとき、最後の曲で急に音が消えずに、フェードアウトした演奏になります。
ディスクエンドフェード録音は、録音スピードがNORMAL（定速録音）のときに選べます。
REC MODEを使った「1曲録音（➡ 47 ページ参照）」、「1CDのシンクロ録音（➡ 50 ページ参照）」、REC MODEを使ってAUX DIGITALからの音を録音するとき（➡ 62 ページ参照）にディスクエンドフェード録音をすることができます。
ディスクエンドフェード録音を選ぶと、表示窓のDISC END FADE REC表示が点灯します。

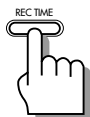
A MD の音をワンタッチ録音する

DIRECT REC ボタンを使って A MD デッキの音を録音します。
A MD デッキに入れた MD の曲タイトルも同時にコピーします。（最大 61 文字）

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 A MD の準備をする

A MDデッキに演奏するMDを入れ、A MD ▷/II を押してから、■を押します。
ソース（音源）を A MDにし、停止状態にします。

- **A MD デッキに再生専用 MD を入れたときだけ、デジタル録音**になります。
  それ以外の MD を A MD デッキに入れたときは、アナログ録音になります。

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

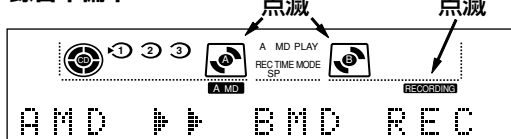
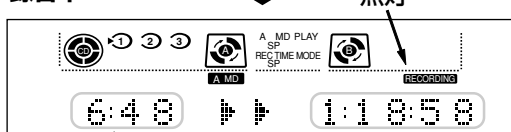
SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 DIRECT REC を押す

A MDデッキの演奏と B MDデッキの録音が同時に始まるシンクロ録音になります。

- A MD デッキの最後の曲の録音が終わるか、B MD デッキの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。
- 裏録機能を使って CD の音を聞くこともできます。（➡ 52 ページ参照）

例：録音モードが SP（標準）の録音をするとき

CD の音を聞く（裏録機能）

A MD デッキの音を録音中に裏録機能を使って、CD の演奏を聞くことができます。

1. A MD デッキの音を録音中に、本体またはリモコンの SOURCE を押す
ソース（音源）が CD になり、表示窓に CD の表示が表示されます。

2. CD ▷/II を押す
CD の演奏が始まります。
- 本体やリモコンを使ってCDの操作もできます。

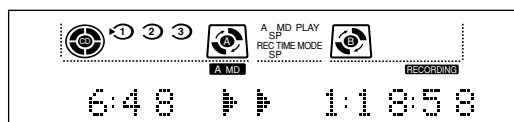
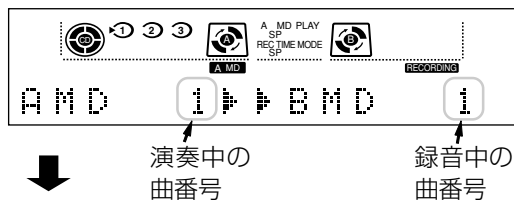
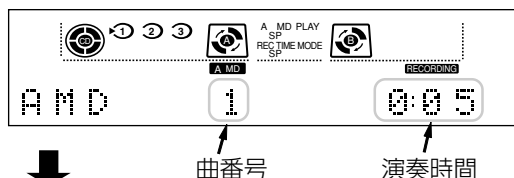
- 録音中の A MDデッキの音を聞くときは、もう一度 SOURCE を押します。CD は自動で停止します。

録音を途中で止める

A MDデッキまたは B MDデッキの■を押します。
A MDデッキと B MDデッキが同時に停止します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
DISPLAY/CHARAを押すごとに、次のように変わります。

演奏中の曲の残り時間と B MDデッキの録音残量時間

演奏中の曲番号と録音中の曲番号表示

A MD表示

曲タイトル表示

時計表示

タイトルのコピーについて

A MDデッキの曲に曲タイトルがついているときは、録音と同時に B MDデッキに曲タイトルがコピーされます。
A MDデッキのMDにディスクタイトルがついている場合、ブランクディスクを使って B MDデッキで録音しているときに限り、録音と同時にディスクタイトルもコピーされます。
すでに曲が録音されているMDのときは、ディスクタイトルはコピーされません。
録音済みのMDをブランクディスクにするときは、「全曲を消す（ALL ERASE）」（➡ 78ページ参照）をご覧ください。

演奏中の曲だけを録音する（1曲録音）

1. 録音用MDを B MDデッキに入れる
- 録音モードを変えるときは、REC TIMEを押します。

2. A MDデッキを演奏中（または一時停止中）にDIRECT RECを押す

演奏中（または一時停止中）の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。

- 1曲録音が終わると、A MDデッキと B MDデッキは自動停止します。

MDをプログラムして録音する

1. 録音用MDを B MDデッキに入れる

2. A MD ▷/II を押してから■を押す

3. A MDデッキで、録音したい曲をプログラムする
（➡ 34ページ参照）
- プログラムが終わっても A MD ▷/II は押さないでください。

4. 52ページの手順3〜4の操作をする
プログラムした順に録音されます。
プログラムの最後の曲の演奏が終わると、録音が自動停止します。

MDをランダムな曲順で録音する

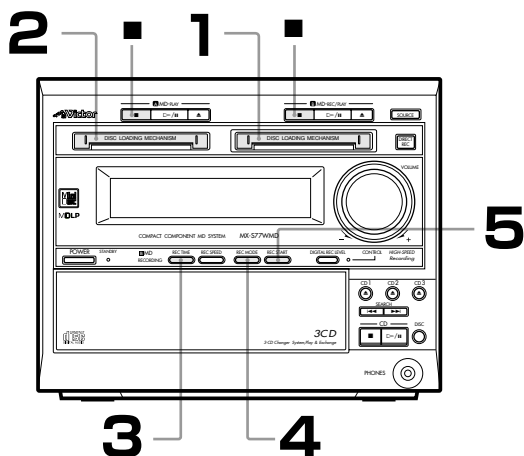
1. 録音用MDを B MDデッキに入れる

2. A MD ▷/II を押してから■を押す

3. A MDデッキでランダム演奏のモードにする
（➡ 36ページ参照）
- A MD ▷/II は押さないでください。

4. 52ページの手順3〜4の操作をする
ランダムな曲順で録音されます。
ランダム演奏の最後の曲が終わると、録音が自動停止します。

REC MODE を使ってA MD の音を録音する

REC MODE ボタンを使って録音します。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 A MD の準備をする

A MDデッキに演奏するMDを入れ、A MD ▷/II を押してから、■を押します。
ソース（音源）をA MDにし、停止状態にします。
- **A MD デッキに再生専用 MD を入れたときだけ、デジタル録音**になります。
  それ以外の MD をA MD デッキに入れたときは、アナログ録音になります。

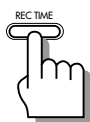
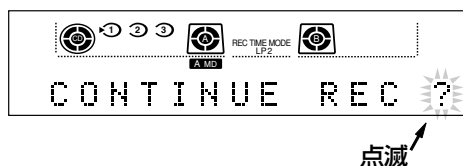
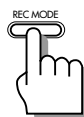
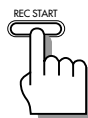
3 REC TIME を押して録音モードを設定する

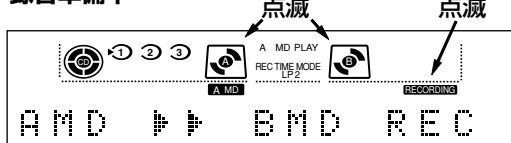
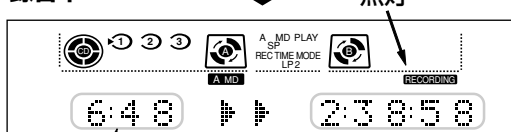
ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC MODE を押して「CONTINUE REC？」を選ぶ

点滅

5 REC START を押す

A MDデッキの演奏と B MDデッキの録音が同時に始まるシンクロ録音になります。
- A MDデッキの最後の曲の録音が終わるか、B MD デッキの録音残量時間が無くなると録音が自動停止します。
- 裏録機能を使って CD の音を聞くこともできます。（➡ 52ページ参照）
- A MDデッキに入れたMDの曲タイトルも同時にコピーします。（最大 61 文字）（➡ 53ページ参照）

例：録音モードがLP2（ステレオ2倍長時間録音）のとき

演奏中の曲の残り時間

B MD デッキの録音残量時間（録音モードによって、録音残量時間は変わります）

録音を途中で止める

A MDデッキまたは B MDデッキの■を押します。
A MDデッキと B MDデッキが同時に停止します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
(➡ 53 ページ参照)

REC MODEを解除する

表示窓が A MDデッキの表示に変わるまでREC MODEを押します。

演奏中の曲だけを録音する（1曲録音）

1. **録音用MDを B MDデッキに入れる**
   - 録音モードを変えるときは、REC TIMEを押します。
2. **A MDデッキを演奏中（または一時停止中）にREC MODEを押す**
   「1Tr. REC？」が表示されます。
3. **REC STARTを押す**
   演奏中（または一時停止中）の曲の頭に戻り、その曲だけを録音します。
   - 1曲録音が終わると、A MDと B MDは自動停止します。

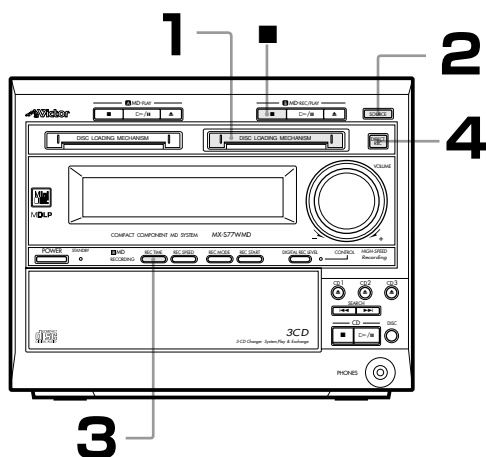
MDをプログラムして録音する

1. **録音用MDを B MDデッキに入れる**
2. **A MD ▷/II を押してから■を押す**
3. **A MDデッキで、録音したい曲をプログラムする**
   (➡ 34 ページ参照)
   - プログラムが終わっても A MD ▷/II は押さないでください。
4. **54 ページの手順3〜5の操作をする**
   プログラムした順に録音されます。
   プログラムの最後の曲の演奏が終わると、録音が自動停止します。

MDをランダムな曲順で録音する

1. **録音用MDを B MDデッキに入れる**
2. **A MD ▷/II を押してから■を押す**
3. **A MDデッキでランダム演奏のモードにする**
   (➡ 36 ページ参照)
   - A MD ▷/II は押さないでください。
4. **54 ページの手順3〜5の操作をする**
   ランダムな曲順で録音されます。
   ランダム演奏の最後の曲が終わると、録音が自動停止します。

ラジオの音をワンタッチ録音する

DIRECT REC ボタンを使ってラジオの音を録音します。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 録音する放送局を受信する

SOURCE を押して FM または AM を選び、放送局を受信します。(「ラジオを聞く」➡ 28 ページ参照)

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
(標準)(2 倍長)(4 倍長)

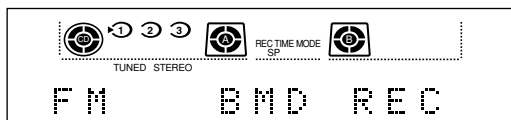
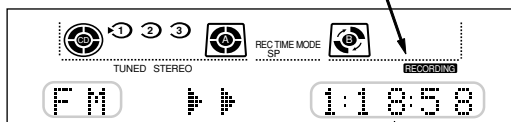
- 録音モード(「SP」、「LP2」、「LP4」)については、「ステレオ長時間録音」(➡ 42 ページ参照)をご覧ください。

4 DIRECT REC を押す

録音が開始します。

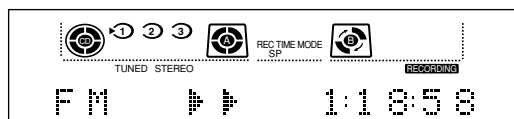
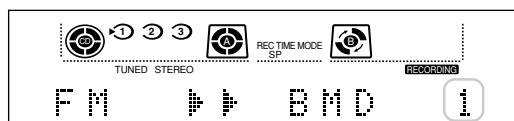
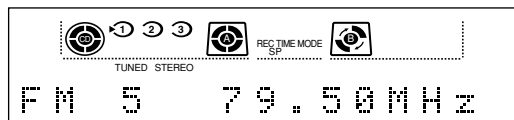
- MDの録音残量時間が無くなると、録音が自動停止します。

例:FM 放送を録音モードが SP(標準)で録音するとき

録音を途中で止める

B MD デッキの ■ を押します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
DISPLAY/CHARAを押すごとに、次のように変わります。

受信バンドと B MD デッキの録音残量時間

受信バンドと録音中の曲番号表示

ラジオ表示

時計表示

トラックマークについて

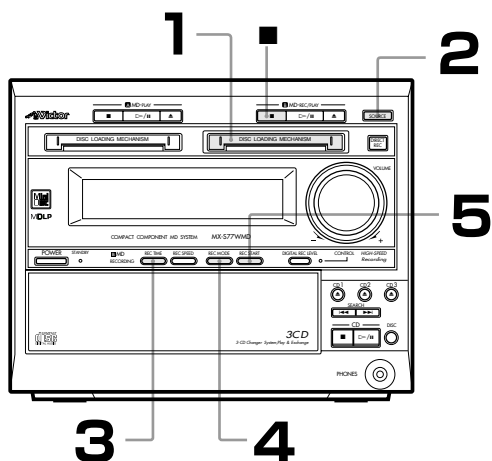
ラジオを録音しているときは、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押します。

- DISPLAY/CHARAを押して「受信バンドと録音中の曲番号表示」にしておくと、トラックマークを簡単に確認することができます。

お知らせ

- 本機は、AMステレオ放送には対応していません。（AM放送はモノラルです）
- ラジオを録音中は、他のソース（音源）の音を聞くことができません。

REC MODE を使ってラジオの音を録音する

REC MODE ボタンを使って録音します。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 録音する放送局を受信する

SOURCE を押して FM または AM を選び、放送局を受信します。(「ラジオを聞く」➡ 28 ページ参照)

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

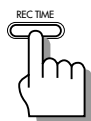
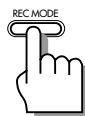
SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

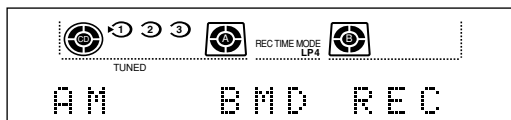
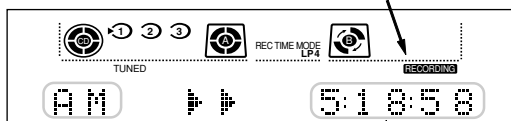
• 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC MODE を押して、「CONTINUE REC？」を選ぶ

点滅

5 REC START を押す

録音が開始します。

• MDの録音残量時間が無くなると、録音が自動停止します。

例：AM放送を録音モードがLP4（ステレオ４倍長時間録音）で録音するとき

受信バンド

B MD デッキの録音残量時間（録音モードによって、録音残量時間は変わります）

録音を途中で止める

B MD デッキの ■ を押します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
(➡ 57 ページ参照)

REC MODE を解除する

表示窓がラジオの表示に変わるまでREC MODEを押します。

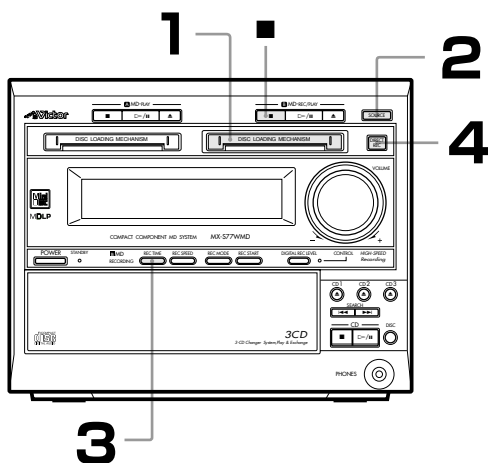
トラックマークについて

ラジオを録音しているときは、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押します。
- DISPLAY/CHARAを押して「受信バンドと録音中の曲番号表示」にしておくと、トラックマークを簡単に確認することができます。

お知らせ

- 本機は、AMステレオ放送には対応していません。（AM放送はモノラルです）
- ラジオを録音中は、他のソース（音源）の音を聞くことができません。

接続した他の機器の音をワンタッチ録音する

DIRECT REC ボタンを使って接続した他の機器の音を録音します。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 録音したい機器の電源を入れ、SOURCE を押してソース（音源）を選ぶ

SOURCE を押して「TAPE」、「AUX」、「AUX DIGITAL」から選びます。（「接続した他の機器の音を聞く」➡ 40 ページ参照）

- テープを入れるなどして接続した機器の準備をします。
- 「AUX DIGITAL」の音を録音するときは、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

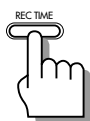
3 REC TIME を押して録音モードを設定する

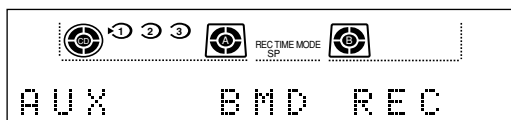
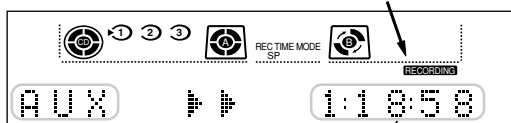
ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 DIRECT REC を押す

録音が開始します。

- MDの録音残量時間が無くなると、録音が自動停止します。

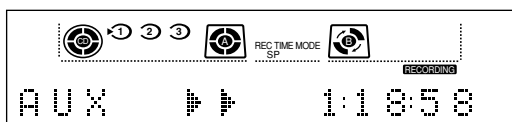
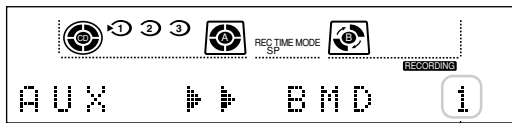
例：録音モードが SP（標準）で AUX の音を録音するとき

録音する他の機器の再生操作をする

録音を途中で止める

B MD デッキの ■ を押します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARA を押すと、表示窓の表示を変えることができます。
DISPLAY/CHARA を押すごとに、次のように変わります。

ソース（音源）表示と B MDデッキの録音残量時間

ソース（音源）表示と録音中の曲番号表示

録音中の
曲番号

AUX（ソース）表示

時計表示

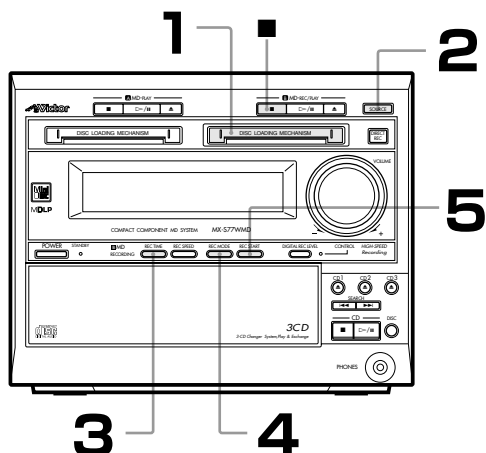
トラックマークについて

接続した他の機器の音を録音しているときは、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンの SET を押します。

お知らせ

- 接続した他の機器の音を録音中は、他のソース（音源）の音を聞くことができません。

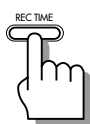
REC MODE を使って接続した他の機器の音を録音する

REC MODE ボタンを使って録音します。
AUX DIGITAL からの音を録音するときは、MD の録音残量時間に合わせてフェードアウト（徐々に音量を下げる）させる録音もできます。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 録音したい機器の電源を入れ、SOURCE を押してソース（音源）を選ぶ

SOURCE を押して「TAPE」、「AUX」、「AUX DIGITAL」から選びます。（「接続した他の機器の音を聞く」➡ 40 ページ参照）

- テープを入れるなどして接続した機器の準備をします。
- 「AUX DIGITAL」の音を録音するときは、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

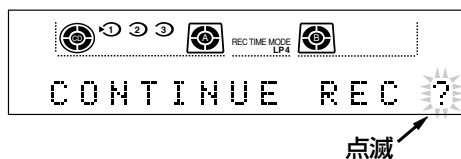
3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

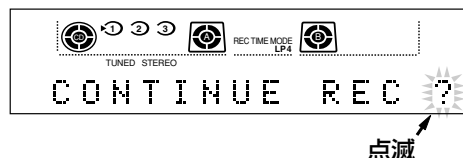
4 REC MODE を押して「CONTINUE REC ?」を選ぶ

TAPEまたはAUXからの音を録音するとき：

点滅

AUX DIGITAL からの音を録音するとき：

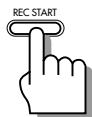
- **ディスクエンドフェード録音（➡ 51 ページ参照）をするときは、**REC MODE をさらに 2 回押して、「DISC END FADE CONTINUE REC ?」（スクロール表示）を選びます。DISC END FADE REC 表示が点灯します。

「CONTINUE REC ?」を選んだとき

点滅

「CONTINUE REC ?」の「DISC END FADE REC ?」を選んだとき

スクロール表示　点滅

5 REC START を押す

録音が開始します。

- MDの録音残量時間が無くなると、録音が自動停止します。

例：AUX DIGITALの音を録音モードがLP2（ステレオ 2 倍長時間録音）でディスクエンドフェード録音をするとき

録音する機器の再生操作をする

録音を途中で止める

B MD デッキの ■ を押します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
(➡ 61 ページ参照)

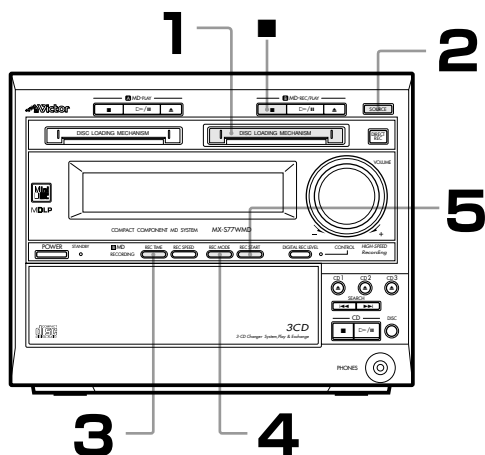
REC MODE を解除する

表示窓が接続した他の機器の表示に変わるまで
REC MODE を押します。

お知らせ

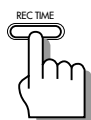
- 接続した機器の音を録音中は、他のソース（音源）の音を聞くことができません。

サウンドシンクロ録音をする

REC MODE ボタンを使って録音します。
TAPE 端子、AUX 端子または AUX デジタル入力端子に接続した機器の音を、演奏開始に合わせて録音を開始するサウンドシンクロ録音ができます。

1 録音用MDを B MDデッキに入れる

2 録音したい機器の電源を入れ、SOURCE を押してソース（音源）を選ぶ

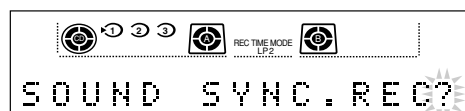
SOURCE を押して「TAPE」、「AUX」、「AUX DIGITAL」から選びます。（「接続した機器の音を聞く」➡ 40 ページ参照）

- テープを入れるなどして接続した機器の準備をします。**接続した機器は必ず停止状態**にしておきます。演奏が始まっているとうまく録音できません。
- 「AUX DIGITAL」の音を録音するときは、デジタル入力の録音レベルを調節することもできます。（➡ 41 ページ参照）

3 REC TIME を押して録音モードを設定する

ボタンを押すごとに次のように変わります。

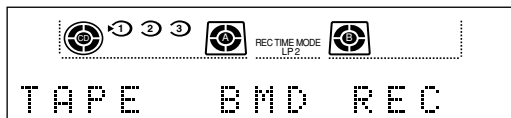
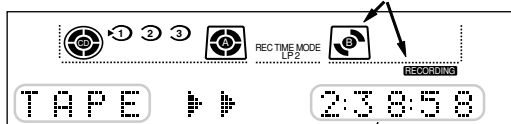
SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2 倍長）（4 倍長）

- 録音モード（「SP」、「LP2」、「LP4」）については、「ステレオ長時間録音」（➡ 42 ページ参照）をご覧ください。

4 REC MODE を押して「SOUND SYNC. REC？」を選ぶ

点滅

5 REC START を押す

録音待機状態になります。

例：TAPEの音を録音モードがLP2（ステレオ2倍長時間録音）で録音するとき

ソース（音源）表示

B MD デッキの録音残量時間（録音モードによって、録音残量時間は変わります）

6 録音するソース（音源）を演奏状態にする

ソース（音源）の演奏開始に合わせてサウンドシンクロ録音が始まります。

- MDの録音残量時間がなくなると、録音が自動停止します。

録音を途中で止める

B MDデッキの■を押します。

録音中の表示を変える

録音中にリモコンのDISPLAY/CHARAを押すと、表示窓の表示を変えることができます。
（➡ 57 ページ参照）

REC MODEを解除する

表示窓がラジオの表示に変わるまでREC MODEを押します。

トラックマークについて

録音しているときは、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。
手動でトラックマークをつけるときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押します。

ご注意

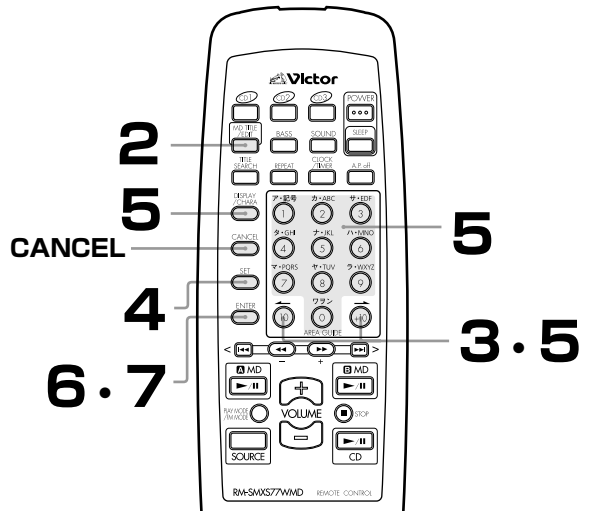
- サウンドシンクロ録音は、ソース機器の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
  接続した他の機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。このようなときは、「接続した他の機器の音をワンタッチ録音する」（➡ 60 ページ参照）または「REC MODEを使って接続した他の機器から録音する」（➡ 62 ページ参照）の録音をしてください。
- 録音ソースの音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音が終了したMDの空白時間は約2秒になります。

お知らせ

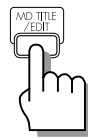
- 接続した機器の音を録音中は、他のソース（音源）の音を聞くことができません。

タイトルをつける

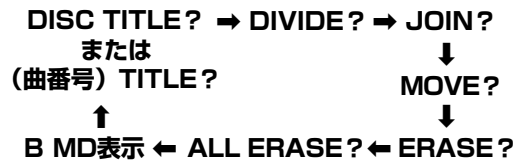
タイトルをつける前に

- タイトルをつけるときは、**B MD デッキを使います**。A MD デッキは、タイトルをつけたり MD を編集することはできません。
- リモコンを使って、MDにディスクタイトルをつけたり指定した曲に曲タイトルをつけることができます。
- 1タイトルには**最大61文字まで**つけることができます。文字の種類は「カタカナ」、「英大文字・記号」、「英小文字・記号」「数字」があります。
- CD を録音中（1 曲録音は除く）は、15曲分のタイトルを先行して入力できます（**タイトルリザーブ機能**）。ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、はみ出したタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあと B MDデッキの ⏏ を押して MD を取り出すと、MD が出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。
  「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でリモコンの MD TITLE/EDIT を押すとタイトル入力が解除されます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。「タイトルをつける」の操作をすると「B MD PLAYBACK」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっている MD にはタイトルをつけることができません。「タイトルをつける」の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MD デッキが停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、MD TITLE/EDIT を押すと通常演奏になり、タイトル入力ができます。
- B MD デッキがプログラム演奏中またはランダム演奏中は MD TITLE/EDIT を押してもタイトル入力できません。
- 62 文字以上のタイトルが入力されている MD は、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 タイトルをつける MD を B MD デッキに入れる

2 MD TITLE/EDIT を押す

表示窓の EDIT 表示が点灯します。

- 停止中は「DISC TITLE？」が表示されます。
- 演奏中は演奏している曲番号と「TITLE？」が表示されます。
- 録音中は録音中の曲番号と「TITLE？」が表示されます。

停止中または演奏中に MD TITLE/EDIT を押すと、押すごとに次のように変わります。

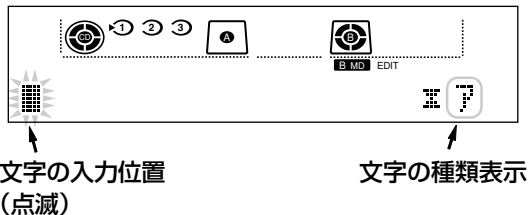
DISC TITLE？ または（曲番号）TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？ ➡ MOVE？ ➡ ERASE？ ➡ ALL ERASE？ ➡ B MD表示 ➡ DISC TITLE？ または（曲番号）TITLE？

録音中にMD TITLE/EDITを押すと、押すごとに次のように変わります。

（曲番号）TITLE？ ⬌ B MD 録音中表示

3 ⑩ または ⊕10 を押してタイトルをつける曲またはディスクを選ぶ

- 「DISC TITLE？」を表示中に ⊕10 を押すと、「1 TITLE？」が表示されます。

4 SET を押す

文字の入力位置（点滅）　　文字の種類表示

5 タイトルを入力する（最大61文字まで）

「文字入力のしかた」（➡ 68 ページ）をご覧ください。

- 演奏中に曲タイトルを入力しているときは、手順**6**のENTERを押すまでその曲がくり返し演奏されます。
- 録音中は、タイトルを入力中に次の曲の録音が始まっても継続してタイトルを入力することができます。

6 ENTER を押す

「EDITING」が数秒間表示されます。

MD が停止中または演奏中のとき：

- ディスクタイトルをつけたときは、1 曲目のタイトル入力表示になります。
  演奏中は、1 曲目が演奏されます。
- 次の曲があるときは、次の曲のタイトル入力表示になります。
  演奏中は、次の曲が演奏されます。
- 最後の曲にタイトルをつけたときは、最後の曲のタイトル入力表示になります。
  演奏中は、最後の曲がくり返し演奏されます。

録音中のとき：

- ENTER を押しても録音は続きます。
- CD を録音中（1 曲録音は除く）は、次の曲のタイトル入力表示になります。
  タイトルリザーブ機能（➡ 66 ページ参照）によって15曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することもできます。
- 録音が終了するまでにENTERを押さなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

7 続けてタイトル入力をするとき：手順 3 ～ 6 の操作をする

タイトル入力を終了するとき：ENTER を押す

MD の通常表示に戻ります。

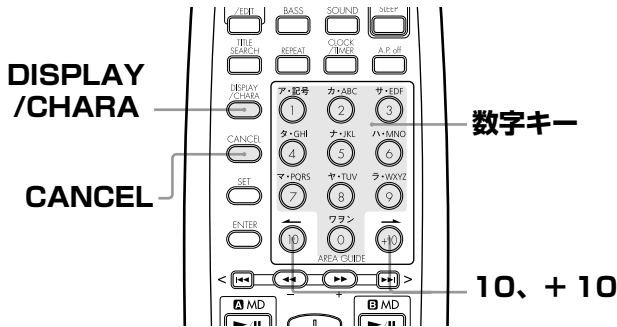
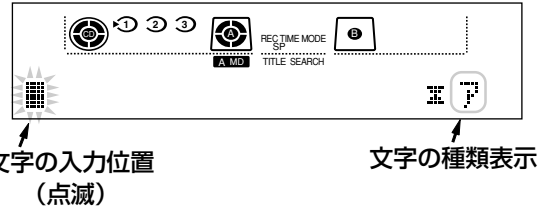
B MD の ▲ を押して MD を取り出します。

MDが出てくる前に「WRITING」が点滅表示され、編集した内容が MD に記録されます。

MD に入力できる文字数について

1 枚のMDにつき、最大1792 文字（英数字・記号）、1 曲につき最大 61 文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。
カタカナを使用したときも、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。またスペース（空白）は、文字と同じ量のデータを必要とします。
ステレオ長時間録音（LP2またはLP4）したときは、曲タイトルの先頭に「LP：」とスペース（空白４文字分）が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：

- ステレオ長時間録音で 120 曲を録音した MD では、全曲に英数字で 10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で 60 曲を録音した MD では、全曲にカタカナ10文字ずつタイトル入力することができます。

文字入力のしかた

文字入力の表示窓

文字の種類を選ぶとき：
DISPLAY/CHARA＊を押す

押すごとに入力する文字の種類が変わります。

カタカナ → 英大文字・記号 → 英小文字・記号 → 数字 → カタカナ

＊ CHARAはCHARACTER（キャラクター）（文字や記号）の略です。

文字を選ぶとき：
数字キーを押す

カタカナ入力

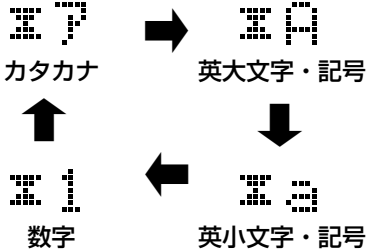
①〜⑨：ア行からラ行までが割り当ててあります。
⓪：ワ行と「゛、ー、゜」が割り当ててあります。

例：メを入力するときは ⑦ を４回押す。

英大文字・英小文字入力

数字キーの上に印刷してある記号と英文字が入力できます。

記号は ① にあります。

例：Kを入力するときは ⑤ を２回押す。

• 文字を間違えたときは、CANCELを押します。

文字の入力位置を移動するとき：

⑩ または ⊕10 を押します。

スペース（空白）を入れるときは、⊕10 を押します。

これらの操作をくり返して文字を入力します。

リモコンの文字配列表

ボタン	数字	カ　ナ	英大	英小
ア・記号 1	1	アイウエオァィゥェォ	記号＊	記号＊
カ・ABC 2	2	カキクケコ	ABC	abc
サ・EDF 3	3	サシスセソ	DEF	def
タ・GHI 4	4	タチツテトッ	GHI	ghi
ナ・JKL 5	5	ナニヌネノ	JKL	jkl
ハ・MNO 6	6	ハヒフヘホ	MNO	mno
マ・PQRS 7	7	マミムメモ	PQRS	pqrs
ヤ・TUV 8	8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv
ラ・WXYZ 9	9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz
ワヲン 0	0	ワヲン゛ー゜		

＊記号で表示するキャラクター

□(スペース)	！	”	＃	＄	％	＆
’	（	）	＊	＋	,	－
.	／	：	；	<	＝	>
？	＠	＿	`			

MDを編集する前に

MDを編集する前に

- MDの編集には B MDデッキを使います。
- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を消す」、「全曲を消す」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「BMD PLAYBACK」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- MDが停止状態でプレイモードが「PROGRAM」または「RANDOM」のときに、リモコンのMD TITLE/EDITを押すと通常演奏になります。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でMD TITLE/EDITを押すと、編集操作を解除することができます。

MD編集機能の紹介

曲を分ける（DIVIDE） ➡ 70ページ

曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる（JOIN） ➡ 72ページ

トラックマークを削除して、指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲にまとめます。

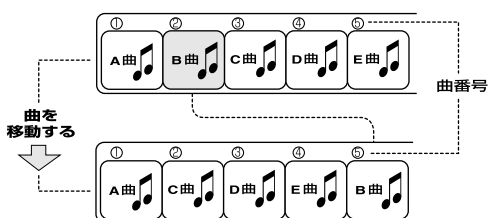
曲を移動する（MOVE） ➡ 74ページ

曲を移動します。

曲を消す（ERASE） ➡ 76ページ

消したい曲を一度に15曲まで選んで消すことができます。

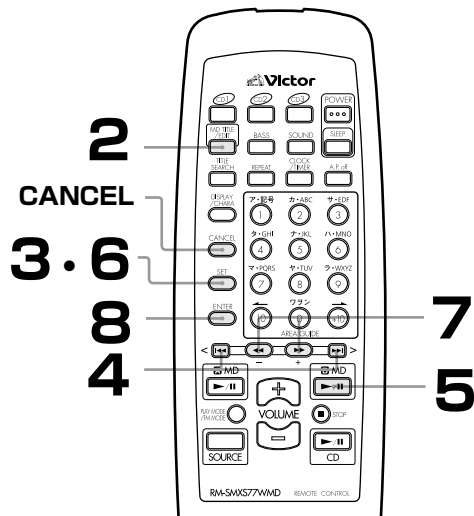
全曲を消す（ALL ERASE） ➡ 78ページ

ディスクの内容をすべて消去します。

ご注意

- 「曲をつなげる（JOIN）」とき、録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲をつなげることはできません。
つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。

曲を分ける（DIVIDE）

ディバイド

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを B MDデッキに入れる

2 MD TITLE/EDIT を押して「DIVIDE？」を選ぶ

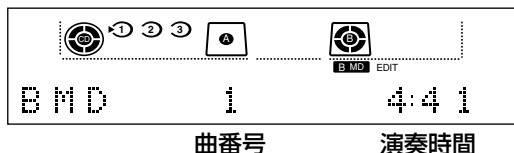
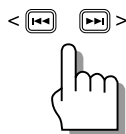
表示窓の EDIT 表示が点灯します。

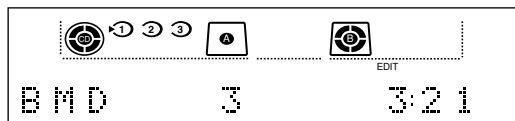
MD TITLE/EDIT を押すごとに次のように変わります。

DISC TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？
または
（曲番号）TITLE？
⬇ MOVE？
⬇
B MD表示 ⬅ ALL ERASE？⬅ ERASE？
⬆（B MD表示 → DISC TITLE？）

3 SET を押す

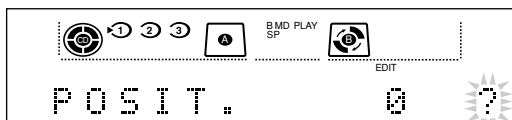
曲番号　演奏時間

4 ►►I ＞または＜ I◄◄ を押して分けたい曲を選ぶ

• 数字キーを押して選ぶこともできます。数字キーを押して選ぶと、選んだ曲の演奏が始まります。

例：3 曲目を選んだとき

5 B MD ►/II を押して演奏する

演奏中のときは、手順 6 へ進みます。

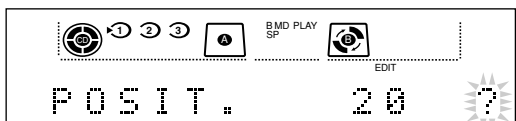
6 分けたいところで SET を押す

SETを押したところから3秒後までがくり返し演奏されます。

点滅

- SETを押す前に ►► ＋または ◄◄ −を押して分けたい部分に早送り／早戻しすることもできます。
- 希望どおりに分けられたときは、手順**8**に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、手順**7**へ進みます。分けたいところが微調節できます。

7 ►► ＋または ◄◄ −を押して分けたいところを微調節する

±128ポジション（約±8秒）の範囲で調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから約3秒後までがくり返し演奏されます。

例：＋20ポジション微調節したとき

点滅

- 分けたいところをやり直すときは、CANCELを押します。
- 曲を分けないときは、MD TITLE/EDITを押します。

8 ENTER を押す

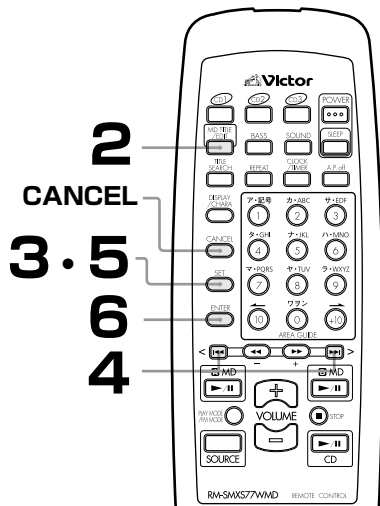
「EDITING」が表示されたあと、
「WRITING」が点滅表示され、
編集した内容がMDに記録されます。

EDITING
⬇
WRITING

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、MD TITLE/EDITを押します。
- もとに戻すときは、JOIN（ジョイン）の操作をします。「曲をつなげる（JOIN）」（➡ 72 ページ参照）
- MDによっては「曲を分ける」ことができないものがあります。（例えば、254曲録音してあるものなど）このようなMDのときは、手順**6**でSETを押すと「BMD DISC FULL！」が表示されます。

曲をつなげる（JOIN）

不要なトラックマークを取り除き、となりあう 2 つの曲を 1 曲にして曲をまとめることができます。
JOIN をすると曲番号は自動的に減少します。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを B MDデッキに入れる

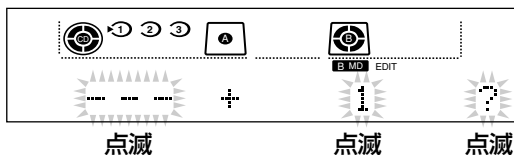
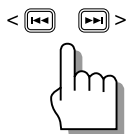
2 MD TITLE/EDIT を押して「JOIN？」を選ぶ

表示窓の EDIT 表示が点灯します。

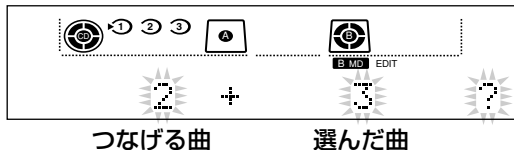
MD TITLE/EDIT を押すごとに次のように変わります。

DISC TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？ ➡ MOVE？ ➡ ERASE？ ➡ ALL ERASE？ ➡ B MD表示 ➡ DISC TITLE？ または （曲番号）TITLE？

3 SET を押す

点滅　点滅　点滅

4 ►►I >または< I◄◄ を押して つなげたい曲を選ぶ

• 数字キーを押して選ぶこともできます。数字キーを押して選ぶと、選んだ曲の演奏が始まります。

例：2 曲目と 3 曲目をつなげるときは、3 曲目を選びます。前の曲とつなげることができます。

つなげる曲　選んだ曲

5 SET を押す

• つなげる曲を選び直すときはCANCEL を押します。手順 **3** の表示に戻ります。

6 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、
「WRITING」が点滅表示され
編集した内容が MD に記録されます。

EDITING
⬇
WRITING

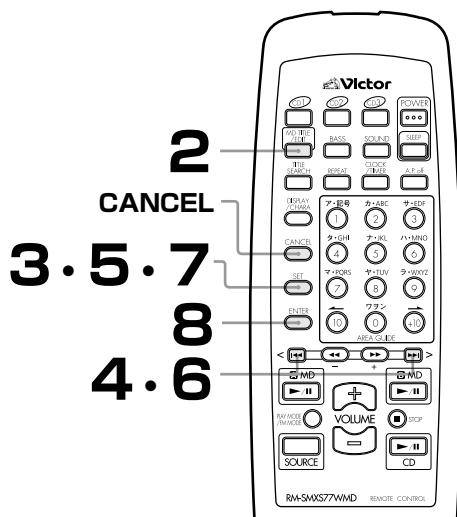
ご注意

次のような曲をつなげようとすると「CAN'T JOIN」が表示され、つなげられません。
- 録音モード（SP/LP2/LP4）の異なる曲
- 他の MD レコーダーでモノラル長時間録音した曲と、本機で録音した曲
- デジタル入力で録音した曲とアナログ入力で録音した曲

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、MD TITLE/EDITを押します。
- もとに戻すときは、DIVIDE（ディバイド）の操作をします。「曲を分ける（DIVIDE）」（➡ 70 ページ参照）
- MD によっては「曲をつなげる」ことができないものがあります。（例えば、1曲しか録音されていないMDなど）このようなMDのときは、手順**4**でつなげる曲を選ぶことができません。（➡ 93 ページ「MDの制約について」参照）

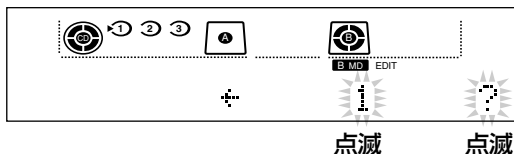
曲を移動する（MOVE）

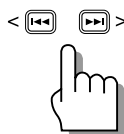
移動したい曲と移動先を選んで曲を移動します。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを B MDデッキに入れる

2 MD TITLE/EDIT を押して「MOVE？」を選ぶ

表示窓の EDIT 表示が点灯します。

MD TITLE/EDIT を押すごとに次のように変わります。

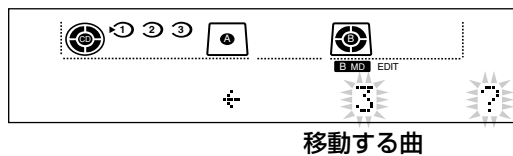
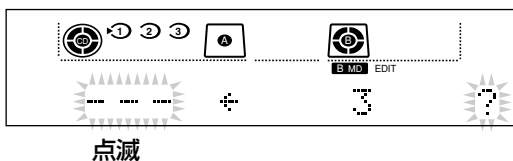
DISC TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？
または
（曲番号）TITLE？
⬇
MOVE？
⬆ ⬇
B MD表示 ⬅ ALL ERASE？⬅ ERASE？

3 SET を押す

4 ►►I ＞または＜ I◄◄ を押して移動する曲を選ぶ

• 数字キーを押して選ぶこともできます。数字キーを押して選ぶと、選んだ曲の演奏が始まります。

例：3 曲目を移動するとき

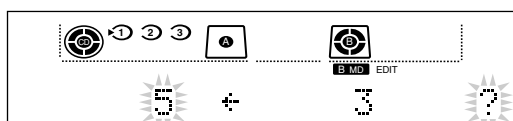
移動する曲

5 SET を押す

点滅

• 移動する曲を選び直すときはCANCEL を押します。手順 **4** の表示に戻ります。

6 ►►I ＞または＜ I◄◄ を押して移動先を選ぶ

• 数字キーを押して選ぶこともできます。数字キーを押して選ぶと、選んだ曲の演奏が始まります。

例：移動先を５曲目にしたとき

移動先

7 SET を押す

• 移動先を選び直すときは CANCEL を押します。手順 **4** の表示に戻ります。

8 ENTER を押す

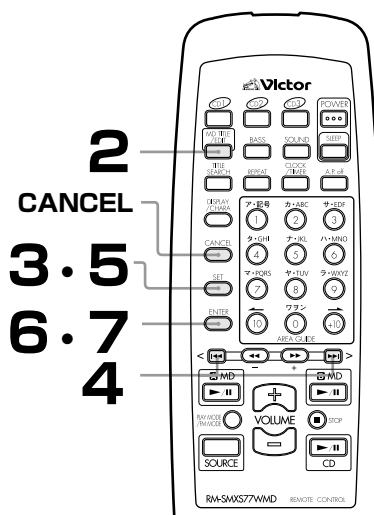
「EDITING」が表示されたあと、
「WRITING」が点滅表示され
編集した内容が MD に記録されます。

EDITING
⬇
WRITING

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、MD TITLE/EDITを押します。
- MD によっては「曲を移動する」ことができないものがあります。(例えば、1曲しか録音されていないMDなど)このようなMDのときは、手順**4**ので移動する曲を選ぶことができません。

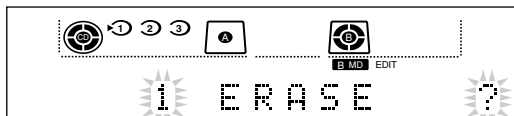
曲を消す（ERASE）

指定した曲を消します。最大 15 曲まで 1 回の操作で消すことができます。曲番号は自動的に減ります。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 編集するMDを B MDデッキに入れる

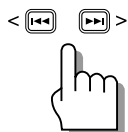
2 MD TITLE/EDIT を押して「ERASE？」を選ぶ

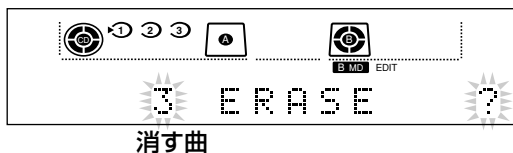
表示窓の EDIT 表示が点灯します。

MD TITLE/EDIT を押すごとに次のように変わります。

DISC TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？ ➡ MOVE？ ➡ ERASE？ ➡ ALL ERASE？ ➡ B MD表示 ➡ DISC TITLE？ または（曲番号）TITLE？

3 SET を押す

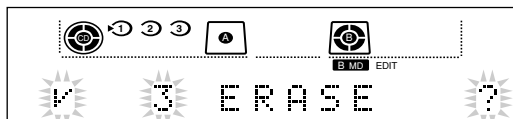
点滅　点滅

4 ▶▶I ＞または＜ I◀◀ を押して消す曲を選ぶ

- 数字キーを押して選ぶこともできます。数字キーを押して選ぶと、選んだ曲の演奏が始まります。

例：3 曲目を消すとき

消す曲

5 SET を押す

SET を押すと消す曲に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が消えます。

点滅

- 手順**4**と**5**くり返すと、最大15曲まで消す曲が選べます。
- 曲番号を間違えて消したくない曲に「✓」をつけてしまったときは、▶▶I ＞または＜ I◀◀ を押して消したくない曲番号を選んでから、CANCEL を押して「✓」を消します。

6 消す曲をすべて選んだら ENTER を押す

- 選んだ曲を消さないときは、CANCEL を押します。手順 **5** の表示に戻ります。

7 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、「WRITING」が点滅表示され編集した内容が MD に記録されます。

EDITING
⬇
WRITING

ご注意

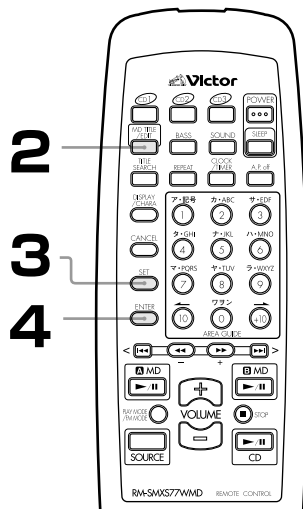
- 一度消した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみをずらしておいてください。(➡ 9 ページ参照)

お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、MD TITLE/EDITを押します。

全曲を消す（ALL ERASE）

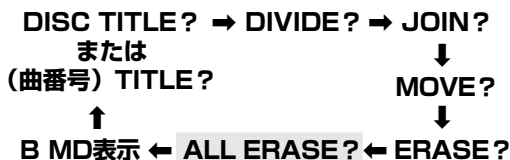
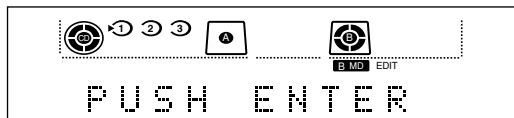
（オール イレース）

MD に録音されている内容をすべて消して、ブランクディスクにします。
「MD を編集する前に」（➡ 69 ページ参照）を読んでから操作してください。

1 消去するMDを B MDデッキに入れる

2 MD TITLE/EDIT を押して「ALL ERASE？」を選ぶ

表示窓の EDIT 表示が点灯します。

MD TITLE/EDIT を押すごとに次のように変わります。

DISC TITLE？ ➡ DIVIDE？ ➡ JOIN？
または
（曲番号）TITLE？
⬇ MOVE？ ⬇
⬆
B MD表示 ⬅ ALL ERASE？⬅ ERASE？

3 SET を押す

4 ENTER を押す

「EDITING」が表示されたあと、
「WRITING」が点滅表示され、
編集した内容が MD に記録されます。

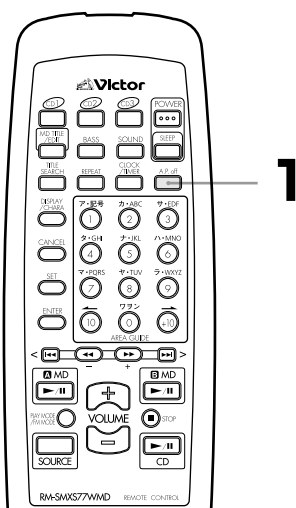
EDITING
⬇
WRITING
⬇
BMD BLANK DISC

- 消さないときは、MD TITLE/EDIT を押します。

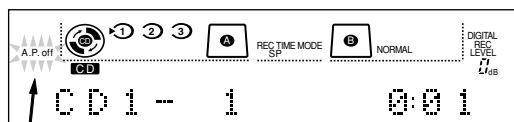
お知らせ

- 編集を途中で止めるときは、MD TITLE/EDITを押します。

AUTO POWER OFF 機能を使う

本機にはソース（音源）の無音状態が３分以上続くと、自動的に電源が「切」になる AUTO（オート） POWER（パワー） OFF（オフ） 機能があります。

1 A.P.off を押す

表示窓の A.P.off 表示が点灯します。

例：CD を演奏しているとき

- CD または MD が停止中のときや他のソース（音源）が無音状態のときは、A.P. off表示が点滅表示されます。

AUTO POWER OFF を解除する

A.P. off をもう一度押します。
表示窓の A.P. off 表示が消灯します。

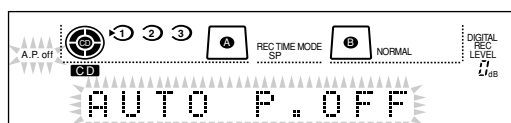
AUTO POWER OFF を設定すると

AUTO POWER OFF 機能を設定すると、表示窓の A.P. off 表示が点灯します。
AUTO POWER OFF 機能が動作すると、表示窓の A.P. off 表示が点滅に変わります。

AUTO POWER OFF の動作

CD または MD の演奏または CD を MD に録音しているときは、動作が終了すると AUTO POWER OFF 機能が動作します。何の操作もせずに３分が経過すると、自動的に電源が「切」になります。
この３分以内に演奏または録音の操作をすると、一時的に AUTO POWER OFF 機能が解除され、演奏または録音の動作が終了してから再度 AUTO POWER OFF 機能が動作します。演奏または録音以外の操作をすると、最後に操作が行われてから AUTO POWER OFF 機能が動作し、何の操作もせずに３分間が経過すると、自動的に電源が「切」になります。
ラジオまたは他の機器の音を聞いているときは、無音状態になると AUTO POWER OFF 機能が動作し、何の操作もせずに３分以上無音が続くと、自動的に電源が「切」になります。
電源が「切」になる 10 秒前になると表示窓に「AUTO P. OFF」が点滅表示されます。

点滅

オートパワーオフ

タイマー

本機には３種類のタイマー機能があります。

SLEEP（スリープ）タイマー（おやすみタイマー 81ページ）

音楽を聞きながら眠りたいときに使います。

- おやすみタイマーが動作する時間を設定し、設定したスリープ時間を経過すると自動的に電源が「切」になります。

REC（レック）タイマー（録音タイマー 82ページ）

留守中にラジオ番組やAUX端子、またはAUXデジタル入力端子に接続した他の機器の音を留守録音するタイマーです。設定後１回だけ動作します。

- 録音開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）、録音するソース（音源）と録音モードを設定します。

  ※ 他の機器の音をタイマー録音するときは、タイマー機能のある機器を接続してください。

DAILY（デイリー）タイマー（目覚ましタイマー 84ページ）

目覚ましとして毎日同じ時刻に動作するタイマーです。

- 開始時刻（電源が「入」になる時刻）、終了時刻（電源が「切」になる時刻）聞きたいソース、音量を設定します。

タイマーを操作する前に

- **タイマーの設定はリモコンを使って操作します。**
- **タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください。**
  時計合わせをしていないときに「SLEEPタイマー」の操作をすると「CLOCK ADJUST！」が表示されて操作できません。
  時計合わせをしていないと、「RECタイマー」と「DAILYタイマー」の設定はできません。
- 「RECタイマー」と「DAILYタイマー」で設定した内容は、設定を変更しない限り記憶されています。
- 電源プラグが抜いてあったときや停電のときは、「RECタイマー」または「DAILYタイマー」の設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときはもう一度タイマーを設定してください。

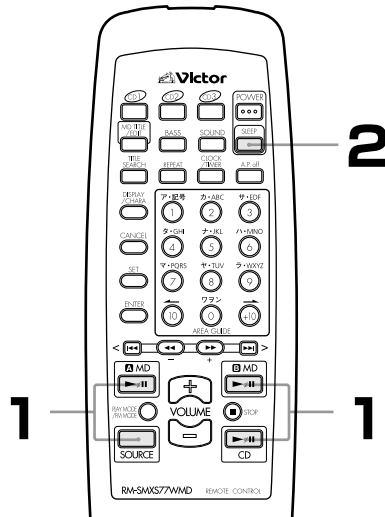
タイマーが重なったときは

- **「SLEEPタイマー」、「RECタイマー」または「DAILYタイマー」のいずれかが重なったときは、あとから動作するタイマーが優先されます。**

タイマー動作中のご注意

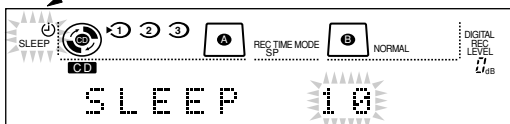
- 「RECタイマー」または「DAILYタイマー」が動作中（開始時刻から終了時刻の間）に、音量の調節、低音の調節（BASS）、サウンドモードの変更以外の操作をすると、タイマーが解除され終了時刻になっても電源は「切」になりません。
  上記以外の操作をしたときは、ご注意ください。

SLEEP タイマー（おやすみタイマー）

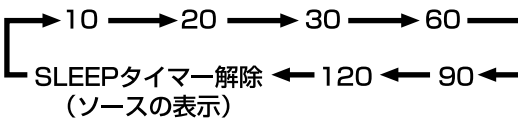
リモコンを使って設定します。
おやすみタイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。

1 聞きたいソース（音源）を演奏状態にする

2 SLEEP を押して スリープ時間を設定する

例：CD1 を演奏中のとき

点滅

点滅

SLEEP を押すごとにスリープ時間が次のように変わります。

→10 → 20 → 30 → 60
SLEEPタイマー解除 ← 120 ← 90
（ソースの表示）

• SLEEP タイマーを設定すると、表示窓が暗くなります（オートディマー）。

⋮

設定したスリープ時間を経過すると、自動的に電源が「切」になります。

設定したスリープ時間を変更するときは

SLEEPタイマー設定後にSLEEPを1回押すと残り時間が表示されます。
設定を変更するときは、SLEEPをくり返し押して希望の時間を設定します。

SLEEP タイマーの解除

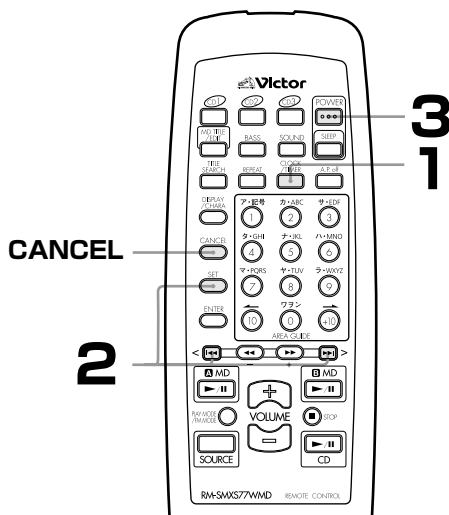
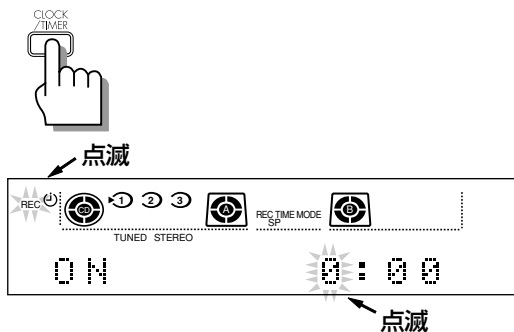
SLEEPタイマー設定後にSLEEPを押していき設定時間をソース（音源）表示にします。SLEEPタイマーが解除されます。
POWER を押して電源を「切」にしたときも、SLEEP タイマーが解除されます。

SLEEP タイマーでおやすみになり DAILY タイマーで目覚めるには

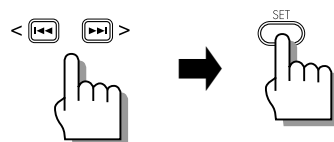
1. DAILYタイマーを設定する（➡ 84 ～ 85 ページ参照）
2. 聞きたいソース（音源）を演奏状態にする
3. SLEEP を押してスリープ時間を設定する
• 設定したスリープ時間を経過すると、自動的に電源が「切」になり、DAILY タイマーの開始時刻で目覚ましタイマーが動作します。

お知らせ
• REC タイマーとの併用もできますが、SLEEP タイマー動作中に REC タイマーの開始時刻になると REC タイマーに切り換わります。

REC タイマー（録音タイマー）

電源が「入」のときでも「切」のときでも REC タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。

1 CLOCK/TIMER を２回押して「ON」表示にする

CLOCK/TIMER を押すごとに次のように変わります。

例：電源「入」のとき

2 ►►I ＞または＜ I◄◄ と SET を使ってタイマーの設定をする

「**タイマーの開始時刻➡終了時刻➡録音するソース（音源）➡録音モード**」の順に設定します。
具体的な設定方法は、83 ページをご覧ください。
設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押します。一つ前の設定に戻ります。

- **録音用のMDを B MD挿入口に忘れずに入れておきます。**

電源「入」で REC タイマーの設定をしていたとき

3 POWERを押して電源を「切」にする

表示窓に⏻と「REC」が表示されていることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると REC タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。
- 録音中の音量は0になり、スピーカーやヘッドホンから音は出ません。

2-1. 開始時刻の設定

►►I >または< I◄◄を押して「時」を選んでからSETを押します。次に►►I >または< I◄◄を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：開始時刻を午後1時30分にするとき

2-2. 終了時刻の設定

►►I >または< I◄◄を押して「時」を選んでからSETを押します。次に►►I >または< I◄◄を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：終了時刻を午後2時30分にするとき

2-3. 録音するソース（音源）の設定

① **►►I >または< I◄◄を押してFM、AM、AUX、AUX DIGITALのいずれかを選ぶ**

② **SETを押す**

FMまたはAMを選んだとき：

►►I >または< I◄◄を押して記憶してある放送局のプリセット番号を選んでからSETを押します。SETを押したあと、手順**2-4.**に進みます。

- 放送局を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にする前の放送局が選ばれます。

AUX、AUX DIGITALを選んだとき：

録音するソース（音源）を選んでからSETを押したあと、手順**2-4.**に進みます。

- タイマー機能付きの機器をご使用ください。

2-4. 録音モードの設定

►►I >または< I◄◄を押して録音モードを選んでからSETを押します。
「SP：標準」、「LP2：2倍長」、「LP4：4倍長」から選びます。

録音モードの設定をするとRECタイマーの設定は終わりです。電源「入」で設定したときは、表示窓に設定内容が一通り表示されてから、タイマー設定前のソース（音源）の表示に戻ります。

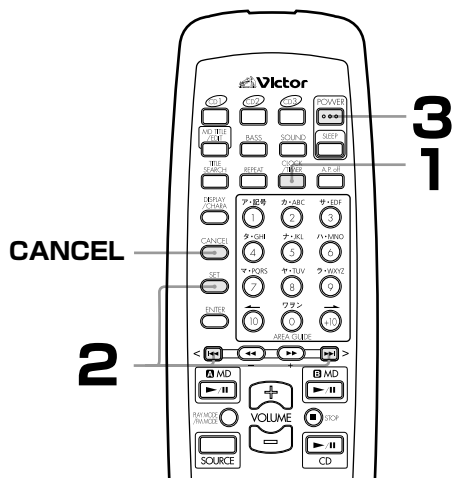
RECタイマーの再設定と解除

RECタイマーは、動作を1回行うと解除されますが、設定内容は記憶されています。
設定内容を変えずに次回の録音をするときは、RECタイマーの再設定をします。

「再設定」
CLOCK/TIMERを1回押して「REC」を表示させてからSETを押します。
◷とREC表示が点灯し、設定内容が一通り表示されます。

「解除」
RECタイマーが設定されているとき、CLOCK/TIMERを1回押して「REC」を表示させてからCANCELを押します。
「REC OFF」が表示され、◷とREC表示が消灯します。

DAILY タイマー（目覚ましタイマー）

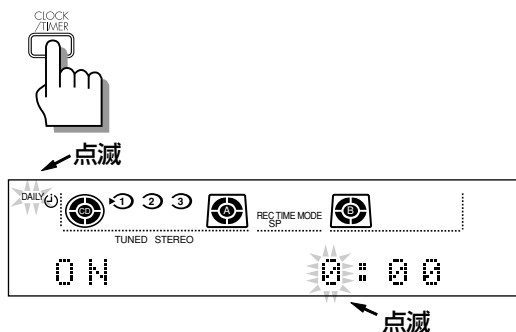
電源が「入」のときでも「切」のときでも DAILY タイマーの設定ができます。
タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を合わせておいてください。

1 CLOCK/TIMER を 4 回押して「ON」表示にする

点滅

点滅

CLOCK/TIMER を押すごとに次のように変わります。

例：電源「入」のとき

- **REC**　：オン／オフ表示
- ⬇
- **ON 表示**：REC タイマー
- ⬇
- **DAILY**　：オン／オフ表示
- ⬇
- **ON 表示**：DAILY タイマー
- ⬇
- **CLOCK SET**：時刻設定の表示
- ⬇
- **設定前のソース（音源）表示**

2 ►►I ＞または＜ I◄◄ と SET を使ってタイマーの設定をする

「**タイマーの開始時刻➡終了時刻➡聞きたいソース（音源）➡音量**」の順に設定します。
具体的な設定方法は、85 ページをご覧ください。
設定の途中で間違えたときは、CANCEL を押します。一つ前の設定に戻ります。

- 一度設定すると DAILY タイマーを解除するまで、毎日同じ時刻にタイマーがスタートします。

電源「入」で DAILY タイマーの設定をしていたとき

3 POWERを押して電源を「切」にする

表示窓に⏻と「DAILY」が表示されていることを確認してください。

⋮

- タイマーの開始時刻になると DAILY タイマーがスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「切」になります。

ご注意

- CD または MD を選んだとき、DAILY タイマーでプログラム演奏やランダム演奏をすることはできません。
- DAILY タイマーは、電源が「切」のときだけ動作します。電源が「入」のときは、DAILY タイマーの開始時刻になっても動作しません。

2-1. 開始時刻の設定

▶▶I＞または＜I◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に▶▶I＞または＜I◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：開始時刻を午前７時30分にするとき

ON　　　7:30

2-2. 終了時刻の設定

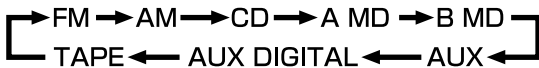
▶▶I＞または＜I◀◀を押して「時」を選んでからSETを押します。次に▶▶I＞または＜I◀◀を押して「分」を選んでからSETを押します。

例：終了時刻を午前８時00分にするとき

OFF　　　8:00

2-3. 聞きたいソース（音源）の設定

① ▶▶I＞（または＜I◀◀）を押して、ソース（音源）を選ぶ

FM → AM → CD → A MD → B MD → AUX → AUX DIGITAL → TAPE →（FM）

- ＜I◀◀を押すと逆に選べます。

② SETを押す

FMまたはAM放送を選んだとき：

▶▶I＞または＜I◀◀を押して記憶してある放送局のプリセット番号を選んでからSETを押します。
SETを押したあと、手順**2-4.**に進みます。

- 放送局を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にする前の放送局が選ばれます。

CDを選んだとき：
（あらかじめCDトレイにCDを入れておきます）

▶▶I＞または＜I◀◀を押して聞きたいCD番号を選んでからSETを押します。
SETを押したあと、手順**2-4.**に進みます。

- CD番号を選ばずにSETを押すと、電源を「切」にする前に選ばれていたCDが演奏になります。

A MDまたはB MDを選んだとき：
（あらかじめMDをMDデッキに入れておきます）

手順**2-4.**に進みます。

- MDの１曲目から演奏されます。

AUX、AUX DIGITAL、TAPEを選んだとき：

いずれかのソース（音源）選んでSETを押したあと、手順**2-4.**に進みます。

- タイマー機能付きの機器をご使用ください。

2-4. 音量の設定

▶▶I＞または＜I◀◀を押して音量を設定してからSETを押します。
音量は０～50まで設定することができます。

例：音量を「12」に設定したとき

VOLUME 12

- 音量を設定してSETを押すと、DAILYタイマーの設定は終わりです。表示窓に設定内容が一通り表示されてから、タイマー設定前のソース（音源）の表示に戻ります。

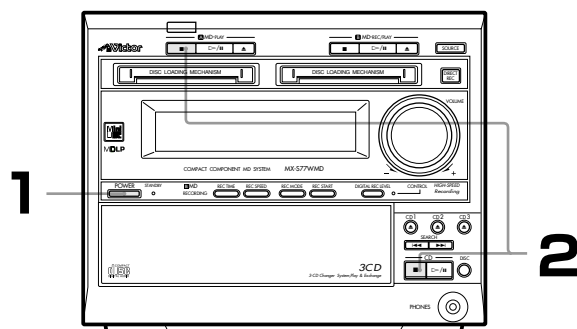
DAILYタイマーの解除と再設定

DAILYタイマーの設定内容は記憶されています。
設定内容は変えずにタイマーを動作させたくないときは解除に、タイマー動作を復帰させたいときは再設定をします。

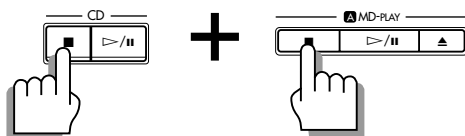
解除する（休日前夜など）
CLOCK/TIMERを３回押して「DAILY」を表示させてからCANCELを押します。「DAILY OFF」が表示され、Ⓛ とDAILY表示が消灯します。

再設定する（出勤・登校の前夜など）
CLOCK/TIMERを３回押して「DAILY」を表示させてからSETを押します。
Ⓛ とDAILY表示が点灯し、設定内容が一通り表示されます。

チャイルドロック機能

MD 挿入口と CD トレイを電子ロックして ▲ を押しても MD が出てこないようにしたり、CD トレイが開かないようにします。
小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 電源を「切」にする

電源が「入」のときは POWER を押します。

2 CDの■を押したまま A MDの■ を押す

「LOCKED」が表示され、**MD 挿入口と CD トレイがロックされます。**

- チャイルドロックすると、どの ▲ を押しても「LOCKED」が表示されて、MD が出てこなくなったり CD トレイが開かなくなります。
- 電源「切」のときに▲を押すと「LOCKED」が表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、手順 **1** と手順 **2** の操作をします。
「UNLOCKED」が表示されてチャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

お知らせ

- 時計表示を消灯（DISPLAY OFF）しているときは、チャイルドロックの設定および解除はできません。

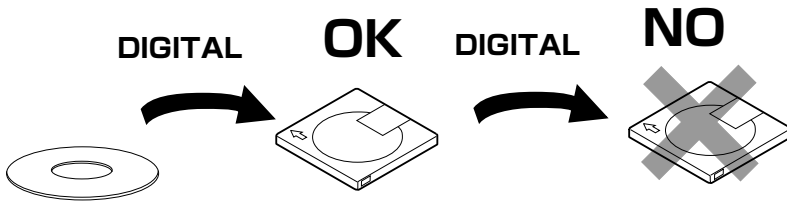
デジタル録音のきまり（S C M S）

（シリアル コピー マネージメント システム）

デジタルオーディオとは、デジタル入出力端子を通して音声信号をデジタル信号のままやりとりするオーディオ機器で、CD、MD、DAT、CD-R などがあります。これらの機器は音楽信号をほとんど劣化することなく録音（コピー）ができます。このために、著作権を保護するコピー規制が必要になり、この決まりが SCMS です。

SCMS (Serial Copy Management System)

（シリアル コピー マネージメント システム）

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ ０３－５３５３－０３３６（代）

ご注意
この規定により、本機でデジタル録音した MD は、他の機器でデジタル録音することはできません。

倍速録音に関して(HCMS)

録音用 MD は等速を超えるスピードで録音（コピー）することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CD から一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から 74 分が経過しないと、再録音〔倍速録音及び等速（ノーマル速度）録音〕はできません。
例えば、CD の１曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから 74 分間は、その CD の１曲目を再び MD に倍速および等速（ノーマル速度）で録音することはできません。

AM エリアガイド表

●AMエリアガイド放送局一覧（エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます）

周波数単位：kHz

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	プリセットされた放送局の周波数（Pはプリセットのことです）							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
011、0121～0129 0130～0136 0140～0149	北海道	札幌	NHK第1 567	NHK第2 747	HBC 801	HBC 864	NHK第1 945	NHK第2 1125	HBC 1287	STV 1440
0150～0152 0157～0159	北海道	網走 北見	NHK第2 702	NHK第2 747	HBC 801	STV 909	NHK第1 1188	HBC 1449	STV 1485	NHK第1 1584
0153～0156	北海道	釧路	NHK第1 585	NHK第1 603	STV 882	STV 1071	NHK第2 1125	NHK第2 1152	HBC 1269	HBC 1404
0137～0139	北海道	函館	NHK第1 567	STV 639	NHK第1 675	NHK第2 747	STV 882	HBC 900	HBC 1269	NHK第2 1467
0160～0169	北海道	旭川	NHK第1 621	NHK第2 747	NHK第1 792	NHK第1 837	HBC 864	NHK第1 927	STV 1197	NHK第2 1602
0172～0179	青森	青森	NHK第2 774	NHK第1 963	NHK第1 999	RAB 1233	RAB 1485	*	*	*
018 0182～0189	秋田	秋田	NHK第2 774	ABS 936	NHK第1 1503	*	*	*	*	*
019 0191～0199	岩手	盛岡	NHK第1 531	IBC 684	NHK第2 774	NHK第2 1386	*	*	*	*
022 0220～0229	宮城	仙台	NHK第1 891	NHK第2 1089	TBC 1260	*	*	*	*	*
023 0233～0239	山形	山形	NHK第1 540	NHK第2 774	YBC 918	NHK第1 1368	*	*	*	*
024 0240～0249	福島	郡山	NHK第2 693	NHK第1 846	RFC 1098	RFC 1458	*	*	*	*
025 0250～0259	新潟	新潟	NHK第1 792	NHK第1 837	BSN 1062	BSN 1116	BSN 1530	NHK第2 1593	*	*
026 0260～0269	長野	長野	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 693	NHK第1 819	SBC 864	SBC 1098	*	*
027 0270～0279	群馬	前橋	NHK第1 594	NHK第2 693	TBS 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*	*
028 0281～0289	栃木、茨城	宇都宮	NHK第1 594	NHK第2 693	TBS 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	CRT 1530	*	*
0280、029 0291～0299	茨城	水戸	NHK第1 594	NHK第2 693	TBS 954	ブンカ 1134	IBS 1197	ニッポン 1242	IBS 1458	*
03、042～045、047 048、0421～0499	東京、神奈川 千葉、埼玉	東京	NHK第1 594	NHK第2 693	AFN 810	TBS 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	ラジオニホン 1422	*
052、0521～0529 0531～0536	愛知	名古屋	NHK第1 729	NHK第2 909	CBC 1053	トウカイラジオ 1332	SBS 1404	GIFU 1431	*	*
053、054 0537～0549	静岡	静岡	NHK第2 639	NHK第1 882	SBS 1404		*	*	*	*
055 0551～0557	山梨	甲府	NHK第2 693	YBS 765	NHK第1 927	TBS 954	ブンカ 1134	ニッポン 1242	*	*
0550 0558～0559	静岡	沼津	NHK第2 639	NHK第1 882	SBS 1404	SBS 1557	*	*	*	*
056 0561～0589	愛知、岐阜	岐阜	NHK第1 729	NHK第1 792	NHK第2 909	CBC 1053	トウカイラジオ 1332	GIFU 1431	*	*
059 0592～0599	三重	津	NHK第1 729	NHK第2 828	CBC 1053	トウカイラジオ 1332	*	*	*	*
06 0720～0729	大阪	大阪	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	ABC 1008	KBS 1143	MBS 1179	OSAKA 1314	*
073 0734～0739	和歌山	和歌山	NHK第1 666	NHK第2 828	ABC 1008	MBS 1179	OSAKA 1314	WBS 1431	*	*

- 本機はAM放送を15局までメモリーできますが、＊印の欄 および P-9～P-15 には放送局がメモリーされていません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。
- 近隣の AM 放送の方がうまく受信できる場合は、AREA GUIDE (0)を押したあと聞きたい放送の地域の市外局番を入力し、SET を押してください。

●AMエリアガイド放送局一覧（エリアガイド機能により地域ごとに下記の放送局が呼び出せます）

周波数単位：kHz

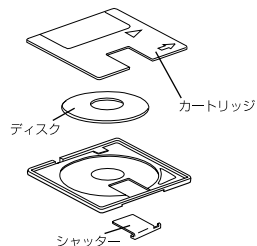
市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	プリセットされた放送局の周波数（Pはプリセットのことです）							
			P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
075 0740～0759	京都 奈良、滋賀	京都	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
076 0761～0762	石川	金沢	M R O 1107	NHK第1 1224	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
0763～0766	富山	富山	NHK第1 648	K N B 738	NHK第2 1035	*	*	*	*	*
0760 0767～0769	石川	七尾	NHK第1 540	M R O 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*	*
077 0771～0775	京都、滋賀	大津	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	K B S 1143	M B S 1179	K B S 1215	OSAKA 1314	*
0770 0776～0779	福井	福井	F B C 864	NHK第1 927	NHK第2 1521	*	*	*	*	*
078 0790～0799	兵庫	神戸	AM KOBE 558	NHK第1 666	NHK第2 828	A B C 1008	M B S 1179	OSAKA 1314	*	*
082、0823～0826 0828～0829	広島	広島	NHK第2 702	NHK第1 1071	R C C 1350	*	*	*	*	*
083、0830～0839 0820、0827	山口	山口	NHK第1 675	K R Y 765	K R Y 918	NHK第2 1377	A F N 1575	*	*	*
0840～0849	広島	尾道	NHK第1 999	R C C 1530	NHK第2 1602	*	*	*	*	*
0851～0856	島根	松江	B S S 900	NHK第1 1296	B S S 1431	NHK第2 1593	*	*	*	*
0857～0859	鳥取	米子	B S S 900	NHK第1 963	NHK第2 1125	NHK第1 1368	B S S 1431	*	*	*
086 0861～0869	岡山、広島	岡山	NHK第1 603	NHK第2 1386	R S K 1494	*	*	*	*	*
087 0875～0879	香川	高松	NHK第2 828	NHK第2 1035	NHK第1 1368	R N C 1449	*	*	*	*
0883～0886	徳島	徳島	NHK第2 828	NHK第1 945	J R T 1269	*	*	*	*	*
0880 0887～0889	高知	高知	R K C 900	NHK第1 990	NHK第1 999	NHK第2 1152	R K C 1197	*	*	*
089 0891～0899	愛媛	松山	NHK第1 846	NHK第1 963	Nancy16 1116	NHK第2 1512	*	*	*	*
092、093 0930、0940～0949	福岡 長崎	福岡	NHK第1 612	NHK第2 1017	R K B 1278	K B C 1413	*	*	*	*
0951～0955	佐賀	佐賀	NHK第1 612	NHK第2 873	NHK第1 963	R K B 1278	K B C 1413	N B C 1458	*	*
095、0920、0950 0956～0959	長崎	長崎	NHK第1 684	NHK第2 873	NHK第1 981	N B C 1098	N B C 1233	*	*	*
096 0964～0969	熊本	熊本	NHK第1 756	NHK第1 846	NHK第2 873	R K K 1197	NHK第1 1341	*	*	*
097 0972～0979	大分	大分	NHK第1 639	NHK第2 873	O B S 1098	*	*	*	*	*
0981～0987	宮崎	宮崎	NHK第1 540	NHK第1 621	NHK第2 873	M R T 936	O B S 1098	NHK第2 1467	*	*
098、0980 0988～0989	沖縄	那覇	NHK第1 540	NHK第1 549	A F N 648	R B C 738	R O K 864	NHK第2 1125	*	*
099 0991～0999	鹿児島	鹿児島	NHK第1 576	NHK第1 792	M B C 1107	NHK第2 1386	*	*	*	*

- 市外局番が変更になった地域は、変更前の市外局番を入力してください。また、市外局番が5ケタまたは6ケタの地域は、頭から4ケタを入力してください。

MD について

MD（ミニディスク）は直径 64mm のディスクを使った新しいデジタルオーディオで、小さくても多機能、高音質でステレオ録音／再生ができます。

カートリッジのはたらき

カートリッジの大きさは、68 × 72mm、厚さ 5mm のポケットサイズ、この中に直径 64 mm のディスクが収められていますので、持ち運びや収納がとても便利です。
また、中のディスクは、カートリッジ部及びシャッターが閉じて保護されているために、ほこりやゴミ、キズや指紋をつけることもありません。取り扱いが便利です。

2 種類のディスク

MD（ミニディスク）には、録音できる「録音用 MD 」と再生のみできる「再生専用 MD 」の 2 種類のディスクがあります。再生のしかたは、どちらのディスクもレーザー光を照射しその反射によって信号を読み取る方式ですが、記録のしかたが異なります。

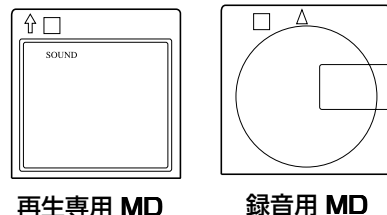
再生専用 MD

市販の MD（ミニディスク）ソフトに使用されているタイプで、録音はできません。CD 同様ピットと呼ばれる小さなくぼみの有無でデータが記録されています。このような記録方式のディスクを「光ディスク」と呼びます。

録音用 MD

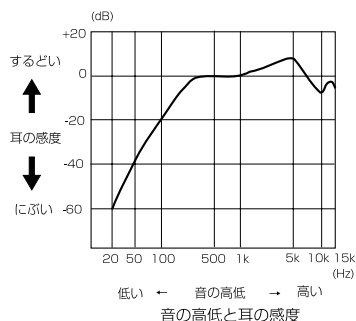
録音用 MD（ミニディスク）で、何度も録音ができるように、磁気を利用してデータを記録します。このような記録方式のディスクを「光磁気 (MO：Magneto-Optical)ディスク」と呼びます。

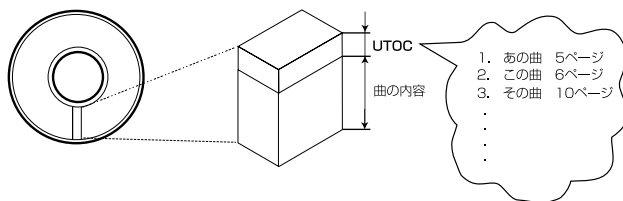
再生専用 MD

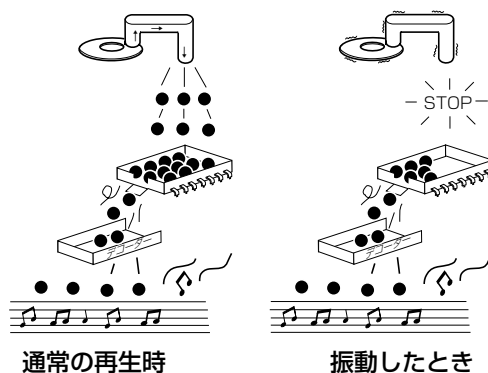
録音用 MD

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）

MD(ミニディスク)は、従来の CD の約半分のサイズですが同じ時間記録することができます。 それは、「音声圧縮技術 (ATRAC)」により、聴感上聞こえない音の成分をカットしてデータを小さく圧縮し、記録するデータを元のデータの約 1/5 の量にすることで、MD でのステレオ録音／再生を可能にしました。
また、本機では最新のATRAC3技術を用いて記録するデータを元のデータの約1/10または1/20の量にすることで、2倍長または4倍長の長時間ステレオ録音を可能にしています。

音の高低と耳の感度

UTOC (User Table Of Contents)

録音用 MD（ミニディスク）には、曲の内容とは別に、「目次 (UTOC) 」があります。これは、各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。
また、編集のときは、この「目次 (UTOC) 」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD（ミニディスク）を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能を「音飛びガードメモリー」と呼びます。
この機能により、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合に「音飛びガードメモリー」のデータがあるので、実際に聞こえる音は途切れません。

MDのメッセージ

本機のディスプレイに表示するメッセージには次のような意味があります。

メッセージ	意　味	処　置
AMD BLANK DISC BMD BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	新しく録音するとき以外は、他の録音済みのMDに取り換えてください。
CAN'T JOIN	ジョインできない曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。 「➡93ページ参照」
DISC ERROR	MDが異常（損傷している)。	MDを取り換える。
BMD DISC FULL!	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■ボタンを押していったん停止してから、⏏（MD取り出し）ボタンを押してMDを取り出し、もう一度操作しなおしてください。
AMD NO DISC BMD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
BMD NON AUDIO	デジタル入力端子を使って、DVDやCD-ROM（ビデオCDなど）をデジタル録音しようとした。	録音を中止してください。DVDやビデオCDはデジタル録音できません。
BMD PLAY BACK	再生専用MDに録音・編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらす。(つまみを閉じた状態) 「➡9 ページ参照」
SCMS CANNOT COPY	デジタル録音したMDやCD-R・DATのコピーのコピーを作ろうとした。	MDデジタル録音の制約です。 「➡87 ページ参照」 アナログ入力を使って録音します。
BMD DIGITAL IN UNLOCK	AUXデジタル入力端子がソース機器と接続されていない。	ソース機器を正しく接続する。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を倍速録音を開始した時点から74分以内にまた録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働きます。74分以上待ってから録音を開始してください。
CANNOT LISTEN	倍速録音中にCDの音を聞こうとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。SOURCEボタンを押して他のソースの音を聞いてください。

MD の制約について

MD は、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。この MD の記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような場合があります。これらの症状は、製品の故障ではありません。

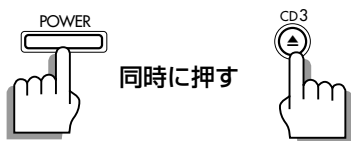
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「ＤＩＳＣ FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数に制限があります。 曲番号が255以上になる録音はできません。 （最大録音曲数は254曲）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、１曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて８秒以下の部分ができると、その曲は、「JOIN 機能」でつなげることはできません。また、その部分は消しても残り時間は増えません。細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間（標準モード時）の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短かい空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短かくなります。

故障かな？と思う前に

故障かなと思ったら・・・修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	12 13 14
MDに録音できない。	MD が誤消去防止状態（つまみが開いた状態）になっている。	MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にする。	9
放送が雑音で聞き苦しい。	AMループアンテナが本体に近づいている。	AMループアンテナの位置と向きを変えてください。	12
	アンテナが束ねたままになっている。	最も受信状態の良い向きに、ピーンとはってお使いください。	
リモコン操作ができない。本体に近づけないと操作できない。	リモコン受光部との間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	11
	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	
CD の音が途切れる。	CD に傷・汚れなどがある。	CD をクリーニングしてください。	9
CDが演奏されない。	CD が裏返しになっている。	CD の文字などの印刷面が上になるように、CDトレイに正しくのせてください。	21
CDまたはMDの演奏が始まらない。	レンズに露がついている（結露）。	電源を「入」にしたまま、約1～2時間待ち乾いてから使ってください。	8
ブーンという雑音がでる。	本機をテレビのすぐそばに設置している。	本機をテレビから離して設置してください。	•

本体のリセットについて

- **上記の処置をしても正しく動作しないときは**
  本機は、マイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、**POWERと CD3 の▲を同時に押してリセットしてください。**

または、電源プラグをコンセントから抜きしばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

- POWERを押して電源を「入」したとき、MD部から動作音がします。これは、MD部へ電源を供給するための動作音で、故障ではありません。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店または96～97ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

94ページの「故障かな？と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	コンパクトコンポーネントMDシステム
型　名	MX-S77WMD
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご住所	（付近の目印等も併せてお知らせください）
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

★お願い
本機の故障または不具合などにより録音、再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町函館あおば生命ビル1F
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千東2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.C.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
近畿				
滋賀	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百古鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.S.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(095)226-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.S.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

0800

・所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■MD/CDレシーバー（CA-MXS77WMD）

アンプ部

回路方式	差動入力コンプリメンタリーOCL
実用最大出力	30W+30W(EIAJ/ 6Ω)
入力端子	＜アナログ＞ TAPE×1系統、218mV/48kΩ AUX×1系統、 520mV/49kΩ ＜デジタル＞ AUXデジタル入力×1、 −23dBm〜−15dBm （光角型ジャック） （サンプリング周波数32kHz/ 44.1kHz/48kHzに対応）
出力端子	＜アナログ＞ TAPE×1系統、160mV/2.2kΩ スピーカー端子×1系統、 適合インピーダンス6Ω〜16Ω

チューナー部

受信周波数	FM ：76.00MHz〜108.00MHz AM ：531kHz〜1,629kHz
アンテナ	FM ：75Ω不平衡型 AM ：外部アンテナ端子 （ループアンテナ）

タイマー部

タイマー形式	1日2動作（DAILY、REC）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120分
時刻表示	24時間表示

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音再生時間（ステレオ）	80分（SP） 160分（LP2） 320分（LP4） （MD-80使用）
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（**MD LP**）方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

共通部

最大外形寸法	幅215mm×高さ170mm× 奥行343mm
質量	約7.6kg

■スピーカー（SP-MXS77WMD）：1本当たり

スピーカー部

形式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	低音用：14.5cm コーン型 ×1 中高音用：3.0cmバランスドドーム型 ×1
定格入力	12.5W（JIS）
最大入力	50W (JIS)
定格インピーダンス	6Ω
再生周波数帯域	50Hz〜20kHz
出力音圧レベル	85 dB/W・m
最大外形寸法	幅165mm×高さ280mm× 奥行199.5mm
質量	約2.8kg

■コンパクトコンポーネントMDシステム（MX-S77WMD）

総　合

電源電圧	AC100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	80W（電源「入」時） 3.8W（電源「切」時：表示窓「時計表示」） 1.4W（電源「切」時：表示窓「消灯」）
最大外形寸法	幅565mm×高さ280mm× 奥行343mm
質量	約13.3kg

付属品

- AMループアンテナ 1
- FM簡易型アンテナ 1
- リモコン（RM-SMXS77WMD） 1
- 単3形乾電池（リモコン動作確認用） 2

- EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー

• CD レンズクリーナー	：CL-CDL
• MD レンズクリーナー	：CL-ML
• 整合器	：VZ-71A
• RCA ピンコード	：CN-180G（長さ 1m）
• 光デジタルケーブル	：XN-110SA（長さ 1m）
• レコードプレーヤー	：AL-E350
• フォノイコライザー	：AC-S110J

- 別売りアクセサリーは、お買い上げの販売店でお求めください。

索引

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
96 ～ 97 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京 ☎(03) 5684-9311** 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎(06) 6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒371-8543　群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の１ ☎（027）254-8952

0900TNMNATJEM